

学 則

平成 29 年度
(2017 年度)

芝浦工業大学

芝浦工業大学学則

第1章 総 則

(目的)

第1条 本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の中心として深く工学の研究を行い世界文化に貢献し、併せて広く一般の学術教養と専門の工業教育を施すことにより、学生の人格を陶冶し、学理を究めさせ体位の向上を図り、もって優秀なる技術者を養成することを目的とする。

(自己点検・評価等)

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自から点検及び評価を行う。点検及び評価に関する必要事項は別に定める。

(認証評価)

第1条の3 本学は、第1条の2の措置に加え、学校教育法に則り、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受審し、その結果を公表するものとする。

(設置等)

第2条 本学は芝浦工業大学と称する。

第3条 本学は東京都港区芝浦三丁目9番14号に置く。

(学部及び学科)

第4条 本学に次の学部・学科を置く。

【工学部】

機械工学科
機械機能工学科
材料工学科
応用化学科
電気工学科
通信工学科
電子工学科
土木工学科
情報工学科

【システム理工学部】

電子情報システム学科
機械制御システム学科
環境システム学科
生命科学科
数理科学科

【デザイン工学部】
デザイン工学科

【建築学部】
建築学科

2 この学則に定めるもののほか、各学部に関する規則は別に定める。

(大学院)

第5条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する学則は、別に定める。

(学術情報センター)

第6条 本学に学術情報センターを置く。

2 学術情報センターに関する規則は別に定める。

(研究所等)

第7条 本学に SIT 総合研究所を置く。

2 SIT 総合研究所に関する規程は別に定める。

(教育イノベーション推進センター)

第8条 本学に教育イノベーション推進センターを置く。

2 教育イノベーション推進センターに関する規程は別に定める。

(収容定員)

第9条 本学の収容定員は別表1のとおりとする。

(学部等における教育研究上の目的)

第10条 学部、学科における人材養成に関する目的、その他の教育研究上の目的は、別表2のとおりとする。

第2章 学 部

第1節 教育課程及び授業科目

(教育課程編成方針)

第11条 本学は学部教育研究上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

(副専攻プログラム)

第11条の2 第11条により編成する教育課程として、学部の教育課程のほか特定の分野に関する教育課程（以下「副専攻プログラム」という。）を開設することができる。

2 副専攻プログラムに関し必要な事項については、芝浦工業大学副専攻プログラム規程の定めるところによる。

(成績評価基準等の明示等)

第 12 条 本学は、学生に対して、授業方法、内容並びに授業計画をあらかじめ明示するものとする。

2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっては、客観性及び厳格性を保持するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに当該基準に従って適切に行うものとする。

(教育課程)

第 13 条 本学の教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを各年次に配当し編成する。

各学部の授業科目、単位数は別表 3、別表 4、別表 5、別表 6 のとおりとし、卒業要件は別表 7 のとおりとする。

(修業年限)

第 14 条 学部の修業年限は 4 年とする。ただし、8 年を越えて在籍することはできない。

(教育内容等改善のための組織的研修等)

第 15 条 本学は各学部の授業の内容及び方法の改善等を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(単位)

第 16 条 本学所定の授業科目に対する課程を修了し、正規の試験等に合格した学生には、その授業科目所定の単位を与える。

2 各授業科目の 1 単位は 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準によって単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技等については、30 時間から 45 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 前項の各規定に関わらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。
- (4) 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が 1 年間または 1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を別に定める。
- (5) 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、別に定めるところにより上限を越えて履修科目の登録を認めることができる。

(各授業科目の授業期間)

第 16 条の 2 各授業科目の授業は、14 週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(授業の方法)

第 16 条の 3 授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 本学学生は前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修することができる。
- 3 本学学生は本条第1項の授業を外国において履修することができる。また、前項の規定により多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修する場合についても同様とする。

(学外単位等認定及び入学前の既修得単位等認定)

第17条 本学学生が本学在籍中に外国を含む他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学学生が本学入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。
- 3 前項により修得したものとみなし、又は認めることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 4 本学に学士入学又は編入学を許可された者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。
- 5 本学に再入学した者は、別に定めるところにより既修得単位の認定をうけることができる。
- 6 本条第1項から前項で認定された単位は、本学で開講されている授業科目に振替えることができる。

(教育職員の免許状)

第18条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を取得しなければならない。

- 2 本学の学科において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類・専門科目及び単位数は別表3、別表4、別表5に掲げるとおりとする。

(授業科目の修了認定)

第19条 授業科目履修修了の認定は試験等による。

(成績評価)

第20条 成績評価はS・A・B・C・D・Fとし、C以上を合格とする。

第3節 卒業及び学位の授与

(卒業認定)

第21条 第14条に定める修業年限以上在学し、別表7に定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が認定する。

- 2 卒業の要件として修得すべき単位のうち、第16条の3第2項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(学位)

第22条 本学を卒業した者には別表9に定める学位を授与する。

第4節 入学、退学、休学及び転学

(入学時期)

第23条 入学の時期は、4月又は10月とする。

(入学資格)

第24条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校、若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校を修了したと文部科学大臣が認めた者を含む。）
- (3) 文部科学大臣が指定した者
- (4) 高等学校卒業程度認定試験規則により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (5) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
- (6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) 本学が、相当の年齢に達し高等学校、若しくは中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学許可)

第25条 前条の者のうち本学が行う選考に合格した者につき、教授会の議を経て学長が入学を許可する。

(学士入学)

第26条 大学を卒業した者及びこれと同等以上の資格を有する者で、本学に入学すること（学士入学と称する。）を希望する者があるときは、別に定めるところにより教授会の議を経て入学を許可することができる。

(編入学)

第27条 本学の各学部編入学を志願する者があるときは、志願先学科及び在学生の学修に支障のない限り、別に定めるところにより選考の上当該学部教授会の議を経て、入学を許可することができる。

(外国人特別入学・帰国子女特別入学)

第28条 本学の各学部編入学を志願する外国人志願者及び帰国子女志願者があるときは、志願先学科及び在学生の学修に支障のない限り、別に定めるところにより選考の上当該学部教授会の議を経て、入学を許可することができる。

(出願書類等)

第29条 本学に入学を志願する者は、所定の入学願書、出身学校長の提出する調査書又はこれに代わるものと認められる証明書及び写真に入学検定料を添えて提出しなければならない。

(入学手続)

第30条 入学を許可された者は、本学所定の誓約書に保証人と連署の上、住民票その他所定

の書類に学費を添えて指定日までに提出しなければならない。

(保証人)

第 31 条 保証人は父母又は独立生計を営む成年者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。保証人として不適当と認めたときは変更を命ずることがある。なお、その身分及び住所に変更があったときは速やかに届け出なければならない。

(休学)

第 32 条 病気又はその他の理由によって 2 ヶ月以上出席できない者は、その理由（病気の場合には診断書）を記して保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を経て休学することができる。

- 2 休学の願い出に際しては、休学開始日の前日の属する期までの学費等を納入していなければならない。
- 3 休学は 1 ヶ年以内とする。ただし、特別の理由のある者は休学延期の願い出により引き続き休学することができる。
- 4 休学期間は通算して 4 年を越えることはできない。
- 5 休学期間は在学年数に算入しないが、在籍年数には算入する。
- 6 休学者は休学した学期の単位を取得することはできない。

(休学期間中の学費)

第 33 条 休学期間中の学費は、許可された期の翌期から、休学する期に限り、授業料を免除する。

(復学)

第 34 条 休学者が復学しようとするときはその理由を記し、保証人連署の復学願を提出し、学長の許可を経て復学することができる。

(退学)

第 35 条 退学しようとする者は、保証人連署の上、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。

- 2 退学の願い出に際しては、退学の日属する期までの学費等を納入していなければならない。

(再入学)

第 36 条 正当な理由により退学した者、又は第 71 条第 1 項第 2 号若しくは第 4 号により除籍された者が再入学を願い出た時は、第 14 条ただし書に定める在籍年数（通算年数とする。）内に卒業見込みのある者に限り、選考のうえ教授会の議を経て入学許可することができる。

(転学)

第 37 条 本学の学生が他に転学を志望するときは、その理由を記して願い出て学長の許可を受けなければならない。

第5節 学 費 等

(学費等)

第38条 学費は別表8に定めるところによる。

- 2 学費とは入学金、維持料、授業料をいう。
- 3 入学検定料は、諸納入金に関する内規に定めるところによる。

(学費の納付)

第39条 学費その他の納入金は指定の期日までに納入しなければならない。

(転部・転科生等の学費)

第40条 転部・転科、又は再入学の許可を受けた者は、新たに所属する学年の学費を納入するものとする。

(学費の取扱)

第41条 既に納入した学費は、事情のいかんにかかわらず一切返還しない。

(職員)

第42条 本学に次の職員を置く。

学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員

(学長・副学長)

第43条 学長は校務をつかさどり、所属職員を統督するとともに本学を代表する。

2 学長は、校務における決定権を有し、最終的な責任を負う。

第43条の2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

(学部長)

第44条 学部長は当該学部の校務をつかさどり、当該学部を代表する。

(教授会)

第45条 各学部に教授会を置く。

2 教授会に関する事項は本学則によるほか、各学部教授会規則の定めるところによる。

第46条 学部長は教授会を招集する。

第47条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 教育及び研究組織に関する事項
- (4) 学科、課程、学科目及び授業に関する事項
- (5) 教員の研究育成及び留学に関する事項
- (6) 教育研究予算の配分の方針に関する事項
- (7) 教員の任用に関する事項
- (8) 学生の指導育成に関する事項
- (9) 学生の賞罰に関する事項
- (10) 教員の資格審査に関する事項

- (11) 学則に関する事項
- (12) その他学長から意見を求められた事項

第 48 条 教授会は、前条各号に定める事項のほか、学長及び学部長その他の教授会等が置かれる組織の長（以下「学長等」という）がつかさどる次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じて意見を述べることができる。

- (1) 教授会の運営に関する事項
- (2) 図書、設備及び施設に関する事項
- (3) 学生の試験、進級、転科、転部に関する事項
- (4) 授業日数及び休業に関する事項
- (5) 学生団体及び学生活動、並びに学生生活に関する事項
- (6) 学部長選挙に関する事項
- (7) 大学協議会委員の選出に関する事項
- (8) 学部規則に関する事項
- (9) その他学長等から意見を求められた事項

2 第 1 項にいう審議とは、議論・検討することを意味し、決定権を含意するものではない。

第 49 条 学長が必要と認める時は、他の学部の教授会と共同して合同の委員会を設けることができる。

(大学協議会)

第 50 条 本学に大学協議会を置き、学長が求める教学に関する重要な事項を審議する。

2 大学協議会は、学長、副学長、各学部長、工学部教授会及びシステム理工学部教授会より選出された教授各 4 名、デザイン工学部及び建築学部より選出された教授各 1 名、大学院理工学研究科長、大学院工学マネジメント研究科長、大学院各研究科より選出された教授各 1 名、学術情報センター長、SIT 総合研究所長、その他学長が指名した者 2 名以内によって組織する。

3 大学協議会は次の各号の内、学長の求めに応じて学部等を越えて調整を要する案件について審議し、学長に意見を述べるものとする。

- (1) 将来計画に関する事項
- (2) 教育及び研究組織に関する事項
- (3) 教育・研究予算に関する事項
- (4) 教員の構成に関する事項
- (5) 学生の指導育成に関する事項
- (6) 大学学則に関する事項
- (7) その他学長から審議を求められた事項

4 大学協議会に関する事項は本学則によるほか、別に定める規則による。

第 51 条 学長は大学協議会を招集する。

第 8 節 科目等履修生・委託生・研究生

(科目等履修生・委託生・研究生)

第 52 条 本学学生以外の者が、本学所定の授業科目を一又は複数選択して履修する者を科目等履修生とする。

2 科目等履修生については、別に定める。

第 52 条の 2 官公庁、法人又は外国政府より委託されて随時入学する者を委託生とする。

2 委託生の入学資格は第 24 条に準ずる。

第 52 条の 3 一定の研究課題について研究する者を研究生とする。

2 研究生の入学資格は、大学卒業又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

第 53 条 委託生及び研究生は、本学学生の授業に支障のない限り教授会の議を経て、学長が入学を許可する。

第 54 条 外国人の委託生及び研究生に関しては、別に定めるところにより教授会の議を経て、学長が入学を許可することができる。

第 55 条 委託生及び研究生の学費等は、別表 8 のとおりとする。

第 56 条 委託生が試験に合格したときは、単位取得証明書を交付する。

第 57 条 科目等履修生、委託生及び研究生については、本章に規定するもののほか本学則の各章の規定を準用する。

(公開講座)

第 58 条 本学は、技術者の再教育及び一般公衆の文化向上を期して講座を公開することがある。

第 59 条 (削除)

第 60 条 公開講座の聴講料は、必要に応じ適当と認める額を納入させることがある。

第 10 節 学年・学期及び休業日

(学年)

第 61 条 本学の学年は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(学期)

第 62 条 学年を分けて、次の 2 学期とする。

(1) 前期 4 月 1 日より 9 月 30 日まで

(2) 後期 10 月 1 日より 3 月 31 日まで

2 各学期における授業開始日及び授業終了日等は、年度毎に定める学年暦による。

(休業日)

第 63 条 本学の休業日は次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 創立記念日 (11 月 4 日)

- (4) 春季休業
 - (5) 夏季休業
 - (6) 冬季休業
- 2 学長は教授会の議を経て休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。
- 3 第1項の休業日のうち春季、夏季及び冬季の休業日期间は別に定める。

第11節 寮及び厚生保健

(学生寮)

第64条 必要に応じ学生寮を置き、本学が管理する。学生寮に関する規則は別に定める。

(厚生寮等)

第65条 本学に教職員学生のための寮、セミナーハウス等を置く。寮、セミナーハウス等に関する規則は別に定める。

(学校医・健康診断)

第66条 本学は、学生の保健衛生に留意し体位向上を期するため、学校医を委嘱する。また、毎年度定期的に健康診断を行う。

第12節 賞 罰

(授業料免除)

第67条 品行方正、学力優秀、精勤で学生の範と認められた者には特待生として賞状を授け、授業料を免除することがある。ただし、特待生としての資格に欠けた場合は、その待遇は解かれるものとする。

(学長賞)

第68条 在学期間中品行方正、学力優秀で学生の範と認められた者には卒業に際し、学長賞が授けられることがある。

(懲戒)

第69条 学生にして本学則にそむき、又は学生の本分に反する行為があった場合は、教育目的のために懲戒する。懲戒処分はその事情によって譴責、停学及び退学とする。

(退学)

第70条 次の各号の一つに該当する者は、教授会の議を経て学長が退学を命ずる。

- (1) 入学誓約書に違反した者
- (2) 性行不良で学生の品位を乱し、改善の見込みがないと認められた者
- (3) 学力劣等で成業の見込みがないと認められた者
- (4) 正当な理由がなく常に出席しない者
- (5) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第13節 除 籍

(除籍)

第71条 学長は、次の各号の一つに該当する者について除籍する。

- (1) 行方不明の届け出のあった者
- (2) 学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者
- (3) 第14条ただし書きに定める在籍年数を超えた者
- (4) 休学期間満了となっても復学等の手続きをしない者

第3章 雑 則

(雑則)

第72条 この学則の改廃は、教授会で審議し、大学協議会の議を経て学長が行う。

附 則

- 昭和 24 年 3 月 25 日 (機械工学科・土木工学科設置)
- 昭和 25 年 3 月 1 日 (電気工学科増設)
- 昭和 27 年 3 月 1 日 (教職課程設置)
- 昭和 29 年 2 月 15 日 (建築学科・工業化学科増設)
- 昭和 29 年 4 月 1 日 (教育職員免許状授与認定)
- 昭和 29 年 4 月 1 日 (同上。聴講生制度認定)
- 昭和 30 年 1 月 20 日 (機械工学科・電気工学科定員増)
- 昭和 31 年 3 月 1 日 (二部機械工学科・電気工学科増設)
- 昭和 34 年 3 月 1 日 (金属工学科・電子工学科増設)
- 昭和 40 年 12 月 27 日 (機械工学第二学科・通信工学科・建築工学科・工業経営学科増設)
(機械工学科・電気工学科定員変更)
- 昭和 43 年 6 月 21 日 (教授会構成員・卒業単位数変更)
- 昭和 44 年 5 月 16 日 (教授会構成員変更)
- 昭和 47 年 11 月 17 日 (講座制・教授会その他変更)
- 昭和 49 年 4 月 1 日 (全学科定員変更及び教育職員免許状取得に関する授業科目変更)
本改正学則は昭和 49 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検
定料は昭和 49 年 1 月 21 日より実施し、学費は昭和 49 年度入学生に
適用する。
- 昭和 50 年 4 月 1 日 (大学院及び研究生の制度並びに抹籍処理の付加、別表 1 の授業科
目、単位数の一部変更、一部学費の改訂及び休学中の授業料免除
額の規定)
本改正学則は、昭和 50 年 4 月 1 日より実施する。ただし、学費及
び休学中の授業料の免除額については、昭和 50 年度以降の入学生
に適用する。
- 昭和 51 年 4 月 1 日 (教育職員免許状授与に関する記載事項の修正並びに入学検定料の
変更)
本改正学則は、昭和 51 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検
定料は昭和 51 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 52 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和 52 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検
定料は昭和 52 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 53 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部の変更並びに学費の変更)
本改正学則は、昭和 53 年 4 月 1 日より実施する。ただし、学費は
昭和 53 年度以降の入学生に適用する。
- 昭和 54 年 4 月 1 日 (編入学・休学・復学等の条文並びに授業科目・単位数の一部変更)
- 昭和 55 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和 55 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検
定料は昭和 55 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 56 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに学費の変更)
本改正学則は、昭和 56 年 4 月 1 日より実施する。ただし、学費
は昭和 56 年度以降の入学生に適用する。

- 昭和 57 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更、学費納入に関する条文の修正並びに入学検定料の変更)
本改正学則は昭和 57 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検定料は昭和 57 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 58 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更、教育職員免許状の資格取得に関する記載事項の修正)
- 昭和 59 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに入学検定料、学費の変更)
本改正学則は、昭和 59 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検定料は昭和 59 年 1 月 10 日より実施し、学費は昭和 59 年度入学生に適用する。
- 昭和 60 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更並びに学費の変更)
本改正学則は、昭和 60 年 4 月 1 日より実施する。ただし、学費は昭和 60 年度以降の入学生に適用する。
- 昭和 60 年 12 月 25 日 (全学科定員変更)
本改正学則は、昭和 61 年 4 月 1 日より実施する。
- 昭和 61 年 4 月 1 日 (定員の変更、授業科目・単位数の一部変更、一部廃寮に伴う条文修正及び入学検定料の変更)
本改正学則は、昭和 61 年 4 月 1 日より実施する。ただし、入学検定料は、昭和 61 年 1 月 10 日より実施する。
- 昭和 62 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更)
本改正学則は、昭和 62 年 4 月 1 日より実施する。
- 昭和 63 年 4 月 1 日 (授業科目・単位数の一部変更。)
本改正学則は、昭和 63 年 4 月 1 日より実施する。
- 平成元年 4 月 1 日 (他大学等における既修得単位の認定に関する条項の追加、入学手続き時の提出書類に関する条文修正、抹籍及び再入学に関する条文の修正、授業科目の一部変更、学費・入学検定料等の変更)
本改正学則は、平成元年 4 月 1 日より実施する。
ただし、入学検定料は、平成元年 1 月 10 日より実施する。
- 平成 2 年 4 月 1 日 (条文 (第 9 条第 2 項、第 21 条)、授業科目・単位数の一部、教職課程に関する授業科目等及び学費の変更)
本改正学則は、平成 2 年 4 月 1 日より実施する。
ただし、学費は平成 2 年度入学生に適用する。
- 平成 3 年 4 月 1 日 (新学部設置による変更)
学則条文の整理、別表 (入学定員、授業科目等、卒業要件、学費等) の変更。
この学則 (改正) は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、学費および入学検定料は平成 3 年度入学生より適用する。
- 平成 3 年 10 月 1 日 (学費の一部変更)
本改正学則は平成 3 年 10 月 1 日より実施する。
- 平成 4 年 4 月 1 日 (大学設置基準の改正に伴う学則条文の一部改正、別表の収容定員、授業科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)
この学則 (改正) は、平成 4 年 4 月 1 日から実施する。
ただし、第 9 条、第 18 条、第 34 条に係る事項は次の通りとする。
1. 第 9 条の別表 1 は、この規程にかかわらず、平成 4 年度から平成 11 年度までの入学定員を次表の通りとする。

期間付入学定員

| 工学部 | 学 科 名 | 入学定員 |
|-----|-------------|------|
| 一 部 | 機 械 工 学 科 | 90名 |
| | 機械工学第二学科 | 90名 |
| | 材 料 工 学 科 | 90名 |
| | 工 業 化 学 科 | 90名 |
| | 電 気 工 学 科 | 90名 |
| | 通 信 工 学 科 | 90名 |
| | 電 子 工 学 科 | 90名 |
| | 土 木 工 学 科 | 90名 |
| | 建 築 学 科 | 90名 |
| | 建 築 工 学 科 | 90名 |
| | 工 業 経 営 学 科 | 90名 |
| | 合 計 | 990名 |

2. 第18条は、平成4年3月18日より実施する。

3. 第34条の別表第5は、平成4年度入学生より適用する。

平成5年4月1日 (別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)

この学則(改正)は、平成5年4月1日から実施する。

ただし、第34条の別表第5は、平成5年度入学生より適用する。

平成6年4月1日 (学則条文第13条、第24条、第46条、第48条、第49条、第50条、第51条、第52条、第53条の一部改正、別表の授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則(改正)は、平成6年4月1日から実施する。

平成7年4月1日 (二部新学科設置に係る学則条文第4条、収容定員の減少(修学年数の変更)に係る学則条文第11条、第28条の一部改正。別表の収容定員、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則(改正)は、平成7年4月1日入学生より適用する。

ただし、第9条の別表1は、この規程にかかわらず、平成7年度から平成10年度までの工学部二部機械工学科・電気工学科の収容定員は、次の通りとする。

| 学部 | 年 度 | 機械工学科 | 電気工学科 |
|-----------------------|--------|-------|-------|
| 工 学 部 二 部 | 平成7年度 | 400名 | 400名 |
| | 平成8年度 | 400名 | 400名 |
| | 平成9年度 | 400名 | 400名 |
| | 平成10年度 | 400名 | 400名 |

平成 8 年 4 月 1 日 (学科名称変更に係る学則条文第 4 条の一部変更。学則条文第 1 3 条の一部改正。別表の収容定員。工学部授業科目 (教職課程を含む) 単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)
(経過措置)

工学部一部金属工学科は、平成 8 年 3 月 31 日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則 (改正) は、平成 8 年 4 月 1 日から実施する。

平成 9 年 4 月 1 日 (学則条文第 7 条の一部改正、第 8 条の削除、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則 (改正) は、平成 9 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 9 年度入学生より適用する。

平成 10 年 4 月 1 日 (学則条文第 6 条並びに第 46 条の一部改正、別表の授業科目、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更)

この学則 (改正) は、平成 10 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 10 年度入学生より適用する。

また、第 6 条の学術情報センターについては平成 10 年 2 月 1 日より適用する。

平成 11 年 4 月 1 日 (別表の授業科目・単位数、卒業要件、学費等の一部変更)

この学則 (改正) は、平成 11 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 11 年度入学生より適用する。

平成 12 年 4 月 1 日 (システム工学部電子情報システム学科の定員の変更、工学部一部の臨時定員の延長および恒常化入学定員の変更、授業科目・単位数、卒業要件及び学費等の一部変更)

この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 9 条、第 34 条に係わる事項は次の通りとする。

1. 第 9 条の別表 1 は、この規程にかかわらず、平成 12 年度から平成 15 年度までの入学定員を次表の通りとする。

期間付入学定員

| 工学部一部 | 平成 12 年度 | 平成 13 年度 | 平成 14 年度 | 平成 15 年度 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|
| 機 械 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 機械工学第二学科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 材 料 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 工 業 化 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 電 気 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 通 信 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 電 子 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 土 木 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 建 築 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 建 築 工 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |
| 工 業 経 営 学 科 | 89 名 | 88 名 | 87 名 | 86 名 |

2. 第 34 条の別表 5 は、平成 12 年度入学生から適用する。

平成 13 年 4 月 1 日（学科名称変更に係る学則条文第 4 条の一部変更。別表の収容定員、授業科目（教職課程を含む）、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更）

（経過措置）

工学部一部工業化学科及び工業経営学科は、平成 13 年 3 月 31 日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則（改正）は、平成 13 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 13 年度入学生より適用する。

平成 14 年 4 月 1 日（学則条文第 32 条、第 38 条、第 46 条、第 67 条の一部改正。別表の授業科目（教職課程を含む）、単位数、学部・学科別卒業要件、納入金等の一部変更。）

この学則（改正）は、平成 14 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 14 年度入学生より適用する。

平成 15 年 4 月 1 日（工学部の収容定員の増加に係る学則条文第 4 条の一部変更。別表の収容定員。工学部の名称及び入学定員の変更、工学部二部 2 学科の廃止、授業科目・単位数、学部・学科別卒業要件、教育職員免許状の種類・教科の一部変更。学則条文第 10 条、第 24 条の一部改正、別表の納入金等の一部変更。）

（経過措置）

工学部一部及び工学部二部機械工学科・電気工学科は、平成 15 年 3 月 31 日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則（改正）は、平成 16 年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 34 条の別表 5 は平成 15 年度入学生より適用する。

平成 16 年 4 月 1 日（工学部の収容定員の増加に係る学則条文第 4 条の一部変更。別表 1 の収容定員、入学定員の変更。工学部二部 1 学科の廃止に係わる学則第 29 条、第 34 条、別表 2 の授業科目・別表 4 の単位数等の一部変更。学費に係わる別表 5 の一部変更。）

（経過措置）

工学部二部電気設備学科は、平成 16 年 3 月 31 日に当該学部・学科に在学するものが当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この学則（改正）は、平成 16 年 4 月 1 日から実施する。ただし、第 34 条の別表 5 は平成 16 年度入学生より適用する。

平成 17 年 4 月 1 日（学則条文第 8 条の追加、第 29 条の一部改正。別表 5 の納入金等の一部改正。）

この学則（改正）は、平成 17 年 4 月 1 日から実施する。ただし、第 29 条の休学期間中の学費の取扱は、平成 17 年度の在籍者から適用する。

平成 18 年 4 月 1 日（学則条文第 3 条の変更、第 10 条、第 46 条の一部改正。別表 2 の工学部授業科目、別表 3 のシステム工学部授業科目、別表 4 の学部・学科別卒業要件、別表 5 の納入金等の一部改正。）

この学則（改正）は、平成 18 年 4 月 1 日から実施する。

- 平成19年4月1日 (学則条文第38条並びに第43条の一部改正。別表2の工学部授業科目、別表3のシステム工学部授業科目、別表4の学部・学科別卒業要件、別表5の納入金等の一部改正。)
この学則(改正)は、平成19年4月1日から実施する。
- 平成20年4月1日 (学則条文第1条、第4条、第18条、第34条、第36条、の一部改正。別表1収容定員、別表2の工学部授業科目、別表3システム工学部授業科目、別表4の学部学科別・卒業要件の変更、別表5の納入金の一部改正、別表6学位の種類を追加。)
この学則(改正)は、平成20年4月1日から施行する。
- 平成21年4月1日 (学則条文第29条、第46条、別表6の一部改正。デザイン工学部設置、システム工学部数理科学科設置、工学部機械工学第二学科名称変更、システム工学部名称変更、収容定員の変更に係る学則第4条、第10条、第17条、第18条、第34条、第51条の一部改正。別表1収容定員、別表2の工学部授業科目、別表3システムの工学部授業科目、別表4のデザイン工学部授業科目、別表5学部学科別・卒業要件の変更、別表7学位の種類の一部追加ならびに改正。)
工学部機械工学第二学科は、平成21年3月31日に当該学科に在学するものが当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
システム工学部は、平成21年3月31日に在学するものが、当該学部_に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
この学則(改正)は、平成21年4月1日から実施する。
ただし、別表6納入金の取り扱いは、平成21年度の在籍者から適用する。
- 平成22年4月1日 (条項に項目(見出し)を追加。認証評価に係る学則第1条の3の追加。SIT総合研究所に係る学則第7条の2の追加。学部等における教育研究上の目的に係る学則第10条の追加。教育課程編成方針に係る学則第11条の追加。成績評価基準等の明示等に係る学則第12条の追加。教育内容等改善のための組織的研修等に係る学則第15条の追加。学則条文第21条、第30条、第63条の一部改正。学則第65条と第66条の入れ替え。学部等における教育研究上の目的に係る別表2の追加。別表3工学部授業科目、別表4システム理工学部授業科目、別表5のデザイン工学部授業科目、別表6学部学科別・卒業要件の変更。)
この学則(改正)は、平成22年4月1日から適用する。
- 平成23年4月1日 (学長に係る学則第43条の追加。公開講座に係る学則第59条の削除。学期に係る学則第62条第2項の追加。別表2芝浦工業大学における教育研究上の目的、別表3工学部授業科目、別表4システム理工学部授業科目、別表5デザイン工学部授業科目、別表6学部学科別・卒業要件の変更。)
この学則(改正)は、平成23年4月1日から適用する。
- 平成24年4月1日 (学則条文第8条の変更。別表2学部等における教育研究上の目的、別表3工学部授業科目、別表4システム理工学部授業科目、別表5デザイン工学部授業科目、別表6学部学科別・卒業要件の変更。)
この学則(改正)は、平成24年4月1日から実施する。

教育イノベーション推進センター設置にともない教育支援センターは廃止する。

- 平成 25 年 4 月 1 日 別表 2 学部等における教育研究上の目的、別表 3 工学部授業科目、別表 4 システム理工学部授業科目、別表 5 デザイン工学部授業科目、別表 6 学部学科別・卒業要件の変更。学則条文第 8 条の変更)
この学則（改正）は、平成 25 年 4 月 1 日から実施する。
- 平成 26 年 4 月 1 日 (学則第 11 条の 2 に副専攻プログラムを追加。学則第 16 条の一部改正。学則第 23 条入学時期の一部改正。別表 2 学部等における教育研究上の目的、別表 3 工学部授業科目、別表 4 システム理工学部授業科目、別表 5 デザイン工学部授業科目、別表 6 学部学科別・卒業要件の変更。)
この学則（改正）は、平成 26 年 4 月 1 日から実施する。
- 平成 27 年 4 月 1 日 (学校教育法および同施行規則改正に伴う変更) 学則第 43 条学長の権限と責任、及び同第 43 条の 2 副学長職務についての追加。同 44 条から同 48 条まで教授会の役割について改正および一部削除。同 50 条大学協議会の役割について一部改正。
この学則（改正）は、平成 27 年 4 月 1 日から実施する。
- 平成 28 年 4 月 1 日 (学則第 3 条の変更。先端工学研究機構に係る学則第 7 条の 1 及び 2 の削除。学則第 16 条を単位、各授業科目の授業期間、授業の方法に分類。学則第 16 条 2 に卒業論文等の授業科目に係わる単位数及び履修科目として登録できる単位数上限を追加。学則第 16 条の 3 に授業の方法を追加。学則第 17 条の一部改正。学則第 18 条の 2 の一部改正。学則第 21 条の一部改正。学則第 24 条の一部改正。学則第 27 条の一部改正。学則第 28 条の一部改正。学則第 31 条の一部改正。
別表 3 工学部授業科目、別表 4 システム理工学部授業科目、別表 5 デザイン工学部授業科目の変更。)
この学則（改正）は、平成 28 年 4 月 1 日から実施する。
- 平成 29 年 4 月 1 日 (建築学部設置及び収容定員の変更に係る学則第 4 条、第 13 条、第 21 条、第 22 条、第 38 条、第 50 条の 2、第 55 条の改正。別表 1 収容定員、別表 2 教育研究上の目的、別表 6 建築学部授業科目、別表 7 学部・学科別卒業要件、別表 8 納入金、別表 9 学位の種類の一部追加ならびに改正。)
工学部建築学科及び建築工学科は、平成 29 年 3 月 31 日に在学するものが、当該学部にて在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
この学則（改正）は、平成 29 年 4 月 1 日から実施する。

別 表

| | | |
|-------|-----------|----------------------|
| 別 表 1 | ・ ・ ・ ・ ・ | 収 容 定 員 |
| 別 表 2 | ・ ・ ・ ・ ・ | 芝浦工業大学における教育研究上の目的 |
| 別 表 3 | ・ ・ ・ ・ ・ | 工学部授業科目（教職課程含む） |
| 別 表 4 | ・ ・ ・ ・ ・ | システム理工学部授業科目（教職課程含む） |
| 別 表 5 | ・ ・ ・ ・ ・ | デザイン工学部授業科目（教職課程含む） |
| 別 表 6 | ・ ・ ・ ・ ・ | 建築学部授業科目 |
| 別 表 7 | ・ ・ ・ ・ ・ | 学部・学科別卒業要件 |
| 別 表 8 | ・ ・ ・ ・ ・ | 納 入 金 |
| 別 表 9 | ・ ・ ・ ・ ・ | 学位の種類 |

別表 1

収容定員

| 学部 | 学 科 名 | 入学定員 | 収容定員 |
|--------------------------------------|---------------------|------|--------|
| 工 学 部 | 機 械 工 学 科 | 115 | 460 |
| | 機 械 機 能 工 学 科 | 115 | 460 |
| | 材 料 工 学 科 | 105 | 420 |
| | 応 用 化 学 科 | 105 | 420 |
| | 電 気 工 学 科 | 105 | 420 |
| | 通 信 工 学 科 | 105 | 420 |
| | 電 子 工 学 科 | 105 | 420 |
| | 土 木 工 学 科 | 105 | 420 |
| | 情 報 工 学 科 | 115 | 460 |
| 合 計 | | 975名 | 3,900名 |
| シ ス テ ム 理 工 学 部 | 電 子 情 報 シ ス テ ム 学 科 | 115 | 460 |
| | 機 械 制 御 シ ス テ ム 学 科 | 90 | 360 |
| | 環 境 シ ス テ ム 学 科 | 90 | 360 |
| | 生 命 科 学 科 | 115 | 460 |
| | 数 理 科 学 科 | 75 | 300 |
| | 合 計 | 485名 | 1,940名 |
| 工 学 部 デ ザ イ ン | デ ザ イン 工 学 科 | 160 | 640 |
| | 合 計 | 160名 | 640名 |
| 建 築 学 部 | 建 築 学 科 | 240 | 960 |
| | 合 計 | 240名 | 960名 |

別表 2

芝浦工業大学における教育研究上の目的

大学

芝浦工業大学は、学位授与の方針に掲げる知識・スキル・能力・態度を修得させるため、「全学共通科目」、「学部」共通教育科目、「学科」専門教育科目を講義、演習、実験、実習により体系的に編成します。学生の主体的・能動的な学修・研究を促す教育方法を実施し、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、学修・教育目標を達成します。建学の精神やディプロマ・ポリシーの達成を目的とした全学生が学べる科目として、全学共通科目を開設しています。

1. 工学部

工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、工学系の多くの大学で行われてきた知識偏重の傾向と、「如何に創るか」に力点がおかれた教育を見直し、次の三つのステージを重視した教育方針としています。

第一は、工学のそれぞれの分野で、工学や技術が「何のために行使されるのか」を解明することで、そのためには人間が積み上げてきた成果と欠陥を見極める歴史の検証が必要となります。第二は、「何故」をつきつめることです。社会には、必要、欲求、具体的要求の各段階の要求が存在します。それらの要請に無条件で応える工学者はなく、批判的に取り組み、検証して実践する見識を身につける教育が必要不可欠です。第三は、「如何に創るか」を学び、それを基礎として創造力を高めることです。これらの教育方針をうけて、工学部では、共通教育科目と専門教育科目について、次の五つの目標を掲げてカリキュラムを構築しています。

1. 豊かな教養を涵養する体系的学習
工学の専門教育の修得に必要な学力の確保
2. 創造性の育成
未踏の分野に挑戦する気力を高める
3. 工学知識の体系的学習
工学の基礎知識と論理的思考法の体系的修得
4. 他者との共生
様々な文化・環境との協調・調和・共存
5. 本学の歴史的独自性の確立
自律を維持し本学構成員相互の信頼を高める

これらの目標をもとに設定した各授業において学修・教育到達目標と到達目標を設定して、学修成果が一定のレベルに達した際に単位を付与します。

学科

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|---------|--|
| 機械工学科 | <p>機械工学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げた技術者の育成を実現するため、次の方針に基づいてカリキュラムを編成し、教育を行い、学修成果を評価します。</p> <p>(1) 1・2年次を中心とした共通・教養科目によって、機械工学の理論基盤となる自然科学の基礎知識、技術者として適切な判断ができる倫理観と豊かな人間性、論理的な説明や意見交換を行うための語学力を育成します。</p> <p>(2) 自然科学の基礎科目と並行して1・2年次の専門科目において必修四力学（材料力学、流れ学、機械力学、熱力学）を開講し、機械工学の体系に沿って力学的思考法と解析能力を育成します。また、設計科学に主眼を置いた科目（設計製図、制御工学、加工法など）、応用領域の科目を2・3年次に開講し、力学の体系的知識を工学問題に応用する能力を育成します。</p> <p>(3) 主体的学修に重点を置いた体験型総合演習科目（機械工学の基礎、機械設計製図、機械工学実験、応用機械工学実験、機械ゼミナール、卒業研究）を各年次に開講し、これらの継続的学修を通じて、問題発見・問題設定・問題解決力、チームワーク力、コミュニケーション能力、自己学修力を育成します。</p> <p>(4) 知識の定着と活用を促すため、講義・演習・事前事後の時間外学修を適切に組み合わせた教育と、実験やものづくりを通じた体験教育を実施します。</p> <p>(5) 知識や技術の理解度・習熟度、汎用的能力の達成度など、多様な学びによって身につけた学修成果を、試験や課題に対する成果、ルーブリック、それらの組み合わせなどによって評価します。</p> |
| 機械機能工学科 | <p>機械機能工学科では基礎と応用の統合を目指したカリキュラムのもとで、創造性とエンジニアリングセンスを養う「モノを創り出す能力の育成」と「行動力」を学科創設の精神としています。そして、ディプロマ・ポリシーに掲げた目標を達成するために次の方針でカリキュラムを構成し、学修成果を評価します。</p> <p>当学科の大きな特徴は基礎科目の修得を基本とする一方、それらを統合する応用・体験教育、すなわち、設計、実験、研究を中核としたカリキュラム構成の中で、学生の自主性に基づく学習姿勢を喚起し、創造性とエンジニアリングセンスを高めることに大きな目標を置いています。</p> <p>(1) 教育カリキュラムでは基礎学問の修得を徹底させると同時に、卒業後の多様な進路に応じて体系的な専門科目の履修を指導する体制を整えています。また、国際的に通用する技術者となるためには、短期間や長期間の留学などにより世界の人々と交流し、社会、文化、歴史を学ぶことは必須です。そこで、学生の間には外国訪問できることを推奨しています。</p> <p>(2) カリキュラムの中核をなすのが応用・体験教育科目であり、1年生から3年生までを通して、工学実験、Computer aided engineering (CAE)、機械設計、社会人による特別講義などの履修を義務づけ、教室で学んだ基礎学問の具体的な応用と豊富な体験の積み重ねを通して、技術者にとって最も大切な創造性とエンジニアリングセンスを養います。</p> <p>(3) 4年次には卒業研究を通じて、「科学のおよび工学的思考」「技術論文の作成」「発表力と表現力」など、技術者に求められる必須能力を完全に身に付けられることができるよう、1研究室8～10名の少人数制の徹底した指導システムを採用しています。これにより、技術者としての能力はもちろん、豊かな人間性と広い視野を身につけることができます。</p> <p>上記方針のもとに設定した各授業において学修・教育到達目標と到達達成目標を設定して、学修成果が一定のレベルに達した際に単位を付与します。</p> |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|-------|---|
| 材料工学科 | <p>本学科では、材料力学や熱力学に始まり、量子物性論や破壊力学に至る材料工学のベースとなる基礎的理論を網羅的に学び、それらを金属、セラミックス（無機材料）、半導体、有機材料および種々の先端機能材料などの広範囲な材料・物質に対するツールとして用いる方法を学び、プロセス、構造・機能物性の発現などへと発展させる教育カリキュラムを採用しています。これは他学科（例えば、応用物理学科、電子工学科、機械工学科、応用化学科など）にはない本学科独自の講義体系であり、さらにそれらを演習、実験、ゼミナール、卒業研究において具体的な「材料」を対象として用いることで理解の向上を図っています。日々刻々と進化する、『新たな物質創製科学研究（マテリアル・サイエンス）』に十分対応できる、高度な専門知識の習得と、卒業後における産業界での新たな材料開発に十分対応できるエンジニアならびに先端領域で活躍できる研究者育成を目指し、学科教員が一丸となって社会のニーズと飛躍的な産業界の進歩に見合った高度な専門教育と広範囲な研究を行っています。さらに、今後は理学部的要素の強い本学科の特質を踏まえ、大学院と連動した下記3つのコースを立ち上げ、他大学にはない、本学科独自の新たな教育ならびに研究体制を構築しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超伝導・高機能材料科学 ・宇宙・極限環境材料科学 ・ナノ材料・分子デバイス科学 <p>新たな物質創製科学研究は、21世紀に入った今、飛躍的に発展する研究領域として位置付けられ、新領域分野となる、①IT産業の基盤材料（例えば、半導体デバイス材料）、②ナノテクノロジー、③新エネルギー、④エコロジーなどの今後の社会における主要キーワードを積極的にカリキュラムに取り入れ、学科独自の新たな教育と研究体制の確立に取り組んでいます。『材料工学科』の英語名称は、『Department of Materials Science and Engineering』であり、工学部に属する多くの学科の中で学科名称に『Science：サイエンス』が付く特異性を有し、物性物理学などの先端物理的思考を重視しています。『大学ならではの物質科学研究に対する学問の構築』と『物質、材料に対する知性の創成（Innovation of Materials Science Intelligence）』を目指すことが、本学科の教育方針です。上記の事項に基づいて設定した各授業において学修・教育到達目標と到達目標を設定し、学修成果が一定のレベルに達した際に単位を付与します。</p> |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|-------|---|
| 応用化学科 | <p>応用化学科では、化学技術者として国内外の課題に対処するためには化学分野の基礎学力の修得だけでなく、自らが国際社会の一員であるという認識を持ち、問題発見に必要な情報を集め、自らの責任で判断し、計画を立てて課題を達成する能力の取得が必要であると考えます。実現するために以下の5項目を学修・教育達成目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 確かな基礎と化学の専門知識に基づいて問題を解決する。 (2) 地球環境および地域社会との調和を見据えて問題を発見する。 (3) 常に自己研鑽を怠らず継続的な自己啓発を行う。 (4) 的確な判断のもとに技術者として責任のある行動をとる。 (5) 総合的な視点から計画を立て、課題を達成する。 <p>応用化学科では、有機化学系、物理化学系、無機化学系、化学工学系、分析化学系、生物化学系、総合系の専門科目群の授業が用意されています。1・2年次に共通・教養科目群の授業科目により基礎知識を身につけると同時に、専門基礎科目も開講します。専門分野の知識や技術を理解する能力を養い、基礎実験科目により、実験を通して基礎知識の理解と実践力を養います。基礎知識から高度な知識に系統立てて化学を学習できるようになっています。</p> <p>達成度評価方法と評価基準はそれぞれの科目ごとに定められています。複数の学修・教育目標を持つ科目ではそれぞれの目標ごとに評価し、学修成果が一定のレベルに達した際に合格として総合的に達成度を評価し、単位を付与します。</p> <p>また応用化学科の教育プログラムは日本技術者教育認定機構（JABEE）により認定されています。卒業者は技術士資格試験のうち第一次試験を免除されます。</p> |
| 電気工学科 | <p>芝浦工業大学工学部は、「しっかりとした基礎学力の上に工学を学び、社会に貢献できる創造性豊かな人材の育成」を教育の根幹としています。これをもとに、電気工学科では、以下に挙げる能力を身につけることを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 多様な視点から種々の文化および社会の発展の歴史を学び、多面的にものごとを捉える能力 (2) 技術における倫理的責任の認識と実践のため、技術者の行動規範となる倫理要綱を理解し説明できる能力。また工学の実践の場において、技術者として倫理観に基づき価値判断する能力 (3) 数学、自然科学、情報利用技術を問題解決のための言語・道具として使いこなす能力 (4) 電気工学ならびに関連する工学の技術分野を課題に適用し、社会の要求を解決するための応用力 (5) 社会のニーズを捉え、技術的課題を自ら設定し、デザイン能力を活かして設計、解析、製作、評価し、課題を解決する能力 (6) グローバルな社会に通用するコミュニケーション能力 (7) 継続的に学習することにより、課題を自主的に選択し自らの探求心を高めることができる能力 (8) 時間、費用を含む与えられた制約の下で課題の内容を正しく理解し、計画の立案ならびに計画に基づいて仕事をするとともに、結果を正しくまとめることができる能力 (9) 他分野を含むチームの中での役割を正しく認識し、お互いの意思疎通を図りながら円滑に仕事をする能力。また、振り返り場面での気づきや自己認識ができる能力 <p>以上、これらの目標をもとに設定された各授業において学修・教育到達目標を設定し、学修成果が一定にレベルに達した際に単位を付与します。</p> |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|-------|--|
| 通信工学科 | <p>通信工学科では、以下の教育を行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広く実社会に貢献できる工学者としての人格と教養を身につける共通教育 ・ 通信工学の社会の発展へ関わりについての理解に基づいた専門教育 ・ グローバル思考を養うための各種授業科目からなる教育プログラム全体を通して、大学・学部の理念に沿った人材教育 <p>通信工学は、無線や光などによる情報伝達の原理、それを具現化する装置・回路、情報伝達の効率・品質・信頼性を高める通信・ネットワークの方式など、ハードウェアおよびソフトウェアの複合的手法を用いて情報通信を高度化する学問です。音響工学、センサ工学、生体工学なども広い意味での通信工学と密接に関わっており、関連の専門科目が配当されています。1年次では各専門分野に共通する基礎知識の修得を目指します。2年次では、各専門分野の基礎となる初歩的な専門科目を修得し、より高度な専門科目の学修に備えます。3年次は、相対的に選択（必修）科目の割合が増え、学生が各自志向する専門領域に重点を置いた学びを促します。これらの専門科目は、研究室での個別指導による4年次の卒業研究へとつながり、カリキュラムとして完結します。</p> <p>ディプロマ・ポリシーの学修・教育目標に掲げる知識とスキルを修得するため、講義科目で原理と理論を学んだ上で、演習科目を中心としたアクティブ・ラーニングにより理解を深めます。さらに1年次から3年次にかけて、プログラミングや実験などの体験型科目を通して実用スキルを学びます。4年次の卒業研究は、3年次までの学修成果を応用するプロブレム・ベース・ラーニング（PBL）に位置づけられます。希望学生は、グローバル人材に成長するための動機付けとして、海外の協定大学の学生と共に短期PBLプログラムに参加できます。これらの授業の学修成果は、各授業が重視する学修・教育目標の項目に応じて、記述試験、口頭諮問、プレゼンテーションもしくは課題レポートにより評価し、学修成果が一定のレベルに達した際に単位を付与します。</p> |
| 電子工学科 | <p>電子工学科では、電子物性および半導体・光・電子デバイスに関連する物性デバイス分野と、電子回路の設計・解析および情報処理・情報通信に関連する知能情報回路分野の2つ専門分野の授業が用意されています。カリキュラムはJABEEの技術者教育プログラムに準拠しており、具体的には以下のように基礎知識からより高度な知識へと系統だてて学習できる構成になっています。学修成果は、試験、レポート、演習課題に対する解答、実技の実践、プレゼンテーション、卒業論文により評価し、成果が一定のレベルに達した際に単位を付与します。</p> <p>（1）1～2年次のカリキュラム： 数理専門基礎科目により、電子工学の習得に必要な基礎知識を身につけ、専門分野の知識や技術を理解する能力を養い、さらに、基礎実験科目により、実験を通して基礎知識を理解すると共に実践力を養います。</p> <p>（2）3～4年次のカリキュラム： 専門科目や実験・演習科目を学習することにより、様々な技術問題に対応できる基礎知識を身につけ、さらに、物性デバイス分野および知能情報回路分野の科目を系統的に学びます。4年次には卒業研究を行います。3年次までに学んだことを基礎に、各自、研究背景や問題提起からそれを解決する方法や手段、研究成果などについて、研究室や学科での発表会を通じて討論し、研究・技術開発手法の基礎を学びます。</p> <p>（3）エンジニアリング・デザイン能力を育むカリキュラム</p> <p>エンジニアリング・デザイン能力を身につける科目により、チーム・グループの一員として、課題に取り組み、プレゼンテーションや討議などの経験を通して、デザイン能力を養います。</p> |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|-------|--|
| 土木工学科 | <p>土木工学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するため、土木教育における社会科学の重要性を認識し、『社会科学をとり込み社会基盤システムの創造を担う人材を育む』を教育課程編成方針としております。</p> <p>現在の日本は、高度資本主義社会から成熟社会への移行期に位置しています。「都市再生」、「インフラ整備における市民のニーズと社会変化に対応した量から質への変化」、「経済構造の変革と公共投資の縮小」、「国際化とグローバルスタンダード」など土木界も大きな変革が求められています。土木工学科では、このような変革に対応できる人材、すなわち 21 世紀の社会動向に沿った人間性を重視する高度専門技術者の育成を目指して、次の 4 つの目標を掲げています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 真に市民の立場に立った都市づくりを行える姿勢や能力の育成 2. 科学技術と土木工学の専門知識を基礎とした問題を分析、洞察、解決する力の育成 3. 自然や社会の環境変化に対処する能力と創造力の育成 4. 日本のみならず国際社会での指導力と倫理観に基づく行動力の育成 <p>そして、これらの目標にもとづいて学修・教育到達目標を設定し、それに対応したカリキュラム編成を行い、各科目において学修成果が一定レベルに達した際に単位を付与します。</p> <p>具体的なカリキュラム編成方針と教育方法は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 地球的かつ社会的視野から多面的に物事を考える能力と素養を身につけ、土木技術が社会と自然に対して与える影響、および持続可能な社会を創造するための役割と責任を理解するため、1～2 年次に、土木入門科目群・人文・社会系教養科目・共通工学系教養科目・共通健康科目を学ぶ。 (2) 自然科学などに関する工学基礎知識を習得し、土木工学分野において応用・利活用できる能力を身につけ、土木の専門基礎知識を体系的に習得するため、2 年次を中心として、数理専門基礎科目・情報科目・土木基礎科目群を学ぶ。 (3) 土木工学分野における基礎理論の理解を深め、専門分野における応用力を習得し、自主的な学習の習慣を身につけるため、2～3 年次に、実習・実験・演習科目群を学ぶ。 (4) 土木工学における現実の問題について、工学および専門基礎知識を用いて理解・解決する能力と、社会の要求を解決するための能力を身につけるため、3 年次を中心として、専門応用科目群を学ぶ。 (5) 論理的な技術文章の作成能力、プレゼンテーションやディスカッションなどのコミュニケーション能力を身につけるため、1～3 年次に、英語科目とゼミナールを学ぶ。 (6) 常に技術力の向上を目指し自主的に継続的に学習できる能力と制約条件のもとで計画的に仕事を進めまとめる能力を身につけるため、3～4 年次に、キャリア科目・卒業研究を学ぶ。 <p>なお、社会基盤コースのカリキュラムは 2014 年度より日本技術者教育認定機構 (Japan Accreditation Board for Engineering Education, JABEE) の基準への適合が認定されています。</p> |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|-------|--|
| 情報工学科 | <p>情報工学科では、「コンピュータを利用して人間の社会と生活を豊かにする技術」を体系的に身につけ、創造性豊かにその技術を社会の諸問題に応用でき、国際的な視点をもって社会に貢献できる能力を有する人材を育成することを教育の理念としており、それを実現することを意図したカリキュラムを編成しています。具体的にはソフトウェア、ハードウェア、ヒューマン・コミュニケーション、データベース、ネットワーク等の情報技術の基礎と応用を、講義と演習を通してバランスよく学び、単にプログラムを作る能力を習得するだけでなく技術の根底にある原理を確実に理解し、さらに最先端の研究に触れることによって応用する力、発展させる力、および創造力を養うことができるような教育課程を編成しています。この教育課程では次の7つの目標を掲げています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 数学、自然科学、情報利用技術を問題解決に応用する能力 (2) ソフトウェア、ハードウェア等の情報技術に関する基礎知識とその応用能力 (3) コンピュータを用いたシステムやプログラムを設計・実装し、評価する能力 (4) 情報技術が社会に及ぼす影響や情報技術者としての倫理に関する理解 (5) 種々の文化の理解に基づき社会的・地球的視点から多面的に物事を考える能力 (6) 技術者としてのコミュニケーション能力 (7) 技術的課題に対して主体的に取り組み、継続的に学修する能力 <p>そして、これらの目標を元に設定された各授業において学修・教育目標と到達目標を設定し、学修成果を試験、課題、プレゼンテーション、ルーブリックなどによって評価した結果、一定のレベルに達したと認められた場合に単位を付与します。</p> |

2. システム理工学部

システム理工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、学問体系を横断し関連づけるシステム工学の手法と、専門的知識を深めるための学科専門教育を体系的に学修・研究するための手法により、教育プログラムを実施しています。

この教育プログラムは、総合科目、共通科目、専門科目の講義、演習、実験、実習で構成されています。学部理念の核となる共通科目のシステム工学教育では、学生の主体的・能動的な学修を促すために、プロジェクトを通じた演習と講義の組み合わせにより実践と経験を繰り返して学修していくカリキュラムを編成しています。

カリキュラムは、次の科目群で編成され、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことで学修・教育目標を達成します。

1. 学部総合科目

幅広い教養と他分野・異文化の理解力を修得

1-1 エンジニアリテラシー科目

個々の科学技術を総合して問題解決を行う能力の修得

1-2 社会科学系科目

社会についての科学的認識力の修得

1-3 人文科学系科目

人間の精神活動ならびにその産物としての文化への理解を養う

1-4 保健・体育系科目

健やかな精神・肉体の育成

1-5 外国語科目

異文化コミュニケーション力を養う

2. 学部共通科目

システム理工学部生として共通に有すべき工学基礎力の修得

2-1 基礎科目

理工系人材の基盤となる数学、物理、化学、生物学の修得

2-2 システム・情報科目

社会の問題解決に必要な情報リテラシーとシステム工学理論を修め、グループワークによる解決力を養成

3. 学科専門科目

専門的知識を深める

4. 総合研究

各自が設定したテーマを解明、解決策を導く

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|-------------------|---|
| <p>電子情報システム学科</p> | <p>電子情報システム学科の学科専門教育は、ソフトウェア分野、メディア・ネットワーク分野、そしてハードウェア分野と幅広い分野をカバーしています。当学科は、学位授与方針に掲げる知識・スキル・態度を習得させるため、上記各分野を総合的かつ統合的に学修できる教育プログラムを提供します。特に、ソフトウェア系、メディア・ネットワーク系、ハードウェア系いずれかに基盤をおいた専門性を学生に身に付けさせるとともに、他の2分野についても基礎知識を併せて習得させるカリキュラムを編成しています。カリキュラムは、以下の内容で編成され、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことで学修・教育目標を達成します。</p> <p>(1) ソフトウェア系の科目では、C言語やJavaなどのプログラミング言語、OS、データベースなどの基本的情報技術分野、人工知能基礎や言語理論などの計算機科学分野、ソフトウェア設計・開発技術を学びます。</p> <p>(2) メディア・ネットワークの科目では、画像処理、信号解析、インターネット、無線通信、情報伝送などメディア・ネットワーク系の基礎理論からユビキタス社会のインフラを支える技術を学びます。</p> <p>(3) ハードウェア系の科目では、電気磁気学、電気回路、電子回路、論理回路、半導体、LSI、電子デバイス、システム制御などハードウェアの基礎理論から現在のエレクトロニクス技術を学びます。</p> <p>(4) 「知識の習得から実践へ」を実現するため、講義科目と連携した実験・演習科目を1年次から3年次まで切れ目なく設置することで、単なる知識の習得ではなく、専門知識を実践的に学修します。</p> <p>(5) 1年次から3年次まで、共通科目のシステム工学演習等と切れ目なく連携を図り、専門知識を基にしたシステム思考、システム手法、システムマネジメント、そしてコミュニケーションスキルを養成します。</p> <p>(6) 4年次の総合研究では、当学科の教育プログラムの集大成として位置付けられ、以上のプログラムを通じて培った幅広い基礎的知識と深い専門知識を駆使し、各自が設定したテーマを解明し総合的解決策を導き出す能力を養います。</p> |
| <p>機械制御システム学科</p> | <p>機械制御システム学科では、学位授与方針に掲げる知識と能力を修得させるため、専門科目の講義、演習、実習、実験、製図および卒研で構成される体系的な教育プログラムを実施しています。カリキュラムは次の科目群で編成されており、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより学修・教育目標を達成します。</p> <p>(1) 機械系技術者として身につけておかなければならない基礎的な素養としての専門基礎科目。力学、制御、機械要素、機械設計の4つのカテゴリーに分類されています。材料の加工や機械の組み立てを体験する実習科目、様々な物理量の計測を行い、得られたデータに基づいて対象の特性を解析・評価することを体験する実験科目、部品の強度計算や機械を図面として表現することを体験する設計製図科目など学生が主体的に取り組む科目がここに含まれます。</p> <p>(2) 専門分野を深く追求するための基盤を築く専門領域科目。ロボットや自動車に代表される複雑な機械システムの力学解析を中心としたシステムダイナミクス科目、人・もの・環境を統合した最適設計を志向するシステムデザイン科目、エネルギーおよび環境に配慮した「ものづくり」を考える素地をつくるエネルギー・環境科目の3つのカテゴリーに分類されており、それぞれに高度な専門知識を学びます。</p> <p>(3) 幅広い視野をもち、多様な知識を統合・再構成し、それをもって理工学の諸問題を解決する能力を体験的に修得するための専門総合科目。専門教育の仕上げに位置づけられる総合研究がここに含まれます。また、様々な分野で活躍する技術者の生の声に触れる科目や民間企業等のインターシップへの参加により、単位認定する科目などが開講されており、社会との繋がりも重視しています。</p> |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|----------|--|
| 環境システム学科 | <p>環境システム学科では、単にものをつくるという従来の技術だけでなく、身のまわりの施設から、住宅、街、都市、地域、さらには国土までを「環境」という広い視点からとらえ、システムとして統合的に制御・管理・創造・再生していくことを目標としています。</p> <p>そこで、環境システム学科の専門科目は、建築エリア、都市エリア、環境エリアの3分野が相互に関連し合った構成となっており、これに社会エリアによる総合科目、共通科目を併せて、分野横断型の知識と技術を体系的に学修・研究するためのカリキュラムを編成します。学生が関心あるエリアを中心に履修しつつ、3つのエリアを幅広く履修することもできる、履修の自由度とカリキュラムの専門性を両立させた履修方法を実施します。フィールド調査や課題の把握を重視した演習と講義の組み合わせにより、実践と経験を繰り返して学修していくカリキュラムを編成しています。学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、専門知識と国際感覚を深め、実践的技術を磨き、研究やデザインの能力を向上させる教育を行います。</p> |
| 生命科学科 | <p>生命科学科では学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる能力を修得させるため、生命科学コース、生命医工学コース、国際コース（生命医工学コース付属）の各コース共通および個別の専門科目による体系的な教育課程を実施しています。</p> <p>各コース共通の専門科目では、生命科学の基礎となる、人間の生体と生理、免疫学、薬理学、微生物学、医学、解剖学、再生医療、医用機器、生命倫理などを学修します。また実社会での体験やグローバルな観点での問題解決を目指すインターンシップやグローバル研修を受講することも可能です。卒業最終年度には、それまでに学修した専門的な知識や技術を基に、各自が設定したテーマを解明し、総合的な解決策を導き出す能力を養成する総合研究を実施します。</p> <p>【生命科学コース】</p> <p>バイオテクノロジー、生化学、生物学をベースに遺伝や老化という生物にとって避けられない現象を科学的に解明し、解決することを目指します。そのため、薬理学、医薬品合成化学、食品栄養学、生体高分子工学、細胞生理学、環境生物学などの専門科目が設けられています。また知識を体験により定着し、生命科学に関連する実験の技術を修得するため、生命科学基礎実験、有機化学実験、生命科学実験を実施します。</p> <p>【生命医工学コース】</p> <p>機械工学や電気工学を融合したメカトロニクスによるものづくりをベースに、生命・生体機能を維持・回復させる装置や支援システムの開発を目指します。そのため、材料力学、機械力学、流体力学など機械系、電磁気学、電子回路など電気系、制御工学、メカトロニクスなど制御系、その他生体力学、リハビリテーション工学、人工臓器、福祉支援工学など生体、医療福祉系の幅広い範囲の専門科目が設けられています。また知識を体験により定着し、医療福祉機器の設計、製作、医工学に関連する計測とデータ処理の技術を修得するための、機械設計演習、CAD/CAM 演習、医療福祉設計演習などの演習、医療福祉応用実験などの実験を実施します。</p> <p>以上の授業科目において、学修・教育到達目標と到達目標を設定して、学修成果が一定のレベルに達した際に単位を付与します。</p> |

| 学科名 | 人材の育成および教育研究上の目的 |
|-------|--|
| 数理科学科 | <p>純粋数学の柱である代数学・幾何学・解析学を専門科目に設け、数学全般に関する知識と人類が長年にわたって培ってきた数学的手法の修得を必須とします。</p> <p>また、科学技術や自然現象・社会現象に由来する諸問題への数理科学的アプローチの道具立てとして、応用数値解析、多変量解析、関数方程式論、モデリングとシミュレーション、データ構造とアルゴリズム、計算機代数を中心とする応用数学科目を設置しました。さらに具体的な諸問題への取り組みとして、保険数学、金融工学、数理生物学、制御理論もカリキュラムに取り入れました。</p> <p>このほか基礎数理セミナー、数理科学演習、数理科学セミナーにおいては少人数での教育を行い、数理科学を自主的に考える能力、他人に伝える能力を養います。</p> |

3. デザイン工学部

デザイン工学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、工学と人間の感性および社会との調和・融合を図り、創造的なものづくり能力を素養にもつ、実践的な人材を育成するため、次のように科目を編成しています。幅広い工学の素養や技術を身につけるため、共通教養科目と共通基礎科目を置きます。また、コンセプトが明確になっていない段階からアイデアを生み出し、リーダーシップをもって個々の要求を整理・統合化し、ものづくりができるようになるための専門科目を置きます。これらの科目を講義、演習、実験、実習により体系的に編成します。学生の主体的・能動的な学修・研究を促す教育方法を実施し、その学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、教育目標を達成します。

1. 共通教養科目

人間・社会を理解するための科目から構成。人文系科目を低学年次、社会科学系科目を高学年次に配当。

2. 共通基礎科目

工学の基礎知識を修得するためのサイエンス科目とエンジニアリング科目から構成。低学年次に集中配置。

3. 専門科目

デザイン工学の体系を構成する主要な専門科目を厳選して配置。

4. 総合プロジェクト

卒業研究（論文・製作・制作など）

4. 建築学部

建築学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、これからの時代に建築を「いかにつくるか」だけでなく「何のためにつくるか」を重視します。そのため、建築の専門科目に加えて多様な共通教養科目によってカリキュラムを構成し教育を行います。

専門科目が建築学の専門性を高めるための科目であるのに対し、共通教養科目は自然科学の一般法則の知識とその運用方法、基本的な外国語・コミュニケーション能力、社会・文化に関する教養などを身につけるための科目です。

また、「建築デザイン」、「工学」、「幅広い教養」の融合を実現するため、専門性の高い科目と基礎・教養科目の横断的な学習を促し、各科目間の相乗効果を生むようカリキュラムを設計しています。これらの教育課程編成方針に基づき、以下の科目構成により授業を実施します。

1. 専門科目では建築設計や建築技術に関する幅広い専門知識と倫理観を身につけることを狙いとした科目を配置しています。

2. 共通教養科目では、数学・理科・英語のほか、幅広い分野を持つ人文社会系科目を中心に構成し、年次を通じて履修可能とすることで専門教育との横断的融合を実現します。

3. 講義科目で学んだ知識を演習・実習科目で実践することで理解を深めていくことを基本としますが、実社会や現場の体験から得られる視点やコミュニケーション能力も重視しています。そのため、国内外でのプロジェクト型実習科目も豊富に配置しています。

上記の各授業科目においては知識の伝達のみならず、学生同士や教員との双方向のやり取りを通じて専門知識の深化とコミュニケーション能力の向上を図ります。

なお、建築学部では学生が無理のない学修計画を立てられるよう、年間に履修できる科目数に制限を設けています。

各授業科目に評価方法・評価基準を設定し、学修成果を多面的に評価し、学生の振り返りを促すことにより、建築学部の学修・教育到達目標を達成します。

別表3

授 業 科 目

工学部

全学共通科目群【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| ダイバーシティ入門 | | 2 | | |
| 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| Japanese Language I | | | 2 | |
| Japanese Language II | | | 2 | |
| Japanese Language III | | | 2 | |

授 業 科 目

共通・教養科目群：共通数理科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|----------------------------|-----------------------|-------------------------------|-----------------------------------|-----|-----|---|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | |
| 共 通 数 理 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 第 1 数学サポート（微分積分第1） | 2 | | | ※ | |
| | | 微 分 積 分 第 2 | 2 | | | | |
| | | 微 分 積 分 第 3 | | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 4 | | 2 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 1 | 1 | | | | |
| | | 線 形 代 数 第 2 | 1 | | | | |
| | | 線 形 代 数 第 3 | | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 4 | | 1 | | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 1 | | 1 | | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 2 | | 1 | | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 3 | | 1 | | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 4 | | 1 | | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | | |
| | | 関 数 論 第 1 | | 1 | | | |
| | | 関 数 論 第 2 | | 1 | | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 1 | | 1 | | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 2 | | 1 | | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 第 1 | | 1 | | | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 第 2 | | 1 | | | | |
| | フ ー リ エ 解 析 第 1 | | 1 | | | | |
| | フ ー リ エ 解 析 第 2 | | 1 | | | | |
| | 数 値 計 算 第 1 | | 1 | | | | |
| | 数 値 計 算 第 2 | | 1 | | | | |
| | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 入 門 基 礎 力 学 | 2 | 2 | | |
| | | | 基 礎 力 学 演 習 物理学サポート（物理学入 門） | | 2 | | |
| | | | 物理学サポート（基礎力学） | | | | |
| | | | 基 礎 電 磁 気 学 | | 2 | | |
| | | | 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | 2 | | |
| | | | 基 礎 熱 統 計 力 学 | | 2 | | |
| | | | 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | | | 2 | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | | | 2 | | | |
| 物 理 学 実 験 | | | 2 | | | | |
| 化 学 科 目 | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 S | | | 2 | | |
| | | 基 礎 化 学 A | 2 | | | | |
| | | 基 礎 化 学 B | | | 2 | | |
| | | 基 礎 化 学 C | | | 2 | | |
| | | 基 礎 環 境 化 学 化 学 サ ポ ー ト | | | 2 | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 1 | | 1 | | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 2 | | 1 | | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 1 | | 1 | | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 2 | | 1 | | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 1 | | 1 | | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 2 | | 1 | | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 1 | | 1 | | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 2 | | 1 | | | |
| 化 学 実 験 | | | 2 | | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | | |
|-------------------------|---------|---------|-------------------------|------|------|--------|--|---|--|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | | |
| 言語・情報系科目 | 英語科目 | 英語上達科目Ⅰ | 【Reading & Writing】 | | | | | | |
| | | | Reading & Writing I* | 2 | | | | | |
| | | | Reading & Writing I | | | | | | |
| | | | Reading IA | | 2 | | | | |
| | | | Reading IB | | 2 | | | | |
| | | | Writing IA | | 2 | | | | |
| | | | Writing IB | | 2 | | | | |
| | | | 【Speaking & Listening】 | | | | | | |
| | | | Listening & Speaking I* | 2 | | | | | |
| | | | Listening & Speaking I | | | | | | |
| English Communication I | | 2 | | | | | | | |
| Presentation I | | 2 | | | | | | | |
| 【総 合】 | | | | | | | | | |
| 英語総合IA | | 2 | | | | | | | |
| 英語総合IB | | 2 | | | | | | | |
| 工学英語IA | | 2 | | | | | | | |
| 工学英語IB | | 2 | | | | | | | |
| 【TOEIC演習科目】 | | | | | | | | | |
| TOEIC IA | | 2 | | | | | | | |
| TOEIC IB | | 2 | | | | | | | |
| 英語上達科目Ⅱ | 英語上達科目Ⅱ | 英語上達科目Ⅱ | Reading II A | | 2 | | | | |
| | | | Reading II B | | 2 | | | | |
| | | | Writing II A | | 2 | | | | |
| | | | Writing II B | | 2 | | | | |
| | | | Presentation II | | 2 | | | | |
| | | | Debate II A | | 2 | | | | |
| | | | Debate II B | | 2 | | | | |
| | | | TOEIC II | | 2 | | | | |
| | | | 情報科目 | 情報科目 | 情報科目 | 情報リテラシ | | 1 | |
| | | | | | | 情報処理概論 | | 2 | |
| Java入門 | | 3 | | | | | | | |
| Javaプログラミング | | 3 | | | | | | | |
| C言語入門 | | 3 | | | | | | | |
| C言語プログラミング | | 3 | | | | | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | 文化人類学 | | 2 | | |
| | 言語文化論 | | 2 | | |
| | 日本の文化論 | | 2 | | |
| | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | ジェンダー論 | | 2 | | |
| 歴史学 | 現代史 | | 2 | | |
| 歴史学 | 科学技術史 | | 2 | | |
| 芸術学 | 芸術学 | | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | | |
| | 倫理 | | 2 | | |
| | 生命倫理 | 2 | | | |
| | 技術者の倫理学 | | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 科学技術倫理学 | | 2 | | |
| 文学 | 文学論 | | 2 | | |
| | 文学表現法 | | 2 | | |
| 心理学 | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| 地理学 | 経済地理学 | | 2 | | |
| | 社会地理学 | | 2 | | |
| | 地域産業論 | | 2 | | |
| | 地域の調査と分析 | | 2 | | |
| 政策学 | 現代日本の地方自治 | | 2 | | |
| 法学 | 法学入門 | | 2 | | |
| | 知的財産法 | | 2 | | |
| | 日本国憲法 | | 2 | | |
| | 民法 | | 2 | | |
| 経済学 | マクロ経済学 | | 2 | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | |
| | 経済学入門 | | 2 | | |
| | 応用経済学 | | 2 | | |
| 社会学 | 社会学 | | 2 | | |
| | 地域社会学 | | 2 | | |
| 経営学 | 企業システム論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 情報技術と現代社会 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | |
| | 情報時代の地域・都市 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|---------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | | |
| | レポートライティング | | 2 | | |
| | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | | |
| 社会と産 業技術 | 福 祉 と 技 術 | | 2 | | |
| | 科学技術の社会学 | | 2 | | |
| 健康の 心身 | メンタルヘルス・マネジメント | | 2 | | |
| 教育 | 教 育 の 近 現 代 史 | | 2 | | |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | |
| | 生 徒 文 化 論 | | 2 | | |
| | 人 間 関 係 論 | | 2 | | |
| 現代の 本と世界 | クローバーリセッション論 | | 2 | | |
| | 現代日本の社会 | | 2 | | |
| 環 境 | 環 境 学 入 門 | | 2 | | |
| | 人 間 社 会 と 環 境 問 題 | | 2 | | |
| | 環 境 経 済 学 | | 2 | | |
| | 生 物 と 環 境 の 保 全 | | 2 | | |
| | 生 産 と 消 費 の 環 境 論 | | 2 | | |
| | 地 域 環 境 マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | | |
| | 地 域 と 環 境 | | 2 | | |
| 総 合 | 人 文 社 会 演 習 1 | | 1 | | |
| | 人 文 社 会 演 習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【機械工学科】

| 授業科目名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---|---|-----------------------------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 理 論 | 健 康 科 学 論 A | | 2 | | |
| | 健 康 科 学 論 B | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 社 会 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 健 康 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 生 理 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 心 理 学 | | 2 | | |
| | エ ク サ サ イ ズ 演 習 (基 礎) | | 2 | | |
| | エ ク サ サ イ ズ 演 習 (応 用) | | 2 | | |
| | 体 格 ・ 体 力 と 健 康 (演 習) | | 2 | | |
| | ヘ ル ス コ ン デ ィ シ ョ ニ ン グ 演 習 | | 2 | | |
| | 身 体 運 動 の バ イ オ メ カ ニ ク ス | | 2 | | |
| | ヘ ル ス リ テ ラ シ ー & ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン | | 2 | | |
| | 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン ス キ ル | ウ エ ル ネ ス ・ ス ポ ー ツ (テ ク ニ カ ル) | | 1 | |
| ウ エ ル ネ ス ・ ス ポ ー ツ (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| フ ィ ッ ト ネ ス A | | | 1 | | |
| フ ィ ッ ト ネ ス B | | | 1 | | |
| フ ラ イ ン グ デ ィ ス ク (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| フ ラ イ ン グ デ ィ ス ク (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| テ ニ ス (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| テ ニ ス (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| バ ド ミ ン ト ン (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| バ ド ミ ン ト ン (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| ス キ ー (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| ス キ ー (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| 軟 式 野 球 (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| 軟 式 野 球 (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| ソ フ ト ボ ー ル (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| ソ フ ト ボ ー ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| サ ッ カ ー (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| サ ッ カ ー (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| フ ッ ト サ ル (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| フ ッ ト サ ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| 卓 球 (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| 卓 球 (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| バ ス ケ ッ ト ボ ー ル (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| バ ス ケ ッ ト ボ ー ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| バ レ ー ボ ー ル (テ ク ニ カ ル) | | | 1 | | |
| バ レ ー ボ ー ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | | 1 | | |
| フ ラ ッ グ フ ッ ト ボ ー ル (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | | |
| フ ラ ッ グ フ ッ ト ボ ー ル (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | | |
| ゴ ル フ (テ ク ニ カ ル) | | 1 | | | |
| ゴ ル フ (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン) | | 1 | | | |
| ゴ ル フ (ス ポ ー ツ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ア ド バ ン ス) | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 視 覚 と 照 明 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | 2 | | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 産学・地域連携プロジェクト | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 1 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 2 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 3 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 4 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 1 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 2 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 3 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 4 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL1 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL2 | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定」(2単位)、「工学英語研修1」(1単位)、「工学英語研修2」(1単位)、「工学英語研修3」(1単位)、「工学英語研修4」(1単位)、「海外語学演習1」(2単位)、「海外語学演習2」(2単位)、「海外語学演習3」(2単位)、「海外語学演習4」(2単位)は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【機械工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-----------|-------|----|-----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自 由 | |
| △ | 力学の基礎 | | 2 | | |
| △ | 力学の基礎 | | 2 | | |
| △ | 材料力学 | 2 | | | |
| △ | 材料力学 | | 2 | | |
| △ | 機械力学 | 2 | | | |
| △ | 振動工学 | | 2 | | |
| △ | 機械運動 | | 2 | | |
| △ | 機械要素 | | 2 | | |
| △ | 機械要素設計 | | 2 | | |
| △ | 設計工学 | | 2 | | |
| △ | 機械材料 | | 2 | | |
| △ | 機械材料 | | 2 | | |
| △ | 先端材料工学 | | 2 | | |
| △ | 流れ力学 | 2 | | | |
| △ | 流れ力学 | | 2 | | |
| △ | 流体力学 | | 2 | | |
| △ | 流体力学 | | 2 | | |
| △ | 熱力学 | 2 | | | |
| △ | 熱力学 | | 2 | | |
| △ | エンジンシステム | | 2 | | |
| △ | 伝熱工学 | | 2 | | |
| △ | 環境・エネルギー | | 2 | | |
| △ | 機械加工 | | 2 | | |
| △ | 加工工学 | | 2 | | |
| △ | 計測工学 | | 2 | | |
| △ | 熱制御工学 | | 2 | | |
| △ | 制御工学 | | 2 | | |
| △ | 機械設計 | 2 | | | |
| △ | 機械設計 | 2 | | | |
| △ | 機械設計 | | 2 | | |
| △ | 機械工学実験 | 2 | | | |
| △ | 応用機械工学実験 | 2 | | | |
| △ | 機械ゼミナール | | 2 | | |
| △ | 機械ゼミナール | | 2 | | |
| △ | 電気工学 | | 2 | | |
| △ | 電気工学 | | 2 | | |
| ○ | 基礎用解析 | | 2 | | |
| ○ | 応用解析 | | 2 | | |
| ○ | 計算力学 | | 2 | | |
| △ | エネルギー変換工学 | | 2 | | |
| ○ | 解機工学の基礎 | | 2 | | |
| ○ | 図学 | | 2 | | |
| △ | プログラミング言語 | | 2 | | |
| △ | 材料強度 | | 2 | | |
| △ | 航空宇宙工学 | | 2 | | |
| △ | 技術者倫理 | | 2 | | |
| ○ | 確率統計 | | 2 | | |
| △ | メカトロニクス | | 2 | | |
| △ | プログラミング演習 | | 2 | | |
| △ | 低温工学 | | 2 | | |
| △ | 機械分子工学 | | 2 | | |
| △ | 固体力学 | | 2 | | |
| △ | エネルギーと動力 | | 2 | | |
| △ | 機械の工学 | | 2 | | |
| △ | 機械の工学 | | 2 | | |
| △ | 卒業研究 | 2 | | | |
| △ | 卒業研究 | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【機械工学科】

| | 授 業 科 目 名 | | | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|------------------|-----------|---|---|---|-------|----|-----|-----|--|---|
| | | | | | 必修 | 選択 | 自 由 | | | |
| 専 門 科 目 | △ | 職 | 業 | 指 | 導 | | | 2 | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 | |
| | ○ | 代 | 数 | 学 | A | | | 2 | | |
| | ○ | 代 | 数 | 学 | B | | | 2 | | |
| | ○ | 代 | 数 | 学 | 特 | 論 | | | | 2 |
| | ○ | 幾 | 何 | 学 | A | | | 2 | | |
| | ○ | 幾 | 何 | 学 | B | | | 2 | | |
| | ○ | 幾 | 何 | 学 | 特 | 論 | | | | 2 |
| | ○ | 解 | 析 | 学 | A | | | 2 | | |
| | ○ | 解 | 析 | 学 | B | | | 2 | | |
| | ○ | 確 | 率 | 統 | 論 | | | 2 | | |
| ○ | 数 | 理 | 統 | 計 | 学 | | | 2 | | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

別表3

授 業 科 目

工学部

全学共通科目群【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| ダイバーシティ入門 | | 2 | | |
| 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| Japanese Language I | | | 2 | |
| Japanese Language II | | | 2 | |
| Japanese Language III | | | 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|----------------------------|------------------|-------------------------------|-----------|-----|-----|---|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 共 通 数 理 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 第 1 数学サポート(微分積分第1) | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 2 | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 3 | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 4 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 第 1 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 2 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 3 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 4 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 1 | 1 | | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 2 | 1 | | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 3 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 4 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 1 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 2 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 1 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 2 | | 1 | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 第 1 | | 1 | | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 第 2 | | 1 | | | |
| | フ ー リ エ 解 析 第 1 | | 1 | | | |
| | フ ー リ エ 解 析 第 2 | | 1 | | | |
| | 数 値 計 算 第 1 | | 1 | | | |
| | 数 値 計 算 第 2 | | 1 | | | |
| | 物 理 科 目 | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 入 門 | | 2 | ※ |
| | | | 基 礎 力 学 | 2 | | |
| 基 礎 力 学 演 習 | | | 2 | | | |
| 物 理 学 サ ポ ー ト (物 理 学 入 門) | | | | | | |
| 物 理 学 サ ポ ー ト (基 礎 力 学) | | | | | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | | |
| 物 理 学 実 験 | 2 | | | | | |
| 化 学 科 目 | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 S | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 A | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 B | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 C | 2 | | | |
| | | 基 礎 環 境 化 学 | | | 2 | |
| | | 化 学 サ ポ ー ト | | | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 2 | | 1 | | |
| 化 学 実 験 | | | 2 | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-----------------|-------------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 言語・情報系科目 | 英語上達科目 I | 【Reading & Writing】 | 2 | | | |
| | | Reading & Writing I* | | | | |
| | | Reading & Writing I | | | | |
| | | Reading IA | | 2 | | |
| | | Reading IB | | 2 | | |
| | | Writing IA | | 2 | | |
| | | Writing IB | 2 | | | |
| | | 【Speaking & Listening】 | 2 | | | |
| | | Listening & Speaking I* | | | | |
| | | Listening & Speaking I | | | | |
| | | English Communication I | | 2 | | |
| | | Presentation I | 2 | | | |
| | 【総 合】 | | | | | |
| | 英語総合IA | | 2 | | | |
| | 英語総合IB | | 2 | | | |
| | 工学英語IA | | 2 | | | |
| | 工学英語IB | | 2 | | | |
| | 【TOEIC演習科目】 | | | | | |
| TOEIC IA | | 2 | | | | |
| TOEIC IB | | 2 | | | | |
| 英語上達科目 II | Reading II A | | 2 | | | |
| | Reading II B | | 2 | | | |
| | Writing II A | | 2 | | | |
| | Writing II B | | 2 | | | |
| | Presentation II | | 2 | | | |
| | Debate II A | | 2 | | | |
| | Debate II B | | 2 | | | |
| | TOEIC II | | 2 | | | |
| 情報科目 | 情報リテラシ | 1 | | | | |
| | 情報処理概論 | | 2 | | | |
| | Java入門 | | 3 | | | |
| | Javaプログラミング | | 3 | | | |
| | C言語入門 | | 3 | | | |
| | C言語プログラミング | | 3 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | 文化人類学 | | 2 | | |
| | 言語文化論 | | 2 | | |
| | 日本の文化論 | | 2 | | |
| | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | ジェンダー論 | | 2 | | |
| 歴史学 | 現代史 | | 2 | | |
| 歴史学 | 科学技術史 | | 2 | | |
| 芸術学 | 芸術学 | | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | | |
| | 倫理 | | 2 | | |
| | 生命倫理 | 2 | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 技術者の倫理 | | 2 | | |
| | 科学技術倫理 | | 2 | | |
| 文学 | 文学論 | | 2 | | |
| | 文学表現法 | | 2 | | |
| 心理学 | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| 地理学 | 経済地理学 | | 2 | | |
| | 社会地理学 | | 2 | | |
| | 地域産業論 | | 2 | | |
| | 地域の調査と分析 | | 2 | | |
| 政策学 | 現代日本の地方自治 | | 2 | | |
| 法学 | 法学入門 | | 2 | | |
| | 知的財産法 | | 2 | | |
| | 日本国憲法 | | 2 | | |
| | 民法 | | 2 | | |
| 経済学 | マクロ経済学 | | 2 | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | |
| | 経済学入門 | | 2 | | |
| | 応用経済学 | | 2 | | |
| 社会学 | 社会学 | | 2 | | |
| | 地域社会学 | | 2 | | |
| 経営学 | 企業システム論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 情報技術と現代社会 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | |
| | 情報時代の地域・都市 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|------------------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | 2 | 2 | | |
| | レポートライティング 自己表現とコミュニケーション | | 2 | | |
| 社会と産 業技術 | 福 祉 と 技 術 | | 2 | | |
| | 科 学 技 術 の 社 会 学 | | 2 | | |
| 健康 の 心身 | メンタルヘルス・マネジメント | | 2 | | |
| 教育 | 教 育 の 近 現 代 史 | | 2 | | |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | |
| | 生 徒 文 化 論 | | 2 | | |
| | 人 間 関 係 論 | | 2 | | |
| 本 と 世 界 の 日 | クローバーリセッション論 | | 2 | | |
| | 現 代 日 本 の 社 会 | | 2 | | |
| 環 境 | 環 境 学 入 門 | | 2 | | |
| | 人 間 社 会 と 環 境 問 題 | | 2 | | |
| | 環 境 経 済 学 | | 2 | | |
| | 生 物 と 環 境 の 保 全 | | 2 | | |
| | 生 産 と 消 費 の 環 境 論 | | 2 | | |
| | 地 域 環 境 マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | | |
| | 地 域 と 環 境 | | 2 | | |
| 総 合 | 人 文 社 会 演 習 1 | | 1 | | |
| | 人 文 社 会 演 習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【機械機能工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---------------------------|---|-------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 2 | | |
| | 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | |
| ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス A | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス B | | | 1 | | |
| フライングディスク（テクニカル） | | | 1 | | |
| フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| テニス（テクニカル） | | | 1 | | |
| テニス（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バドミントン（テクニカル） | | | 1 | | |
| バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| スキー（テクニカル） | | | 1 | | |
| スキー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 軟式野球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ソフトボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| サッカー（テクニカル） | | | 1 | | |
| サッカー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フットサル（テクニカル） | | | 1 | | |
| フットサル（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 卓球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 卓球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バスケットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バレーボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーションアドバンス） | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 視 覚 と 照 明 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 産学・地域連携プロジェクト | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 1 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 2 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 3 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 4 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 1 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 2 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 3 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 4 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL1 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL2 | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定」(2単位)、「工学英語研修1」(1単位)、「工学英語研修2」(1単位)、「工学英語研修3」(1単位)、「工学英語研修4」(1単位)、「海外語学演習1」(2単位)、「海外語学演習2」(2単位)、「海外語学演習3」(2単位)、「海外語学演習4」(2単位)は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------------------|------------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △機械の力学 | 1 | 2 | | |
| | △設計の基礎 | | 2 | | |
| | △機械機能工学入門 | 2 | | | |
| | △材料力学 | 1 | 2 | | |
| | △マテリアル・サイエンス | | 2 | | |
| | △機械要素 | | 2 | | |
| | △機械設計 | 1 | 2 | | |
| | △機械の力学 | 2 | 2 | | |
| | △材料力学 | 2 | | 2 | |
| | △設計工学 | | | 2 | |
| | △加工 | | | 2 | |
| | △流れの力学 | 1 | 2 | | |
| | △機械の力学 | 3 | | 2 | |
| | ○機械のC言語 | | | 2 | |
| | △機械設計 | 2 | 1 | | A |
| | △機械機能工学実験 | 1 | 1 | | |
| | △塑性と加工 | | | 2 | |
| | △熱力学 | 1 | 2 | | |
| | △計測工学 | | | 2 | |
| | △流れの力学 | 2 | | 2 | |
| | △機械設計 | 2 | 1 | | B |
| | △機械機能工学実験 | 2 | 1 | | |
| | △生産管理工学 | | | 2 | |
| | △環境調和型エネルギー工学 | | | 2 | |
| | △制御工学 | 1 | | 2 | |
| | ○数値解析および演習 | 1 | | 2 | |
| | ○数値解析および演習 | 2 | | 2 | |
| | △システム工学 | | | 2 | |
| | △熱力学 | 2 | | 2 | |
| | △基礎伝熱 | | | 2 | |
| | △電子工学 | | | 2 | |
| | △振動工学 | | | 2 | |
| | △材料強度 | | | 2 | |
| | △機械機能解析学 | 1 | 2 | | |
| | △機械機能解析学 | 2 | 2 | | |
| | △応用機械機能工学実験 | A | 1 | | |
| | △CAD / CAM / CAE | | | 2 | |
| | △機械創成設計演習 | 1 | 2 | | |
| | △エネルギー / 環境概論 | | | 2 | |
| | ○数値熱流体解析 | | | 2 | |
| △生産加工システム | | | 2 | | |
| ○メカトロニクス | | | 2 | | |
| △創成ゼミナール | 1 | 1 | | | |
| △創成ゼミナール | 2 | 1 | | | |
| △機械構造学 | | | 2 | | |
| △機能材料学 | | | 2 | | |
| ○応用解析学 | | | 2 | | |
| △制御工学 | | | 2 | | |
| △電気工学 | | | 2 | | |
| △マシンシステム | | | 2 | | |
| △燃焼工学 | | | 2 | | |
| △ソフトマテリアル工学 | | | 2 | | |
| △生体力学 | | | 2 | | |
| △応用機械機能工学実験 | B | 1 | | | |
| △機械創成設計演習 | 2 | 1 | | | |
| △機械創成設計演習 | 3 | 1 | | | |
| △流体力学 | | | 2 | | |
| △自動車工学 | | | 2 | | |
| △Mechanics of Materials Exercises | | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【機械機能工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-------|----|----|--|
| | 必修 | 選択 | 自由 | |
| △ 冷 凍 ・ 空 調 工 学 | | 2 | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| △ ロ ボ テ イ ク ス | | 2 | | |
| 卒 業 研 究 1 | 2 | | | |
| 卒 業 研 究 2 | 2 | | | |
| △ 職 業 業 業 指 導 | | | 2 | |
| ○ 代 数 数 学 特 論 A | | | 2 | |
| ○ 代 数 数 学 特 論 B | | | 2 | |
| ○ 幾 何 学 特 論 A | | | 2 | |
| ○ 幾 何 学 特 論 B | | | 2 | |
| ○ 幾 何 学 特 論 A | | | 2 | |
| ○ 解 析 学 特 論 B | | | 2 | |
| ○ 確 率 統 計 学 | | | 2 | |
| ○ 数 理 統 計 | | | 2 | |
| 専 門 科 目 | | | | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

別表3

授 業 科 目

工学部

全学共通科目群【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| ダイバーシティ入門 | | | 2 | |
| 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| Japanese Language I | | | 2 | |
| Japanese Language II | | | 2 | |
| Japanese Language III | | | 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|-----------------------|-------------------------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 共 通 数 理 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 第 1 数学サポート(微分積分第1) | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 第 2 | | 2 | |
| | | 微 分 積 分 第 3 | | 2 | |
| | | 微 分 積 分 第 4 | | 2 | |
| | | 線 形 代 数 第 1 | 1 | | |
| | | 線 形 代 数 第 2 | | 1 | |
| | | 線 形 代 数 第 3 | | 1 | |
| | | 線 形 代 数 第 4 | | 1 | |
| | | 確 率 と 統 計 第 1 | | 1 | |
| | | 確 率 と 統 計 第 2 | | 1 | |
| | | 確 率 と 統 計 第 3 | | 1 | |
| | | 確 率 と 統 計 第 4 | | 1 | |
| | | 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | |
| | | 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | |
| | | 関 数 論 第 1 | | 1 | |
| | | 関 数 論 第 2 | | 1 | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 1 | | 1 | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 2 | | 1 | |
| ラ プ ラ ス 変 換 第 1 | | 1 | | | |
| ラ プ ラ ス 変 換 第 2 | | 1 | | | |
| フ ー リ エ 解 析 第 1 | | 1 | | | |
| フ ー リ エ 解 析 第 2 | | 1 | | | |
| 数 値 計 算 第 1 | | 1 | | | |
| 数 値 計 算 第 2 | | 1 | | | |
| 物 理 学 科 目 | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 入 門 | 2 | | ※ |
| | | 基 礎 力 学 | | 2 | |
| | | 基 礎 力 学 演 習 | | 2 | |
| | | 物 理 学 サ ポ ー ト (物 理 学 入 門) | | | |
| | | 物 理 学 サ ポ ー ト (基 礎 力 学) | | | |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 | | 2 | |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | 2 | |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 | | 2 | |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | 2 | |
| | | 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | |
| 化 学 科 目 | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 S | 2 | | 2 |
| | | 基 礎 化 学 A | | | |
| | | 基 礎 化 学 B | | | 2 |
| | | 基 礎 化 学 C | | | 2 |
| | | 基 礎 環 境 化 学 | | | |
| | | 化 学 サ ポ ー ト | | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 1 | | 1 | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 2 | | 1 | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 1 | | 1 | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 2 | | 1 | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 1 | | 1 | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 2 | | 1 | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 1 | | 1 | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 2 | | 1 | |
| 化 学 実 験 | | 2 | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-----------------|-------------------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 言語・情報系科目 | 英語上達科目 I | 【Reading & Writing】 | | | |
| | | Reading & Writing I* | 2 | | |
| | | Reading & Writing I | | | |
| | | Reading IA | | 2 | |
| | | Reading IB | | 2 | |
| | | Writing IA | | 2 | |
| | | Writing IB | | 2 | |
| | | 【Speaking & Listening】 | | | |
| | | Listening & Speaking I* | 2 | | |
| | | Listening & Speaking I | | | |
| | | English Communication I | | 2 | |
| | | Presentation I | | 2 | |
| | 【総 合】 | | | | |
| | 英語総合IA | | 2 | | |
| | 英語総合IB | | 2 | | |
| | 工学英語IA | | 2 | | |
| | 工学英語IB | | 2 | | |
| | 【TOEIC演習科目】 | | | | |
| TOEIC IA | | 2 | | | |
| TOEIC IB | | 2 | | | |
| 英語上達科目 II | Reading II A | | 2 | | |
| | Reading II B | | 2 | | |
| | Writing II A | | 2 | | |
| | Writing II B | | 2 | | |
| | Presentation II | | 2 | | |
| | Debate II A | | 2 | | |
| | Debate II B | | 2 | | |
| | TOEIC II | | 2 | | |
| 情報科目 | 情報リテラシ | | 1 | | |
| | 情報処理概論 | | 2 | | |
| | Java入門 | | 3 | | |
| | Javaプログラミング | | 3 | | |
| | C言語入門 | | 3 | | |
| | C言語プログラミング | | 3 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | 文化人類学 | | 2 | | |
| | 言語文化論 | | 2 | | |
| | 日本の文化論 | | 2 | | |
| | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | ジェンダー論 | | 2 | | |
| 歴史学 | 現代史 | | 2 | | |
| 歴史学 | 科学技術史 | | 2 | | |
| 芸術学 | 芸術学 | | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | | |
| | 倫理 | | 2 | | |
| | 生命倫理 | | 2 | | |
| | 技術者の倫理 | | 2 | | |
| 科学技術倫理 | | 2 | | | |
| 文学 | 文学論 | | 2 | | |
| | 文学表現法 | | 2 | | |
| 心理学 | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| 地理学 | 経済地理学 | | 2 | | |
| | 社会地理学 | | 2 | | |
| | 地域産業論 | | 2 | | |
| | 地域の調査と分析 | | 2 | | |
| 政策学 | 現代日本の地方自治 | | 2 | | |
| 法学 | 法学入門 | | 2 | | |
| | 知的財産法 | | 2 | | |
| | 日本国憲法 | | 2 | | |
| | 民法 | | 2 | | |
| 経済学 | マクロ経済学 | | 2 | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | |
| | 経済学入門 | | 2 | | |
| | 応用経済学 | | 2 | | |
| 社会学 | 社会学 | | 2 | | |
| | 地域社会学 | | 2 | | |
| 経営学 | 企業システム論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 情報技術と現代社会 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | |
| | 情報時代の地域・都市 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---------------------------------|---------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | | |
| | レポートライティング | | 2 | | |
| | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | | |
| 社会と産 業技術 | 福 祉 と 技 術 | | 2 | | |
| | 科 学 技 術 の 社 会 学 | | 2 | | |
| 健康 の 心身 | メンタルヘルス・マネジメント | | 2 | | |
| 教育 | 教 育 の 近 現 代 史 | | 2 | | |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | |
| | 生 徒 文 化 論 | | 2 | | |
| | 人 間 関 係 論 | | 2 | | |
| 本 と 世 界 の 日 現 | クローバーリセッション論 | | 2 | | |
| | 現 代 日 本 の 社 会 | | 2 | | |
| 環 境 | 環 境 学 入 門 | | 2 | | |
| | 人 間 社 会 と 環 境 問 題 | | 2 | | |
| | 環 境 経 済 学 | | 2 | | |
| | 生 物 と 環 境 の 保 全 | | 2 | | |
| | 生 産 と 消 費 の 環 境 論 | | 2 | | |
| | 地 域 環 境 マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | | |
| | 地 域 と 環 境 | | 2 | | |
| 総 合 | 人 文 社 会 演 習 1 | | 1 | | |
| | 人 文 社 会 演 習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【材料工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---------------------------|---|-------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 2 | | |
| | 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | |
| ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス A | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス B | | | 1 | | |
| フライングディスク（テクニカル） | | | 1 | | |
| フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| テニス（テクニカル） | | | 1 | | |
| テニス（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バドミントン（テクニカル） | | | 1 | | |
| バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| スキー（テクニカル） | | | 1 | | |
| スキー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 軟式野球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ソフトボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| サッカー（テクニカル） | | | 1 | | |
| サッカー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フットサル（テクニカル） | | | 1 | | |
| フットサル（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 卓球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 卓球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バスケットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バレーボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーションアドバンス） | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 視 覚 と 照 明 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 産学・地域連携プロジェクト | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 1 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 2 | | | 2 | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 3 | | | 2 | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 4 | | | 2 | |
| グ ロ ー バ ル PBL 1 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 2 | | | 2 | |
| グ ロ ー バ ル PBL 3 | | | 2 | |
| グ ロ ー バ ル PBL 4 | | | 2 | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL1 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL2 | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定」（2単位）、「工学英語研修1」（1単位）、「海外語学演習1」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|--------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| △ | 材料の化学 | 1 | A | 1 | |
| △ | 材料の化学 | 1 | B | 1 | |
| △ | 材料力学 | | A | 1 | |
| △ | 材料力学 | | B | 1 | |
| ○ | 材料熱力学 | 1 | A | 1 | |
| △ | 材料熱力学 | 1 | B | 1 | |
| | 材料工学入門 | | A | 1 | |
| | 材料工学入門 | | B | 1 | |
| | 材料組織学 | 1 | A | | |
| | 材料組織学 | 1 | B | | |
| △ | 材料熱力学 | 2 | A | 1 | |
| △ | 材料熱力学 | 2 | B | 1 | |
| | 材料工学通論 | | A | 1 | |
| | 材料工学通論 | | B | 1 | |
| ○ | 材料統計力学 | | A | 1 | |
| ○ | 材料統計力学 | | B | 1 | |
| | 基礎弾塑性論 | | A | 1 | |
| | 基礎弾塑性論 | | B | 1 | |
| | 材料化学演習 | 1 | A | 1 | |
| | 材料化学演習 | 1 | B | 1 | |
| | 材料化学演習 | 2 | A | 1 | |
| | 材料化学演習 | 2 | B | 1 | |
| | 材料の化学 | 2 | A | 1 | |
| | 材料の化学 | 2 | B | 1 | |
| △ | セラミックス | 2 | | | |
| | 材料電磁気学 | 2 | | | |
| △ | 反応速度論 | 2 | | | |
| △ | 材料科学 | 2 | | | |
| △ | 図学と設計製図及び演習 | | | 3 | |
| △ | 材料熱力学および演習 | | | 2 | |
| △ | 固体物理解学 | | | 2 | |
| △ | 基礎結晶構造学 | | | 2 | |
| △ | 機械設計・製図および演習 | | | 3 | |
| △ | 基礎有機材料科学 | 2 | | | |
| △ | 製鉄工業学 | | | 2 | |
| △ | 有機材料化学 | | | 2 | |
| △ | 材料破壊力学 | | | 2 | |
| △ | 相転移論 | | | 2 | |
| △ | 構造材料工学 | | | 2 | |
| △ | 半導体材料工学 | | | 2 | |
| △ | 金属材料基礎実験 | 1 | | | |
| △ | 金属材料基礎実験 | 2 | | | |
| △ | 金属材料電気化学 | | | 2 | |
| △ | ゼミナール | 2 | | | |
| △ | 複合材料 | | | 2 | |
| △ | 応用有機材料論 | | | 2 | |
| △ | 固体物性論 | | | 2 | |
| △ | 鋼鉄材料製造法論 | | | 2 | |
| △ | 量子物性論 | | | 2 | |
| △ | 食・防食材料学 | | | 2 | |
| △ | 非鉄金属材料学 | | | 2 | |
| △ | 粉体成形学 | | | 2 | |
| △ | 材料強度学 | | | 2 | |
| △ | 材料工学実験 | 1 | | | |
| △ | 材料工学実験 | 2 | | | |
| △ | 材料工学実験 | 2 | | | |
| △ | ゼミナール | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【材料工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-------|----|----|--|
| | 必修 | 選択 | 自由 | |
| △原子力材料工学 | | 2 | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| △機能材料 | | 2 | | |
| △表面の物理化学 | | 2 | | |
| △凝固工学 | | 2 | | |
| 材料科学 2 | | 2 | | |
| 材料電磁気学 | 2 | | | |
| 弾塑性論 | | 2 | | |
| 応用結晶構造学 | | 2 | | |
| 生体材料工学 | | 2 | | |
| 卒業研究 1 | 2 | | | |
| 卒業研究 2 | 2 | | | |
| △職業指導 | | | 2 | |
| ○代数学 A | | | 2 | |
| ○代数学 B | | | 2 | |
| ○代数学特論 A | | | 2 | |
| ○幾何学 A | | | 2 | |
| ○幾何学 B | | | 2 | |
| ○幾何学特論 A | | | 2 | |
| ○解析学 A | | | 2 | |
| ○解析学 B | | | 2 | |
| ○確率論 | | | 2 | |
| ○数理統計学 | | | 2 | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

別表3

授 業 科 目

工学部

全学共通科目群【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| ダイバーシティ入門 | | 2 | | |
| 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| Japanese Language I | | | 2 | |
| Japanese Language II | | | 2 | |
| Japanese Language III | | | 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|----------------------------|-----------------------|-------------------------------|-----|-----|-----|--------|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 共 通 数 理 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 第 1 数学サポート（微分積分第1） | | 2 | | ※ |
| | | 微 分 積 分 第 2 | | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 第 3 | | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 第 4 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 第 1 | | 1 | | |
| | | 線 形 代 数 第 2 | | 1 | | |
| | | 線 形 代 数 第 3 | | 1 | | |
| | | 線 形 代 数 第 4 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 1 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 2 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 3 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 4 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 1 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 2 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 1 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 2 | | 1 | | |
| ラ プ ラ ス 変 換 第 1 | | 1 | | | | |
| ラ プ ラ ス 変 換 第 2 | | 1 | | | | |
| フ ー リ エ 解 析 第 1 | | 1 | | | | |
| フ ー リ エ 解 析 第 2 | | 1 | | | | |
| 数 値 計 算 第 1 | | 1 | | | | |
| 数 値 計 算 第 2 | | 1 | | | | |
| 理 科 目 | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 入 門 | | 2 | | ※ ※ |
| | | 基 礎 力 学 | | 2 | | |
| | | 基 礎 力 学 演 習 | | 2 | | |
| | | 物 理 学 サ ポ ー ト (物 理 学 入 門) | | | | |
| | | 物 理 学 サ ポ ー ト (基 礎 力 学) | | | | |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 | | 2 | | |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | 2 | | |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 | | 2 | | |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | 2 | | |
| | | 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | | |
| | | 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | | |
| 化 学 科 目 | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 S | 2 | | | |
| | | 基 礎 化 学 A | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 B | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 C | | | 2 | |
| | | 基 礎 環 境 化 学 | | | 2 | |
| | | 化 学 サ ポ ー ト | | | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 1 | | | 1 | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 2 | | | 1 | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 1 | | | 1 | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 2 | | | 1 | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 1 | | | 1 | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 2 | | | 1 | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 1 | | | 1 | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 2 | | | 1 | |
| | | 化 学 実 験 | 2 | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-----------------|-------------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 言語・情報系科目 | 英語上達科目 I | 【Reading & Writing】 | | | | |
| | | Reading & Writing I* | 2 | | | |
| | | Reading & Writing I | | | | |
| | | Reading IA | | 2 | | |
| | | Reading IB | | 2 | | |
| | | Writing IA | | 2 | | |
| | | Writing IB | | 2 | | |
| | | 【Speaking & Listening】 | | | | |
| | | Listening & Speaking I* | 2 | | | |
| | | Listening & Speaking I | | | | |
| | | English Communication I | | 2 | | |
| | | Presentation I | | 2 | | |
| | 【総 合】 | | | | | |
| | 英語総合IA | | 2 | | | |
| | 英語総合IB | | 2 | | | |
| | 工学英語IA | | 2 | | | |
| | 工学英語IB | | 2 | | | |
| | 【TOEIC演習科目】 | | | | | |
| TOEIC IA | | 2 | | | | |
| TOEIC IB | | 2 | | | | |
| 英語上達科目 II | Reading II A | | 2 | | | |
| | Reading II B | | 2 | | | |
| | Writing II A | | 2 | | | |
| | Writing II B | | 2 | | | |
| | Presentation II | | 2 | | | |
| | Debate II A | | 2 | | | |
| | Debate II B | | 2 | | | |
| | TOEIC II | | 2 | | | |
| 情報科目 | 情報リテラシ | | 1 | | | |
| | 情報処理概論 | | 2 | | | |
| | Java入門 | | 3 | | | |
| | Javaプログラミング | | 3 | | | |
| | C言語入門 | | 3 | | | |
| | C言語プログラミング | | 3 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | 文化人類学 | | 2 | | |
| | 言語文化論 | | 2 | | |
| | 日本の文化論 | | 2 | | |
| | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | ジェンダー論 | | 2 | | |
| 歴史学 | 現代史 | | 2 | | |
| 歴史学 | 科学技術史 | | 2 | | |
| 芸術学 | 芸術学 | | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | | |
| | 倫理 | | 2 | | |
| | 生命倫理 | 2 | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 技術者の倫理学 | 2 | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 科学技術倫理学 | 2 | 2 | | |
| 文学 | 文学論 | | 2 | | |
| | 文学表現法 | | 2 | | |
| 心理学 | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| 地理学 | 経済地理学 | | 2 | | |
| | 社会地理学 | | 2 | | |
| | 地域産業論 | | 2 | | |
| | 地域の調査と分析 | | 2 | | |
| 政策学 | 現代日本の地方自治 | | 2 | | |
| 法学 | 法学入門 | | 2 | | |
| | 知的財産法 | | 2 | | |
| | 日本国憲法 | | 2 | | |
| | 民法 | | 2 | | |
| 経済学 | マクロ経済学 | | 2 | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | |
| | 経済学入門 | | 2 | | |
| 経済学 | 応用経済学 | | 2 | | |
| 社会学 | 社会学 | | 2 | | |
| | 地域社会学 | | 2 | | |
| 経営学 | 企業システム論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 情報技術と現代社会 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | |
| | 情報時代の地域・都市 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------|----------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | | |
| | レポートライティング | | 2 | | |
| | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | | |
| 社会と産 業技術 | 福祉と技術 | | 2 | | |
| | 科学技術の社会学 | | 2 | | |
| 健康 の 心身 | メンタルヘルス・マネジメント | | 2 | | |
| 教育 | 教育の近現代史 | | 2 | | |
| | 教育原論 | | 2 | | |
| | 教育社会学 | | 2 | | |
| | 教育心理学 | | 2 | | |
| | 生徒文化論 | | 2 | | |
| | 人間関係論 | | 2 | | |
| 現代の 本と 世界 | クローバーリセッション論 | | 2 | | |
| | 現代日本の社会 | | 2 | | |
| 環境 | 環境学入門 | | 2 | | |
| | 人間社会と環境問題 | | 2 | | |
| | 環境経済学 | | 2 | | |
| | 生物と環境の保全 | | 2 | | |
| | 生産と消費の環境論 | | 2 | | |
| | 地域環境マネジメント | | 2 | | |
| | 地域と環境 | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【応用化学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|-----------------------------------|---|-------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 | 健 康 科 学 論 A | | 2 | | |
| | 健 康 科 学 論 B | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 社 会 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 健 康 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 生 理 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 心 理 学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 2 | | |
| | 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | |
| ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス A | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス B | | | 1 | | |
| フライングディスク（テクニカル） | | | 1 | | |
| フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| テ ニ ス （ テ ク ニ カ ル ） | | | 1 | | |
| テニス（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バドミントン（テクニカル） | | | 1 | | |
| バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ス キ ー （ テ ク ニ カ ル ） | | | 1 | | |
| スキー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 軟式野球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ソフトボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| サ ッ カ ー （ テ ク ニ カ ル ） | | | 1 | | |
| サッカー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フ ッ ト サ ル （ テ ク ニ カ ル ） | | | 1 | | |
| フットサル（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 卓 球 （ テ ク ニ カ ル ） | | | 1 | | |
| 卓球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バスケットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バレーボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フ ラ ッ グ フ ッ ト ボ ー ル （ テ ク ニ カ ル ） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ゴ ル フ （ テ ク ニ カ ル ） | | | 1 | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーションアドバンス） | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 視 覚 と 照 明 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 産学・地域連携プロジェクト | | 1 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 1 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 2 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 3 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 4 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 1 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 2 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 3 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 4 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL1 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL2 | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「工学英語研修1」（1単位）、「工学英語研修2」（1単位）、「工学英語研修3」（1単位）、「工学英語研修4」（1単位）、「海外語学演習1」（2単位）、「海外語学演習2」（2単位）、「海外語学演習3」（2単位）、「海外語学演習4」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【応用化学科】

| 授 業 科 目 名 | | | | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|----------|--------------|---|---|-------|----|----|-------------------------|
| | | | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| ☆ | 無 | 機 | 化 | 学 | 1 | | 2 | |
| ☆ | 無 | 機 | 化 | 学 | 2 | | 2 | |
| ☆ | 有 | 機 | 化 | 学 | 1 | | 2 | |
| ☆ | 有 | 機 | 化 | 学 | 2 | | 2 | |
| ☆ | 有 | 機 | 反 | 応 | 論 | | 2 | |
| ☆ | 有 | 機 | 合 | 成 | 化 | | 2 | |
| △ | 分 | 析 | 化 | 学 | 1 | | 2 | |
| △ | 分 | 析 | 化 | 学 | 2 | | 2 | |
| ☆ | 物 | 理 | 化 | 学 | 1 | | 2 | |
| ☆ | 物 | 理 | 化 | 学 | 2 | | 2 | |
| ☆ | 化 | 学 | 化 | 熱 | 学 | | 2 | |
| △ | 界 | 面 | 化 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 電 | 気 | 化 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 化 | 学 | 工 | 学 | 1 | | 2 | |
| △ | 化 | 学 | 工 | 学 | 2 | | 2 | |
| △ | 分 | 離 | 工 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | セ | ラ | ミ | ッ | ク | ス | 化 | 学 |
| △ | 工 | 業 | 化 | 学 | 概 | 論 | 学 | 2 |
| △ | 無 | 機 | 物 | 質 | 化 | 学 | 学 | 2 |
| △ | 無 | 機 | 材 | 料 | 化 | 学 | 学 | 2 |
| △ | 有 | 機 | マ | テ | リ | ア | ル | 化 |
| △ | 高 | 分 | 子 | 合 | 成 | 化 | 学 | 2 |
| △ | 高 | 分 | 子 | 物 | 性 | 学 | 学 | 2 |
| △ | 有 | 機 | 生 | 物 | 化 | 学 | 学 | 2 |
| ☆ | 生 | 物 | 化 | 学 | 1 | | 2 | |
| ☆ | 生 | 物 | 化 | 学 | 2 | | 2 | |
| ☆ | 応 | 用 | 生 | 物 | 化 | 学 | 学 | 2 |
| ☆ | ケ | ミ | カ | ル | バ | イ | オ | ロ |
| ☆ | Chemical | Spectroscopy | | | | | | 2 |
| ☆ | 光 | 機 | 構 | 造 | 決 | 定 | 学 | 2 |
| △ | 有 | 機 | 境 | 学 | 英 | 語 | 論 | 2 |
| ☆ | 環 | 境 | 学 | 英 | 語 | 論 | 学 | 2 |
| △ | 化 | 学 | 工 | 業 | 総 | 論 | 学 | 2 |
| △ | 知 | 的 | 財 | 産 | 権 | 学 | 学 | 2 |
| ☆ | 資 | 源 | 球 | 化 | 科 | 学 | 学 | 2 |
| ☆ | 地 | 球 | 化 | 科 | 学 | 学 | 学 | 2 |
| ☆ | 応 | 用 | 物 | 理 | 学 | 学 | 学 | 2 |
| △ | 分 | 析 | 化 | 学 | 実 | 験 | 学 | 3 |
| △ | 応 | 用 | 化 | 学 | 実 | 験 | 学 | 3 |
| ☆ | 物 | 理 | 化 | 学 | 実 | 験 | 学 | 2 |
| ☆ | 有 | 機 | 化 | 学 | 実 | 験 | 学 | 2 |
| △ | 化 | 学 | 工 | 学 | 実 | 験 | 学 | 2 |
| ☆ | 生 | 物 | 化 | 学 | 実 | 験 | 学 | 1 |
| ☆ | 地 | 質 | ・ | 鉱 | 物 | 化 | 学 | 実 |
| ☆ | 地 | 応 | 用 | 化 | 学 | ゼ | ミ | ナ |
| ☆ | 地 | 応 | 用 | 化 | 学 | ゼ | ミ | ナ |
| ☆ | 卒 | 業 | 研 | 究 | 1 | | 2 | |
| ☆ | 卒 | 業 | 研 | 究 | 2 | | 2 | |
| △ | 職 | 業 | 指 | 導 | | | 2 | 「職業指導」は教職課程における必修科目とする。 |

(備 考)

授業科目中の☆印は教職に関する教科専門科目「理科」を、△印は「工業」を示す。

別表3

授 業 科 目

工学部

全学共通科目群【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| ダイバーシティ入門 | | 2 | | |
| 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| Japanese Language I | | | 2 | |
| Japanese Language II | | | 2 | |
| Japanese Language III | | | 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|----------------------------|-----------------------|-------------------------------|-----|-----|-----|---|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 共 通 数 理 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 第 1 数学サポート（微分積分第1） | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 2 | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 3 | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 4 | 2 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 1 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 2 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 3 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 4 | 1 | | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 1 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 2 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 3 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 4 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 1 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 2 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 1 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 2 | | 1 | | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 第 1 | | 1 | | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 第 2 | | 1 | | |
| | | フ ー リ エ 解 析 第 1 | | 1 | | |
| | | フ ー リ エ 解 析 第 2 | | 1 | | |
| | | 数 値 計 算 第 1 | | 1 | | |
| | | 数 値 計 算 第 2 | | 1 | | |
| 理 科 目 | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 入 門 基 礎 力 学 | 2 | | ※ | |
| | | 基 礎 力 学 演 習 物理学サポート（物理学入門） | | 2 | | |
| | | 物理学サポート（基礎力学） | | | | 2 |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 | | | | 2 |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | | 2 |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 | | 2 | | |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | 2 | | |
| | | 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | | |
| | | 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | |
| | | 物 理 学 実 験 | | 2 | | |
| 化 学 科 目 | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 S | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 A | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 B | 2 | | | |
| | | 基 礎 化 学 C | | | 2 | |
| | | 基 礎 環 境 化 学 | | | 2 | |
| | | 化 学 サ ポ ー ト | | | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 2 | | 1 | | |
| 化 学 実 験 | | 2 | | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------------------|-----------|--------------|-------------------------|-----|-----|-----|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 言語・情報系科目 | 英語科目 | 英語上達科目 I | 【Reading & Writing】 | | | |
| | | | Reading & Writing I* | 2 | | |
| | | | Reading & Writing I | | | |
| | | | Reading IA | | 2 | |
| | | | Reading IB | | 2 | |
| | | | Writing IA | | 2 | |
| | | | Writing IB | | 2 | |
| | | | 【Speaking & Listening】 | | | |
| | | | Listening & Speaking I* | 2 | | |
| | | | Listening & Speaking I | | | |
| English Communication I | | 2 | | | | |
| Presentation I | | 2 | | | | |
| 【総 合】 | | | | | | |
| 英語総合IA | | 2 | | | | |
| 英語総合IB | | 2 | | | | |
| 工学英語IA | | 2 | | | | |
| 工学英語IB | | 2 | | | | |
| 【TOEIC演習科目】 | | | | | | |
| TOEIC IA | | 2 | | | | |
| TOEIC IB | | 2 | | | | |
| | 英語上達科目 II | Reading II A | | 2 | | |
| Reading II B | | | 2 | | | |
| Writing II A | | | 2 | | | |
| Writing II B | | | 2 | | | |
| Presentation II | | | 2 | | | |
| Debate II A | | | 2 | | | |
| Debate II B | | | 2 | | | |
| TOEIC II | | | 2 | | | |
| | 情報科目 | 情報リテラシ | | 1 | | |
| 情報処理概論 | | | 2 | | | |
| Java入門 | | | 3 | | | |
| Javaプログラミング | | | 3 | | | |
| C言語入門 | | 3 | | | | |
| C言語プログラミング | | | | 3 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | 文化人類学 | | 2 | | |
| | 言語文化論 | | 2 | | |
| | 日本文化論 | | 2 | | |
| | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | ジェンダー論 | | 2 | | |
| 歴史学 | 現代史 | | 2 | | |
| | 科学技術史 | | 2 | | |
| 芸術学 | 芸術学 | | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | | |
| | 倫理 | | 2 | | |
| | 生命倫理 | | 2 | | |
| | 技術者の倫理 | 2 | | | |
| | 科学技術倫理 | 2 | | | |
| 文学 | 文学論 | | 2 | | |
| | 文芸表現法 | | 2 | | |
| 心理学 | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| 地理学 | 経済地理学 | | 2 | | |
| | 社会地理学 | | 2 | | |
| | 地域産業論 | | 2 | | |
| | 地域の調査と分析 | | 2 | | |
| 政策学 | 現代日本の地方自治 | | 2 | | |
| 法学 | 法学入門 | | 2 | | |
| | 知的財産法 | | 2 | | |
| | 日本国憲法 | | 2 | | |
| | 民法 | | 2 | | |
| 経済学 | マクロ経済学 | | 2 | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | |
| | 経済学入門 | | 2 | | |
| | 応用経済学 | | 2 | | |
| 社会学 | 社会学 | | 2 | | |
| | 地域社会学 | | 2 | | |
| 経営学 | 企業システム論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 情報技術と現代社会 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | |
| | 情報時代の地域・都市 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|---------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | | |
| | レポートライティング | | 2 | | |
| | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | | |
| 社会と産 業技術 | 福 祉 と 技 術 | | 2 | | |
| | 科 学 技 術 の 社 会 学 | | 2 | | |
| 健康の 心身 | メンタルヘルス・マネジメント | | 2 | | |
| 教育 | 教 育 の 近 現 代 史 | | 2 | | |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | |
| | 生 徒 文 化 論 | | 2 | | |
| | 人 間 関 係 論 | | 2 | | |
| 現代の 本と世界 | クローバー・リセッション論 | | 2 | | |
| | 現 代 日 本 の 社 会 | | 2 | | |
| 環 境 | 環 境 学 入 門 | | 2 | | |
| | 人 間 社 会 と 環 境 問 題 | | 2 | | |
| | 環 境 経 済 学 | | 2 | | |
| | 生 物 と 環 境 の 保 全 | | 2 | | |
| | 生 産 と 消 費 の 環 境 論 | | 2 | | |
| | 地 域 環 境 マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | | |
| | 地 域 と 環 境 | | 2 | | |
| 総 合 | 人 文 社 会 演 習 1 | | 1 | | |
| | 人 文 社 会 演 習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【電気工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---------------------------|---|-------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 2 | | |
| | 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | |
| ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス A | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス B | | | 1 | | |
| フライングディスク（テクニカル） | | | 1 | | |
| フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| テニス（テクニカル） | | | 1 | | |
| テニス（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バドミントン（テクニカル） | | | 1 | | |
| バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| スキー（テクニカル） | | | 1 | | |
| スキー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 軟式野球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ソフトボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| サッカー（テクニカル） | | | 1 | | |
| サッカー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フットサル（テクニカル） | | | 1 | | |
| フットサル（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 卓球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 卓球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バスケットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バレーボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーションアドバンス） | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 視 覚 と 照 明 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 産学・地域連携プロジェクト | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 1 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 2 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 3 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 4 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 1 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 2 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 3 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 4 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL1 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL2 | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「工学英語研修1」（1単位）、「工学英語研修2」（1単位）、「工学英語研修3」（1単位）、「工学英語研修4」（1単位）、「海外語学演習1」（2単位）、「海外語学演習2」（2単位）、「海外語学演習3」（2単位）、「海外語学演習4」（2単位）は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|----|----|-----|
| | 必修 | 選択 | 自由 | |
| △ 電 気 回 路 | 1 | 2 | | |
| △ 電 気 回 路 | 2 | 2 | | |
| △ 電 気 回 路 | 3 | 2 | | |
| △ 電 気 回 路 | 4 | 2 | | |
| △ 電 気 回 路 演 習 | 1 | 2 | | |
| △ 電 気 回 路 演 習 | 2 | 1 | | |
| △ 電 気 回 路 演 習 | 3 | 1 | | |
| △ 電 気 磁 気 学 | 1 | 2 | | |
| △ 電 気 磁 気 学 | 2 | 2 | | |
| △ 電 気 磁 気 学 | 3 | 2 | | |
| △ 電 気 磁 気 学 演 習 | 1 | 1 | | |
| △ 電 気 磁 気 学 演 習 | 2 | 1 | | |
| △ 電 気 磁 気 学 演 習 | 3 | 1 | | |
| △ 電 子 回 路 | 1 | | 2 | |
| △ 電 子 回 路 | 2 | | 2 | |
| △ 電 子 回 路 数 学 | | | 2 | |
| △ システム 基 礎 数 学 | | | 2 | |
| △ デジタル ル 回 路 測 定 | | | 2 | |
| △ 電 子 計 測 測 定 | | | 2 | |
| ○ 応 用 数 学 | | | 2 | |
| △ 電 気 機 器 基 礎 論 | 1 | | 2 | |
| △ 電 気 機 器 基 礎 論 | 2 | | 2 | |
| △ パワーエレクトロニクス | | | 2 | |
| △ 電 力 系 統 工 学 | 1 | | 2 | |
| △ 電 力 系 統 工 学 | 2 | | 2 | |
| △ 発 変 電 工 学 | | | 2 | |
| △ 電 気 応 用 学 | | | 2 | |
| △ 高 電 圧 工 学 | | | 2 | |
| △ 新 エネルギ 一 発 電 概 論 | | | 2 | |
| △ 電 気 機 器 設 計 製 図 分 析 | | | 2 | |
| ○ 線 形 システム 解 析 学 | | | 2 | |
| △ 制 御 工 学 | | | 2 | |
| △ システム 制 御 | | | 2 | |
| △ デジタル 計 測 制 御 | | | 2 | |
| ○ マイクロコンピュータ | 1 | | 2 | |
| ○ マイクロコンピュータ | 2 | | 2 | |
| △ メカトロニクス | | | 2 | |
| △ ロボティクス | | | 2 | |
| △ 電 子 システム 設 計 | | | 2 | |
| △ 電 子 基 礎 物 理 論 | | | 2 | |
| △ 電 子 物 性 論 | | | 2 | |
| △ 電 子 デバイス 工 学 | | | 2 | |
| △ 量 子 ビーム 応 用 工 学 | | | 2 | |
| △ 電 気 材 料 工 学 | | | 2 | |
| △ 光 電 波 工 学 | | | 2 | |
| △ 電 気 工 学 入 門 | 2 | | | 2 |
| △ 電 気 工 学 実 験 | | 2 | | |
| △ 電 気 工 学 技 術 英 語 | 2 | | | |
| △ 電 気 工 学 ゼミナール | 1 | | | |
| △ 無 線 機 器 規 規 | | | 2 | |
| △ 電 波 機 器 規 規 | | 2 | | |
| △ 電 気 機 器 規 規 | | | 2 | |
| △ 電 気 製 作 実 験 | 1 | | | |
| △ 電 気 製 作 実 験 | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【電気工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-------|----|----|--|
| | 必修 | 選択 | 自由 | |
| △電 気 実 験 2 | 1 | | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| △電 気 実 験 3 | 2 | | | |
| △電 気 実 験 4 | 2 | | | |
| 電気工学国際インターンシップ A | | 2 | | |
| 電気工学国際インターンシップ B | | 2 | | |
| 卒業 業 研 究 1 | 2 | | | |
| 卒業 業 研 究 2 | 2 | | | |
| △職 業 指 導 2 | | | 2 | |
| ○代 数 指 学 学 A | | | 2 | |
| ○代 数 指 学 学 B | | | 2 | |
| ○代 数 学 特 論 A | | | 2 | |
| ○幾 何 学 学 A | | | 2 | |
| ○幾 何 学 学 B | | | 2 | |
| ○幾 何 学 特 論 A | | | 2 | |
| ○解 析 学 学 A | | | 2 | |
| ○解 析 学 学 B | | | 2 | |
| ○確 率 統 計 論 学 | | | 2 | |
| ○数 理 統 計 学 | | | 2 | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

別表3

授 業 科 目

工学部

全学共通科目群【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| ダイバーシティ入門 | | 2 | | |
| 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| Japanese Language I | | | 2 | |
| Japanese Language II | | | 2 | |
| Japanese Language III | | | 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|----------------------------|------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----|-----|---|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 共 通 数 理 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 第 1 数学サポート（微分積分第1） | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 2 | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 3 | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 4 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 第 1 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 2 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 3 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 4 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 1 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 2 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 3 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 4 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 1 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 2 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 1 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 2 | | 1 | | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 第 1 | | 1 | | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 第 2 | | 1 | | |
| | | フ ー リ エ 解 析 第 1 | | 1 | | |
| | フ ー リ エ 解 析 第 2 | | 1 | | | |
| | 数 値 計 算 第 1 | | 1 | | | |
| | 数 値 計 算 第 2 | | 1 | | | |
| | 物 理 科 目 | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 入 門 基 礎 力 学 | 2 | | |
| | | | 基 礎 力 学 演 習 物理学サポート（物理学入門） | | 2 | |
| | | | 物理学サポート（基礎力学） | | | ※ |
| | | | 基 礎 電 磁 気 学 | | 2 | |
| | | | 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | 2 | |
| | | | 基 礎 熱 統 計 力 学 | | 2 | |
| | | | 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | 2 | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | | 2 | | | |
| 化 学 科 目 | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 S | | 2 | | |
| | | 基 礎 化 学 A | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 B | | 2 | | |
| | | 基 礎 化 学 C | | | 2 | |
| | | 基 礎 環 境 化 学 | | | 2 | |
| | | 化 学 サ ポ ー ト | | | ※ | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 化 学 実 験 | | 2 | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|-------------------------|------|------|--------|--|---|--|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | | |
| 言語・情報系科目 | 英語科目 | 英語上達科目 I | 【Reading & Writing】 | | | | | | |
| | | | Reading & Writing I* | 2 | | | | | |
| | | | Reading & Writing I | | | | | | |
| | | | Reading IA | | 2 | | | | |
| | | | Reading IB | | 2 | | | | |
| | | | Writing IA | | 2 | | | | |
| | | | Writing IB | | 2 | | | | |
| | | | 【Speaking & Listening】 | | | | | | |
| | | | Listening & Speaking I* | 2 | | | | | |
| | | | Listening & Speaking I | | | | | | |
| English Communication I | 2 | | | | | | | | |
| Presentation I | 2 | | | | | | | | |
| 【総 合】 | | | | | | | | | |
| 英語総合IA | | 2 | | | | | | | |
| 英語総合IB | | 2 | | | | | | | |
| 工学英語IA | | 2 | | | | | | | |
| 工学英語IB | | 2 | | | | | | | |
| 【TOEIC演習科目】 | | | | | | | | | |
| TOEIC IA | | 2 | | | | | | | |
| TOEIC IB | | 2 | | | | | | | |
| 英語上達科目 II | 英語上達科目 II | 英語上達科目 II | Reading II A | | 2 | | | | |
| | | | Reading II B | | 2 | | | | |
| | | | Writing II A | | 2 | | | | |
| | | | Writing II B | | 2 | | | | |
| | | | Presentation II | | 2 | | | | |
| | | | Debate II A | | 2 | | | | |
| | | | Debate II B | | 2 | | | | |
| | | | TOEIC II | | 2 | | | | |
| | | | 情報科目 | 情報科目 | 情報科目 | 情報リテラシ | | 1 | |
| | | | | | | 情報処理概論 | | 2 | |
| Java入門 | | 3 | | | | | | | |
| Javaプログラミング | | 3 | | | | | | | |
| C言語入門 | | 3 | | | | | | | |
| C言語プログラミング | | 3 | | | | | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|------------|-----------|--------------|-----|-----|-----|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 文化 | 比較文化論 | | 2 | | | |
| | 文化人類学 | | 2 | | | |
| | 言語文化論 | | 2 | | | |
| | 日本文化論 | | 2 | | | |
| | 世界の言語と文化論 | | 2 | | | |
| | ジェンダー論 | | 2 | | | |
| 歴史学 | 現代史 | | 2 | | | |
| | 科学技術史 | | 2 | | | |
| 芸術学 | 芸術学 | | 2 | | | |
| 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | | | |
| | 倫理 | | 2 | | | |
| | 生命倫理 | | 2 | | | |
| | 技術者の倫理 | 2 | | | | |
| 文学 | 科学技術倫理 | | 2 | | | |
| | 文学論 | | 2 | | | |
| 心理学 | 文芸表現法 | | 2 | | | |
| | 社会学 | | 2 | | | |
| 地理学 | 社会心理学 | | 2 | | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | | |
| | 経済地理学 | | 2 | | | |
| | 社会地理学 | | 2 | | | |
| 政策学 | 地域産業論 | | 2 | | | |
| | 地域の調査と分析 | | 2 | | | |
| 法学 | 現代日本の地方自治 | | 2 | | | |
| | 法学入門 | | 2 | | | |
| | 知的財産法 | | 2 | | | |
| | 日本国憲法 | | 2 | | | |
| 経済学 | 民法 | | 2 | | | |
| | マクロ経済学 | | 2 | | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | | |
| | 経済学入門 | | 2 | | | |
| 社会学 | 応用経済学 | | 2 | | | |
| | 社会学 | | 2 | | | |
| 社会情報学 | 地域社会学 | | 2 | | | |
| | 経営学 | 企業システム論 | | 2 | | |
| | 情報技術と現代社会 | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | | 情報メディアリテラシー論 | | 2 | | |
| | | 映像メディア論 | | 2 | | |
| 情報時代の地域・都市 | | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|----------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | 2 | 2 | | |
| | レポートライティング | | | | |
| | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | | |
| 社会と産 業技術 | 福祉と技術 | | 2 | | |
| | 科学技術の社会学 | | 2 | | |
| 健康の 心身 | メンタルヘルス・マネジメント | | 2 | | |
| 教育 | 教育の近現代史 | | 2 | | |
| | 教育原論 | | 2 | | |
| | 教育社会学 | | 2 | | |
| | 教育心理学 | | 2 | | |
| | 生徒文化論 | | 2 | | |
| | 人間関係論 | | 2 | | |
| 現代の 本と世界 | クォーパリティセッション論 | | 2 | | |
| | 現代日本の社会 | | 2 | | |
| 環境 | 環境学入門 | | 2 | | |
| | 人間社会と環境問題 | | 2 | | |
| | 環境経済学 | | 2 | | |
| | 生物と環境の保全 | | 2 | | |
| | 生産と消費の環境論 | | 2 | | |
| | 地域環境マネジメント | | 2 | | |
| | 地域と環境 | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【通信工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---------------------------|---|-------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 2 | | |
| | 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | |
| ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス A | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス B | | | 1 | | |
| フライングディスク（テクニカル） | | | 1 | | |
| フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| テニス（テクニカル） | | | 1 | | |
| テニス（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バドミントン（テクニカル） | | | 1 | | |
| バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| スキー（テクニカル） | | | 1 | | |
| スキー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 軟式野球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ソフトボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| サッカー（テクニカル） | | | 1 | | |
| サッカー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フットサル（テクニカル） | | | 1 | | |
| フットサル（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 卓球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 卓球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バスケットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バレーボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーションアドバンス） | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 視 覚 と 照 明 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 産学・地域連携プロジェクト | | 2 | | |
| 国際インターンシップ1 | | 2 | | |
| 国際インターンシップ2 | | 2 | | |
| 国際インターンシップ3 | | 2 | | |
| 国際インターンシップ4 | | 2 | | |
| グ ロー バ ル PBL 1 | | 2 | | |
| グ ロー バ ル PBL 2 | | 2 | | |
| グ ロー バ ル PBL 3 | | 2 | | |
| グ ロー バ ル PBL 4 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロー バ ル PBL1 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロー バ ル PBL2 | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定」(2単位)、「工学英語研修1」(1単位)、「工学英語研修2」(1単位)、「工学英語研修3」(1単位)、「工学英語研修4」(1単位)、「海外語学演習1」(2単位)は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------------------------|-------|----|----|-----|
| | 必修 | 選択 | 自由 | |
| △ 電 気 回 路 基 礎 | | 2 | | |
| △ 回 路 理 論 | | 2 | | |
| △ 回 路 の 過 渡 現 象 | | 2 | | |
| △ 回 路 設 計 演 習 | | 2 | | |
| △ 基 礎 電 子 回 路 | | 4 | | |
| △ 応 用 電 子 回 路 | | 2 | | |
| △ 電 気 磁 気 学 1 及 び 演 習 | | 4 | | |
| △ 電 気 磁 気 学 2 | | 2 | | |
| △ 電 気 磁 気 学 3 | | 2 | | |
| △ 論 理 設 計 | | 2 | | |
| □ 情 報 処 理 論 1 | | 2 | | |
| □ 情 報 処 理 論 2 | | 2 | | |
| □ 情 報 処 理 論 3 | | 2 | | |
| □ 情 報 処 理 論 4 | | 2 | | |
| □ コ ン ピ ュ ー タ ア プ リ ケ ー シ ョ ン | | 2 | | |
| □ 数 値 解 析 | | 2 | | |
| □ 生 体 情 報 工 学 | | 2 | | |
| □ 情 報 理 論 | | 2 | | |
| □ ネ ッ ト ワ ー ク 理 論 | | 2 | | |
| ○ 情 報 通 信 数 学 1 | | 2 | | |
| ○ 情 報 通 信 数 学 2 | | 2 | | |
| △ 通 信 方 式 | | 2 | | |
| □ 情 報 通 信 ネットワーク 1 | | 2 | | |
| □ 情 報 通 信 ネットワーク 2 | | 2 | | |
| □ 情 報 通 信 ネットワーク 3 | | 2 | | |
| △ 光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス | | 2 | | |
| △ 光 通 信 工 学 | | 2 | | |
| □ 移 動 通 信 工 学 | | 2 | | |
| △ マ イ ク ロ 波 工 学 | | 2 | | |
| △ 宇 宙 通 信 工 学 | | 2 | | |
| □ 通 信 シ ス テ ム 設 計 論 | | 2 | | |
| △ 通 信 計 測 | | 2 | | |
| ○ デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理 1 | | 2 | | |
| ○ デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理 2 | | 2 | | |
| □ 計 測 シ ス テ ム 工 学 | | 2 | | |
| □ メ デ ィ ア 情 報 工 学 | | 2 | | |
| □ メ デ ィ ア 通 信 工 学 | | 2 | | |
| □ 音 響 工 学 | | 2 | | |
| △ 電 波 工 学 1 | | 2 | | |
| △ 電 波 工 学 2 | | 2 | | |
| △ 情 報 通 信 特 論 1 | | 1 | | |
| △ 情 報 通 信 特 論 2 | | 1 | | |
| △ 情 報 工 学 特 論 | | 1 | | |
| △ 電 波 法 規 | | 2 | | |
| △ 通 信 法 規 | | 2 | | |
| △ 無 線 機 器 | | 2 | | |
| △ 情 報 通 信 基 礎 実 験 1 | 1 | | | |
| △ 情 報 通 信 基 礎 実 験 2 | 1 | | | |
| △ 情 報 通 信 基 礎 実 験 3 | 1 | | | |
| △ 情 報 通 信 基 礎 実 験 4 | 1 | | | |
| △ ソ フ ト ウ ェ ア 演 習 1 | 1 | | | |
| △ ソ フ ト ウ ェ ア 演 習 2 | 1 | | | |
| □ ソ フ ト ウ ェ ア 演 習 3 | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【通信工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-------|----|----|--|
| | 必修 | 選択 | 自由 | |
| ソ | 1 | | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| △ | 2 | | | |
| △ | 2 | | | |
| 情報 | 1 | | | |
| 情報 | 1 | | 1 | |
| 情報 | 2 | | 1 | |
| 情報 | 2 | | | |
| △ | | 1 | | |
| 通信 | 2 | | | |
| 卒業 | 2 | | | |
| △ | | | 2 | |
| ○ | | | 2 | |
| ○ | | | 2 | |
| ○ | | | 2 | |
| ○ | | | 2 | |
| ○ | | | 2 | |
| ○ | | | 2 | |
| ○ | | | 2 | |
| ○ | | | 2 | |
| ○ | | | 2 | |
| □ | | | 2 | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、□印は「情報」を、△印は「工業」を示す。

別表3

授 業 科 目

工学部

全学共通科目群【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| ダイバーシティ入門 | | | 2 | |
| 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| Japanese Language I | | | 2 | |
| Japanese Language II | | | 2 | |
| Japanese Language III | | | 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|----------------------------|------------------|-------------------------------|---------------------------|-----|-----|---|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 共 通 数 理 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 第 1 数学サポート（微分積分第1） | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 2 | | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 第 3 | | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 第 4 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 第 1 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 2 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 3 | | 1 | | |
| | | 線 形 代 数 第 4 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 1 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 2 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 3 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 4 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 1 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 2 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 1 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 2 | | 1 | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 第 1 | | 1 | | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 第 2 | | 1 | | | |
| | フ ー リ エ 解 析 第 1 | | 1 | | | |
| | フ ー リ エ 解 析 第 2 | | 1 | | | |
| | 数 値 計 算 第 1 | | 1 | | | |
| | 数 値 計 算 第 2 | | 1 | | | |
| | 物 理 科 目 | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 入 門 | | 2 | |
| | | | 基 礎 力 学 | 2 | | |
| | | | 基 礎 力 学 演 習 | | 2 | |
| | | | 物 理 学 サ ポ ー ト (物 理 学 入 門) | | | ※ |
| | | | 物 理 学 サ ポ ー ト (基 礎 力 学) | | | 2 |
| | | | 基 礎 電 磁 気 学 | | | 2 |
| | | | 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | 2 |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | | | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | | | | |
| 物 理 学 実 験 | 2 | | | | | |
| 化 学 科 目 | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 S | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 A | 2 | | | |
| | | 基 礎 化 学 B | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 C | | | 2 | |
| | | 基 礎 環 境 化 学 | | | 2 | |
| | | 化 学 サ ポ ー ト | | | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 2 | | 1 | | |
| 化 学 実 験 | 2 | | | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | | |
|-------------------------|------|-----------|-------------------------|------|-----|--------|--|---|--|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | | |
| 言語・情報系科目 | 英語科目 | 英語上達科目 I | 【Reading & Writing】 | | | | | | |
| | | | Reading & Writing I* | 2 | | | | | |
| | | | Reading & Writing I | | | | | | |
| | | | Reading IA | | 2 | | | | |
| | | | Reading IB | | 2 | | | | |
| | | | Writing IA | | 2 | | | | |
| | | | Writing IB | | 2 | | | | |
| | | | 【Speaking & Listening】 | | | | | | |
| | | | Listening & Speaking I* | 2 | | | | | |
| | | | Listening & Speaking I | | | | | | |
| English Communication I | 2 | | | | | | | | |
| Presentation I | 2 | | | | | | | | |
| 【総 合】 | | | | | | | | | |
| 英語総合IA | | 2 | | | | | | | |
| 英語総合IB | | 2 | | | | | | | |
| 工学英語IA | | 2 | | | | | | | |
| 工学英語IB | | 2 | | | | | | | |
| 【TOEIC演習科目】 | | | | | | | | | |
| TOEIC IA | | 2 | | | | | | | |
| TOEIC IB | | 2 | | | | | | | |
| 言語・情報系科目 | 英語科目 | 英語上達科目 II | Reading II A | | 2 | | | | |
| | | | Reading II B | | 2 | | | | |
| | | | Writing II A | | 2 | | | | |
| | | | Writing II B | | 2 | | | | |
| | | | Presentation II | | 2 | | | | |
| | | | Debate II A | | 2 | | | | |
| | | | Debate II B | | 2 | | | | |
| | | | TOEIC II | | 2 | | | | |
| | | | 言語・情報系科目 | 情報科目 | | 情報リテラシ | | 1 | |
| | | | | | | 情報処理概論 | | 2 | |
| Java入門 | | 3 | | | | | | | |
| Javaプログラミング | | 3 | | | | | | | |
| C言語入門 | | 3 | | | | | | | |
| C言語プログラミング | | 3 | | | | | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | 文化人類学 | | 2 | | |
| | 言語文化論 | | 2 | | |
| | 日本文化論 | | 2 | | |
| | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | ジェンダー論 | | 2 | | |
| 歴史学 | アジアカ文化論 | | 2 | | |
| | 現代史 | | 2 | | |
| 芸術学 | 科学技術史 | | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 芸術学 | | 2 | | |
| | 哲学 | | 2 | | |
| | 倫理 | | 2 | | |
| | 生命倫理 | 2 | | | |
| 文学 | 技術者の倫理学 | 2 | | | |
| | 科学技術倫理学 | 2 | | | |
| 心理学 | 文学論 | | 2 | | |
| | 文芸学 | | 2 | | |
| 地理学 | 社会学 | | 2 | | |
| | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| | 経済地理学 | | 2 | | |
| 政策学 | 社会地理学 | | 2 | | |
| | 地域産業論 | | 2 | | |
| 法学 | 地域の調査と分析 | | 2 | | |
| | 現代日本の地方自治 | | 2 | | |
| | 法学入門 | | 2 | | |
| | 知的財産法 | | 2 | | |
| 経済学 | 日本国憲法 | | 2 | | |
| | 民法 | | 2 | | |
| | マクロ経済学 | | 2 | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | |
| 社会学 | 経済学入門 | | 2 | | |
| | 応用経済学 | | 2 | | |
| 経営学 | 社会学 | | 2 | | |
| | 地域社会学 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 企業システム論 | | 2 | | |
| | 情報技術と現代社会 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー | | 2 | | |
| | 映像メディア論 | | 2 | | |
| | 情報時代の地域・都市 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|----------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | | |
| | レポートライティング | | 2 | | |
| | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | | |
| 社会と産 業技術 | 福祉と技術 | | 2 | | |
| | 科学技術の社会学 | | 2 | | |
| 健康の 心身 | メンタルヘルス・マネジメント | | 2 | | |
| 教育 | 教育の近現代史 | | 2 | | |
| | 教育原論 | | 2 | | |
| | 教育社会学 | | 2 | | |
| | 教育心理学 | | 2 | | |
| | 生徒文化論 | | 2 | | |
| | 人間関係論 | | 2 | | |
| 現代の 本と世界 | グローバルリサーチ論 | | 2 | | |
| | 現代日本の社会 | | 2 | | |
| 環境 | 環境学入門 | | 2 | | |
| | 人間社会と環境問題 | | 2 | | |
| | 環境経済学 | | 2 | | |
| | 生物と環境の保全 | | 2 | | |
| | 生産と消費の環境論 | | 2 | | |
| | 地域環境マネジメント | | 2 | | |
| | 地域と環境 | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【電子工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|-----------------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 | 健 康 科 学 論 A | | 2 | | |
| | 健 康 科 学 論 B | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 社 会 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 健 康 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 生 理 学 | | 2 | | |
| | ス ポ ー ツ 心 理 学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フ イ ッ ト ネ ス A | | 1 | | |
| | フ イ ッ ト ネ ス B | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テ ニ ス （ テ ク ニ カ ル ） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ス キ ー （ テ ク ニ カ ル ） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サ ッ カ ー （ テ ク ニ カ ル ） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フ ッ ト サ ル （ テ ク ニ カ ル ） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓 球 （ テ ク ニ カ ル ） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フ ラ ッ グ フ ッ ト ボ ー ル （ テ ク ニ カ ル ） | | 1 | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴ ル フ （ テ ク ニ カ ル ） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーションアドバンス） | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 視 覚 と 照 明 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 産学・地域連携プロジェクト | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 1 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 2 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 3 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 4 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 1 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 2 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 3 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 4 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL1 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL2 | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定」(2単位)、「工学英語研修1」(1単位)、「工学英語研修2」(1単位)、「工学英語研修3」(1単位)、「工学英語研修4」(1単位)、「海外語学演習1」(2単位)、「海外語学演習2」(2単位)、「海外語学演習3」(2単位)、「海外語学演習4」(2単位)は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【電子工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-------|----|----|-----|
| | 必修 | 選択 | 自由 | |
| △電子工学一般 | 2 | | | |
| ○電気数学1 | 2 | | | |
| ○電気数学2 | 2 | | | |
| △電気回路1 | 2 | | | |
| △電気回路2 | 2 | | | |
| △電気回路3 | 2 | | | |
| △電気回路演習1 | 1 | | | |
| △電気回路演習2 | 1 | | | |
| △電気磁気学1 | 2 | | | |
| △電気磁気学2 | 2 | | | |
| △電気磁気学3 | 2 | | | |
| △電気磁気学演習1 | 1 | | | |
| △電気磁気学演習2 | 1 | | | |
| △制御工学 | | 2 | | |
| △電気電子化学 | | 2 | | |
| △アナログ電子回路1 | | 2 | | |
| △アナログ電子回路2 | | 2 | | |
| △デジタル電子回路1 | | 2 | | |
| △デジタル電子回路2 | | 2 | | |
| △電子材料基礎 | | 2 | | |
| △電子材料基礎 | | 2 | | |
| △電子物性基礎 | | 2 | | |
| △電子物性学 | | 2 | | |
| △半導体工学 | | 2 | | |
| △光エレクトロニクス | | 2 | | |
| △電子デバイス工学 | | 2 | | |
| △電子材料評価論 | | 2 | | |
| △量子力学 | | 2 | | |
| △コンピュータアーキテクチャ | | 2 | | |
| △情報処理論 | | 2 | | |
| ○信号処理回路 | | 2 | | |
| △情報伝送回路 | | 2 | | |
| △集積回路工学 | | 2 | | |
| △音響システム | | 2 | | |
| △メディアカルエレクトロニクス | | 2 | | |
| △信頼性品質工学 | | 2 | | |
| △電波工学 | | 2 | | |
| △無線機 | | 2 | | |
| △電波法 | | 2 | | |
| △通信法 | | | 2 | |
| △先端技術 | | | 2 | |
| △電子工学製作実習 | | 2 | | |
| △電子工学基礎実験 | 2 | | | |
| △電子工学コース実験1 | 2 | | | |
| △電子工学コース実験2 | 2 | | | |
| △電子工学国際インターンシップ1 | | 2 | | |
| △電子工学国際インターンシップ2 | | 2 | | |
| △電子工学国際インターンシップ3 | | 2 | | |
| △電子工学国際インターンシップ4 | | 2 | | |
| △電子工学国際インターンシップ5 | | 2 | | |
| △電子工学ゼミナール | 2 | | | |
| △卒業研究1 | 2 | | | |
| △卒業研究2 | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【電子工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-----------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | △ 職業指導 | | | 2 | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | ○ 代数学 | | | 2 | |
| | ○ 代数学 | | | 2 | |
| | ○ 代数学特論 | | | 2 | |
| | ○ 幾何学 | | | 2 | |
| | ○ 幾何学特論 | | | 2 | |
| | ○ 幾何学特論 | | | 2 | |
| | ○ 解析学 | | | 2 | |
| | ○ 解析学 | | | 2 | |
| | ○ 確率統計 | | | 2 | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

別表3

授 業 科 目

工学部

全学共通科目群【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| ダイバーシティ入門 | | | 2 | |
| 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| Japanese Language I | | | 2 | |
| Japanese Language II | | | 2 | |
| Japanese Language III | | | 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------------|-----------------------|-------------------------------|-----|-----|--------|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 共 通 数 理 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 第 1 数学サポート（微分積分第1） | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 第 2 | | 2 | |
| | | 微 分 積 分 第 3 | | 2 | |
| | | 微 分 積 分 第 4 | | 2 | |
| | | 線 形 代 数 第 1 | 1 | | |
| | | 線 形 代 数 第 2 | 1 | | |
| | | 線 形 代 数 第 3 | | 1 | |
| | | 線 形 代 数 第 4 | | 1 | |
| | | 確 率 と 統 計 第 1 | | 1 | |
| | | 確 率 と 統 計 第 2 | | 1 | |
| | | 確 率 と 統 計 第 3 | | 1 | |
| | | 確 率 と 統 計 第 4 | | 1 | |
| | | 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | |
| | | 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | |
| | | 関 数 論 第 1 | | 1 | |
| | | 関 数 論 第 2 | | 1 | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 1 | | 1 | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 2 | | 1 | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 第 1 | | 1 | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 第 2 | | 1 | |
| | | フ ー リ エ 解 析 第 1 | | 1 | |
| | | フ ー リ エ 解 析 第 2 | | 1 | |
| | | 数 値 計 算 第 1 | | 1 | |
| | | 数 値 計 算 第 2 | | 1 | |
| 理 科 目 | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 入 門 | | 2 | ※ ※ |
| | | 基 礎 力 学 | | 2 | |
| | | 基 礎 力 学 演 習 | | 2 | |
| | | 物 理 学 サ ポ ー ト (物 理 学 入 門) | | | |
| | | 物 理 学 サ ポ ー ト (基 礎 力 学) | | | |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 | | 2 | |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | 2 | |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 | | 2 | |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | 2 | |
| | | 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | 2 | |
| | | 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | 2 | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | |
| 化 学 科 目 | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 S | | | 2 |
| | | 基 礎 化 学 A | | | 2 |
| | | 基 礎 化 学 B | | | 2 |
| | | 基 礎 化 学 C | | | 2 |
| | | 基 礎 環 境 化 学 | 2 | | |
| | | 化 学 サ ポ ー ト | | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 1 | | 1 | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 2 | | 1 | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 1 | | 1 | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 2 | | 1 | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 1 | | 1 | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 2 | | 1 | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 1 | | 1 | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 2 | | 1 | |
| | | 化 学 実 験 | | 2 | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------------------|-----------------|----------|-------------------------|-----|-----|-----|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 言語・情報系科目 | 英語科目 | 英語上達科目 I | 【Reading & Writing】 | | | |
| | | | Reading & Writing I* | 2 | | |
| | | | Reading & Writing I | | | |
| | | | Reading IA | | 2 | |
| | | | Reading IB | | 2 | |
| | | | Writing IA | | 2 | |
| | | | Writing IB | | 2 | |
| | | | 【Speaking & Listening】 | | | |
| | | | Listening & Speaking I* | 2 | | |
| | | | Listening & Speaking I | | | |
| English Communication I | | 2 | | | | |
| Presentation I | | 2 | | | | |
| 【総 合】 | | | | | | |
| 英語総合IA | | 2 | | | | |
| 英語総合IB | | 2 | | | | |
| 工学英語IA | | 2 | | | | |
| 工学英語IB | | 2 | | | | |
| 【TOEIC演習科目】 | | | | | | |
| TOEIC IA | | 2 | | | | |
| TOEIC IB | | 2 | | | | |
| 英語上達科目 II | Reading II A | | 2 | | | |
| | Reading II B | | 2 | | | |
| | Writing II A | | 2 | | | |
| | Writing II B | | 2 | | | |
| | Presentation II | | 2 | | | |
| | Debate II A | | 2 | | | |
| | Debate II B | | 2 | | | |
| | TOEIC II | | 2 | | | |
| 情報科目 | 情報リテラシ | | 1 | | | |
| | 情報処理概論 | | 2 | | | |
| | Java入門 | | 3 | | | |
| | Javaプログラミング | | 3 | | | |
| | C言語入門 | | 3 | | | |
| | C言語プログラミング | | 3 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------|-------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 文化 | 比較文化論 | | 2 | | |
| | 文化人類学 | | 2 | | |
| | 言語文化論 | | 2 | | |
| | 日本文化論 | | 2 | | |
| | 世界の言語と文化論 | | 2 | | |
| | ジェンダー論 | | 2 | | |
| 歴史学 | 現代史 | | 2 | | |
| | 科学技術史 | | 2 | | |
| 芸術学 | 芸術学 | | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 哲学 | | 2 | | |
| | 倫理 | | 2 | | |
| | 生命倫理 | | 2 | | |
| | 技術者の倫理学 | 2 | | | |
| 文学 | 科学技術倫理学 | | 2 | | |
| | 文学論 | | 2 | | |
| 心理学 | 文芸学 | | 2 | | |
| | 表現法 | | 2 | | |
| 地理学 | 社会心理学 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| | 経済地理学 | | 2 | | |
| | 社会地理学 | | 2 | | |
| 政策学 | 地域産業論 | | 2 | | |
| | 地域の調査と分析 | | 2 | | |
| 法学 | 現代日本の地方自治 | | 2 | | |
| | 法学入門 | | 2 | | |
| | 知的財産法 | | 2 | | |
| | 日本国憲法 | | 2 | | |
| 経済学 | 民法 | | 2 | | |
| | マクロ経済学 | | 2 | | |
| | ミクロ経済学 | | 2 | | |
| | 経済学入門 | | 2 | | |
| 社会学 | 応用経済学 | | 2 | | |
| | 社会学 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 地域社会学 | | 2 | | |
| | 経営学 | | 2 | | |
| | 企業システム論 | | 2 | | |
| | 情報技術と現代社会 | | 2 | | |
| | 情報アクセシビリティ論 | | 2 | | |
| | メディアリテラシー論 | | 2 | | |
| 映像メディア論 | | 2 | | | |
| 情報時代の地域・都市 | | 2 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|----------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | | |
| | レポートライティング | | 2 | | |
| | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | | |
| 社会と産 業技術 | 福祉と技術 | | 2 | | |
| | 科学技術の社会学 | | 2 | | |
| 健康の 心身 | メンタルヘルス・マネジメント | | 2 | | |
| 教育 | 教育の近現代史 | | 2 | | |
| | 教育原論 | | 2 | | |
| | 教育社会学 | | 2 | | |
| | 教育心理学 | | 2 | | |
| | 生徒文化論 | | 2 | | |
| | 人間関係論 | | 2 | | |
| 現代の 本と世界 | クォーパリティセッション論 | | 2 | | |
| | 現代日本の社会 | | 2 | | |
| 環境 | 環境学入門 | | 2 | | |
| | 人間社会と環境問題 | | 2 | | |
| | 環境経済学 | | 2 | | |
| | 生物と環境の保全 | | 2 | | |
| | 生産と消費の環境論 | | 2 | | |
| | 地域環境マネジメント | | 2 | | |
| | 地域と環境 | | 2 | | |
| 総合 | 人文社会演習 1 | | 1 | | |
| | 人文社会演習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【土木工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---------------------------|---|-------------------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 2 | | |
| | 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | |
| ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス A | | | 1 | | |
| フ イ ッ ト ネ ス B | | | 1 | | |
| フライングディスク（テクニカル） | | | 1 | | |
| フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| テニス（テクニカル） | | | 1 | | |
| テニス（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バドミントン（テクニカル） | | | 1 | | |
| バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| スキー（テクニカル） | | | 1 | | |
| スキー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 軟式野球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ソフトボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| サッカー（テクニカル） | | | 1 | | |
| サッカー（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フットサル（テクニカル） | | | 1 | | |
| フットサル（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| 卓球（テクニカル） | | | 1 | | |
| 卓球（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バスケットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| バレーボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（テクニカル） | | | 1 | | |
| フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | | 1 | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーションアドバンス） | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 視 覚 と 照 明 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 産学・地域連携プロジェクト | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 1 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 2 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 3 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 4 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 1 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 2 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 3 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 4 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL1 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL2 | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定」(2単位)、「工学英語研修1」(1単位)、「工学英語研修2」(1単位)、「工学英語研修3」(1単位)、「工学英語研修4」(1単位)、「海外語学演習1」(2単位)、「海外語学演習2」(2単位)、「海外語学演習3」(2単位)、「海外語学演習4」(2単位)は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【土木工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | | | | |
|-----------|-----|-------|-----|----|-----|---|---|---|---|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | | | | | | |
| | 導 入 | ゼ | ミ | ナ | ー | ル | 学 | 1 | | |
| | 環 境 | の | の | 科 | 学 | 学 | 学 | 2 | | |
| △ | 地 材 | の | の | 工 | 学 | 学 | 学 | 2 | | |
| △ | 土 材 | の | の | 力 | 学 | 学 | 学 | 2 | | |
| △ | 土 流 | の | の | 力 | 学 | 学 | 学 | 2 | | |
| △ | 都 市 | の | の | 計 | 画 | 学 | 学 | 2 | | |
| △ | 土 環 | 境 | の | 力 | 学 | 学 | 学 | 2 | | |
| △ | 土 木 | 工 学 | セ | ミ | ナ | ー | 学 | 1 | | |
| △ | 土 木 | 工 学 | 実 | 験 | 講 | 義 | 学 | 2 | | |
| △ | 土 木 | 工 学 | 総 | 合 | 講 | 義 | 学 | 2 | | |
| △ | 土 木 | 工 学 | 実 | 験 | 講 | 義 | 学 | 2 | | |
| △ | 卒 業 | 研 究 | | | | | | 4 | | |
| ○ | 土 木 | 情 報 | 報 | 処 | 理 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 土 木 | 設 計 | 演 | 習 | 1 | ル | 学 | | 1 | |
| △ | 土 木 | ゼ | ミ | ナ | 一 | ル | 学 | | 1 | |
| △ | 土 木 | 設 計 | 演 | 習 | 2 | ル | 学 | | 1 | |
| △ | 土 木 | 計 画 | 概 | 論 | 概 | 論 | 学 | | 1 | |
| △ | プ ロ | ジ ャ | ク ト | 評 | 価 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 地 理 | 情 報 | シ | ス | テ | ム | 学 | | 2 | |
| △ | 都 市 | 整 | | | 備 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 地 下 | 施 設 | 工 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 維 持 | 管 理 | 工 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 地 盤 | 工 | | | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 水 交 | 通 | 工 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 鋼 構 | 造 | 工 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 地 震 | 防 災 | 工 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 地 震 | 防 災 | 工 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 土 木 | 構 造 | 物 | 概 | 論 | 学 | 学 | | 2 | |
| ○ | 測 量 | | | | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 都 市 | 防 災 | 工 | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 交 通 | シ ス | テ ム | 計 | 画 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 応 用 | 測 量 | | | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 空 間 | 情 報 | 科 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | マ テ | リ ア | ル | デ | ザ | イ | ン | | 2 | |
| △ | 景 観 | 工 | | | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 構 造 | 力 | 学 | 1 | | | | | 2 | |
| △ | コ ン | ク リ | ー ト | 構 | 造 | 学 | 学 | | 1 | |
| △ | 水 理 | 学 | | | 学 | 学 | 学 | | 1 | |
| △ | 土 木 | 計 画 | | | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 土 質 | 力 | | | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| ○ | 環 境 | シ ス | テ ム | 工 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 構 造 | 力 | 学 | 2 | | | | | 2 | |
| △ | コ ン | ク リ | ー ト | 構 | 造 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 水 理 | 学 | | | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | イ ン | タ | ー | ン | シ | ッ | プ | | 2 | |
| △ | パ ブ | リ ッ | ク | ・ | イ ン | ボ | ル | | 1 | |
| △ | 地 域 | 計 画 | 演 | 習 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 公 共 | 経 済 | 学 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 都 市 | 環 境 | 工 | 学 | 学 | 学 | 学 | | 2 | |
| △ | 測 量 | 学 | 実 | 習 | 1 | | | | 2 | |
| △ | 測 量 | 学 | 実 | 習 | 2 | | | | 2 | |
| △ | 学 外 | 体 験 | 学 | 習 | 1 | | | | 1 | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【土木工学科】

| | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---|------------------------------|----|----|-----|
| | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 | △ 構 造 力 学 演 習 学 | 1 | | |
| 門 | △ 橋 梁 工 学 学 | 3 | | |
| | 学 外 体 験 学 習 2 | 1 | | |
| | 地 理 情 報 シ ス テ ム 演 習 学 | 1 | | |
| | キ ャ リ ア 演 習 学 | 1 | | |
| | ○ 土 木 解 析 学 1 | 2 | | |
| | ○ 土 木 解 析 学 2 | 2 | | |
| | ○ 応 用 統 計 学 | 2 | | |
| | Lecture of Civil Engineering | | 2 | |
| | 調 査 分 析 演 習 学 | 1 | | |
| | デ イ ベ ー ト 演 習 学 | 1 | | |
| | 社 会 調 査 演 習 学 | 2 | | |
| | 環 境 計 画 演 習 学 | 2 | | |
| | 総 合 演 習 学 | 1 | | |
| 科 | △ 職 業 指 導 | | 2 | |
| 目 | ○ 代 数 学 | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 特 論 A | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 特 論 B | | 2 | |
| | ○ 幾 何 学 特 論 A | | 2 | |
| | ○ 幾 何 学 特 論 B | | 2 | |
| | ○ 解 析 学 | | 2 | |
| | ○ 解 析 学 | | 2 | |
| | ○ 確 率 統 計 学 | | 2 | |
| | ○ 数 理 統 計 学 | | 2 | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、△印は「工業」を示す。

別表3

授 業 科 目

工学部

全学共通科目群【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| ダイバーシティ入門 | | 2 | | |
| 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| Japanese Language I | | | 2 | |
| Japanese Language II | | | 2 | |
| Japanese Language III | | | 2 | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通数理科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 | |
|-------------------------------|------------------|-------------------------------|-----------|-----|-----|--|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | |
| 共 通 数 理 科 目 | 数 学 科 目 | 微 分 積 分 第 1 数学サポート（微分積分第1） | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 2 | 2 | | | |
| | | 微 分 積 分 第 3 | | 2 | | |
| | | 微 分 積 分 第 4 | | 2 | | |
| | | 線 形 代 数 第 1 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 2 | 1 | | | |
| | | 線 形 代 数 第 3 | | 1 | | |
| | | 線 形 代 数 第 4 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 1 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 2 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 3 | | 1 | | |
| | | 確 率 と 統 計 第 4 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 1 | | 1 | | |
| | | 偏 微 分 方 程 式 第 2 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 1 | | 1 | | |
| | | 関 数 論 第 2 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 1 | | 1 | | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 第 2 | | 1 | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 第 1 | | 1 | | | |
| | ラ プ ラ ス 変 換 第 2 | | 1 | | | |
| | フ ー リ エ 解 析 第 1 | | 1 | | | |
| | フ ー リ エ 解 析 第 2 | | 1 | | | |
| | 数 値 計 算 第 1 | | | 1 | | |
| | 数 値 計 算 第 2 | | | 1 | | |
| | 物 理 科 目 | 物 理 学 科 目 | 物 理 学 入 門 | 2 | | |
| 基 礎 力 学 | | | | 2 | | |
| 基 礎 力 学 演 習 物理学サポート（物理学入門） | | | | 2 | | |
| 物理学サポート（基礎力学） | | | | | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 | | | | 2 | | |
| 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 | | | | 2 | | |
| 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 | | | | 2 | | |
| 相 対 論 と 量 子 論 の 基 礎 演 習 | | | | 2 | | |
| 物 理 学 実 験 | | 2 | | | | |
| 化 学 科 目 | 化 学 科 目 | 基 礎 化 学 S | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 A | | | 2 | |
| | | 基 礎 化 学 B | 2 | | | |
| | | 基 礎 化 学 C | | | 2 | |
| | | 基 礎 環 境 化 学 | | | 2 | |
| | | 化 学 サ ポ ー ト | | | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 無 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 有 機 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 生 物 化 学 2 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 1 | | 1 | | |
| | | 基 礎 個 体 化 学 2 | | 1 | | |
| 化 学 実 験 | | 2 | | | | |

注) ※印は履修不可の科目を示す。

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：言語・情報系科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | | | 単 位 数 | | | 摘 要 | | |
|-------------------------|------|-----------|-------------------------|------|--------|-----|--|---|
| | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | | | |
| 言語・情報系科目 | 英語科目 | 英語上達科目 I | 【Reading & Writing】 | | | | | |
| | | | Reading & Writing I* | 2 | | | | |
| | | | Reading & Writing I | | | | | |
| | | | Reading IA | | 2 | | | |
| | | | Reading IB | | 2 | | | |
| | | | Writing IA | | 2 | | | |
| | | | Writing IB | | 2 | | | |
| | | | 【Speaking & Listening】 | | | | | |
| | | | Listening & Speaking I* | 2 | | | | |
| | | | Listening & Speaking I | | | | | |
| English Communication I | 2 | | | | | | | |
| Presentation I | 2 | | | | | | | |
| 【総 合】 | | | | | | | | |
| 英語総合IA | | 2 | | | | | | |
| 英語総合IB | | 2 | | | | | | |
| 工学英語IA | | 2 | | | | | | |
| 工学英語IB | | 2 | | | | | | |
| 【TOEIC演習科目】 | | | | | | | | |
| TOEIC IA | | 2 | | | | | | |
| TOEIC IB | | 2 | | | | | | |
| 言語・情報系科目 | 英語科目 | 英語上達科目 II | Reading II A | | 2 | | | |
| | | | Reading II B | | 2 | | | |
| | | | Writing II A | | 2 | | | |
| | | | Writing II B | | 2 | | | |
| | | | Presentation II | | 2 | | | |
| | | | Debate II A | | 2 | | | |
| | | | Debate II B | | 2 | | | |
| | | | TOEIC II | | 2 | | | |
| | | | 言語・情報系科目 | 情報科目 | 情報リテラシ | | | 1 |
| | | | | | 情報処理概論 | | | 2 |
| Java入門 | | | | | 3 | | | |
| Javaプログラミング | | | | | 3 | | | |
| C言語入門 | | | | | 3 | | | |
| C言語プログラミング | | | | | 3 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 文化 | 比 較 文 化 論 | | 2 | | |
| | 比 文 化 人 類 学 | | 2 | | |
| | 言 語 文 化 論 | | 2 | | |
| | 日 本 文 化 論 | | 2 | | |
| | 世 界 の 言 語 と 文 化 論 | | 2 | | |
| | ジ ェ ン ダ ー 論 | | 2 | | |
| 歴史学 | ア ジ ア 文 化 論 | | 2 | | |
| | 現 代 史 | | 2 | | |
| 芸術学 | 科 学 技 術 史 | | 2 | | |
| | 芸 術 学 | | 2 | | |
| 哲学・倫理学 | 哲 学 | | 2 | | |
| | 倫 理 学 | | 2 | | |
| | 生 命 倫 理 | | 2 | | |
| | 技 術 者 の 倫 理 学 | | 2 | | |
| 文学 | 科 学 技 術 倫 理 学 | | 2 | | |
| | 文 学 論 | | 2 | | |
| 心理学 | 文 学 表 現 法 | | 2 | | |
| | 社 会 心 理 学 | | 2 | | |
| 地理学 | 社 認 心 理 学 | | 2 | | |
| | 経 済 地 理 学 | | 2 | | |
| | 社 会 地 理 学 | | 2 | | |
| | 地 域 産 業 論 | | 2 | | |
| 政策学 | 地 域 の 調 査 と 分 析 | | 2 | | |
| | 現 代 日 本 の 地 方 自 治 | | 2 | | |
| 法学 | 法 学 入 門 | | 2 | | |
| | 知 的 財 産 法 | | 2 | | |
| | 日 本 国 憲 法 | | 2 | | |
| | 民 法 | | 2 | | |
| 経済学 | マ ク ロ 経 済 学 | | 2 | | |
| | ミ ク ロ 経 済 学 | | 2 | | |
| | 経 済 学 入 門 学 | | 2 | | |
| | 応 用 経 済 学 | | 2 | | |
| 社会学 | 社 会 学 | | 2 | | |
| | 地 域 社 会 学 | | 2 | | |
| 経営学 | 企 業 シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| 社会情報学 | 情 報 技 術 と 現 代 社 会 | | 2 | | |
| | 情 報 ア ク セ シ ビ リ テ ィ 論 | | 2 | | |
| | メ デ ィ ア リ テ ラ シ | | 2 | | |
| | 映 像 メ デ ィ ア 論 | | 2 | | |
| | 情 報 時 代 の 地 域 ・ 都 市 | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：人文社会系教養科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-------------|---------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| コミュニケーション | プレゼンテーション入門 | | 2 | | |
| | レポートライティング | | 2 | | |
| | 自己表現とコミュニケーション | | 2 | | |
| 社会と産 業技術 | 福 祉 と 技 術 | | 2 | | |
| | 科 学 技 術 の 社 会 学 | | 2 | | |
| 健康の 心身 | メンタルヘルス・マネジメント | | 2 | | |
| 教育 | 教 育 の 近 現 代 史 | | 2 | | |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | |
| | 生 徒 文 化 論 | | 2 | | |
| | 人 間 関 係 論 | | 2 | | |
| 現代の 本と世界 | クローバーセッション論 | | 2 | | |
| | 現 代 日 本 の 社 会 | | 2 | | |
| 環 境 | 環 境 学 入 門 | | 2 | | |
| | 人 間 社 会 と 環 境 問 題 | | 2 | | |
| | 環 境 経 済 学 | | 2 | | |
| | 生 物 と 環 境 の 保 全 | | 2 | | |
| | 生 産 と 消 費 の 環 境 論 | | 2 | | |
| | 地 域 環 境 マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | | |
| | 地 域 と 環 境 | | 2 | | |
| 総 合 | 人 文 社 会 演 習 1 | | 1 | | |
| | 人 文 社 会 演 習 2 | | 1 | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通健康科目【情報工学科】

| 授業科目名 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---|---------------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 理 論 | 健康科学論 A | | 2 | | |
| | 健康科学論 B | | 2 | | |
| | スポーツ社会学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ心理学 | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | |
| | エクササイズ演習（応用） | | 2 | | |
| | 体格・体力と健康（演習） | | 2 | | |
| | ヘルスコンディショニング演習 | | 2 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 2 | | |
| 身 体 的 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フ イ ッ ト ネ ス A | | 1 | | |
| | フ イ ッ ト ネ ス B | | 1 | | |
| | フライングディスク（テクニカル） | | 1 | | |
| | フライングディスク（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（テクニカル） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | スキー（テクニカル） | | 1 | | |
| | スキー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フラッグフットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | フラッグフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| ゴルフ（テクニカル） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | | |
| ゴルフ（スポーツコミュニケーションアドバンス） | | 1 | | | |

授 業 科 目

工学部

共通・教養科目群：共通工学系教養科目【情報工学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 機 械 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 視 覚 と 照 明 | | 2 | | |
| 情 報 工 学 概 論 | | | 2 | |
| 材 料 化 学 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 塗 料 ・ 塗 装 工 学 概 論 | | 2 | | |
| 安 全 性 工 学 概 論 | | 2 | | |
| エレクトロニクス科学史 | | 2 | | |
| 現 代 生 物 学 | | 2 | | |
| 宇 宙 空 間 科 学 | | 2 | | |
| エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 論 | | 2 | | |
| 産 業 技 術 論 | | 2 | | |
| 産学・地域連携プロジェクト | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 1 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 2 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 3 | | 2 | | |
| 国 際 イン タ ー ン シ ッ プ 4 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 1 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 2 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 3 | | 2 | | |
| グ ロ ー バ ル PBL 4 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL1 | | 2 | | |
| 受 入 型 グ ロ ー バ ル PBL2 | | 2 | | |

※ 学科課程外科目「学外英語検定」(2単位)、「工学英語研修1」(1単位)、「工学英語研修2」(1単位)、「工学英語研修3」(1単位)、「工学英語研修4」(1単位)、「海外語学演習1」(2単位)、「海外語学演習2」(2単位)、「海外語学演習3」(2単位)、「海外語学演習4」(2単位)は、卒業要件に算入されます。

授 業 科 目

工学部

専門科目群【情報工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---|--|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | <input type="checkbox"/> コンピュータ科学序説 | 2 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 情報工学通論 | 2 | | | |
| | <input type="radio"/> 離散数学 1 | 2 | | | |
| | <input type="radio"/> 離散数学 2 | | 2 | | |
| | <input type="triangle-up"/> プログラミング入門 1 | 2 | | | |
| | <input type="triangle-up"/> プログラミング入門 2 | 2 | | | |
| | <input type="checkbox"/> コンピュータアーキテクチャ 1 | 2 | | | |
| | <input type="checkbox"/> コンピュータアーキテクチャ 2 | | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 形式言語とオートマトン | | | 2 | |
| | <input type="radio"/> 確率論と情報理論 | | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 数理論理学 | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> 論理回路 | | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 情報倫理 | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> 信号処理 | | | 2 | |
| | <input type="radio"/> データ構造とアルゴリズム 1 | 2 | | | |
| | <input type="radio"/> データ構造とアルゴリズム 2 | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> 基礎情報演習 1 A | 2 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 基礎情報演習 1 B | 1 | | | |
| | <input type="triangle-up"/> 基礎情報演習 2 A | 2 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 基礎情報演習 2 B | 2 | | | |
| | <input type="triangle-up"/> プログラミング言語論 | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> コンパイル | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> H. C. インタラクション 1 | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> H. C. インタラクション 2 | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> コンピュータ通信 | | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 人工知能 | | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> オペレーティングシステム | | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> デジタルメディア処理 1 | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> デジタルメディア処理 2 | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> マーケティング | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> ソフトウェア工学 2 | | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 情報ネットワーク | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> 自然言語処理 | | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> 集積回路工学 | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> 高度情報演習 1 A | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> 高度情報演習 1 B | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> 高度情報演習 2 A | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> 高度情報演習 2 B | | | 2 | |
| | <input type="triangle-up"/> 高度情報演習 2 C | | | 2 | |
| | <input type="checkbox"/> データベース | | | 2 | |
| <input type="triangle-up"/> システムプログラミング | | | 2 | | |
| <input type="triangle-up"/> 上級プログラミング 1 | | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> 上級プログラミング 2 | | | 2 | | |
| <input type="radio"/> 応用数学 | | | 2 | | |
| <input type="radio"/> 数値計算法 | | | 2 | | |
| <input type="radio"/> 数理計画法 | | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> ソフトウェア工学 1 | | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> パター 인식 | | | 2 | | |
| <input type="radio"/> データ解析法 | | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> 情報工学実習 | | | 1 | | |
| <input type="checkbox"/> コンピュータグラフィックス | | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> 組込みシステム | | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> 音響・音声処理工学 | | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> 情報セキュリティ | | | 2 | | |
| <input type="checkbox"/> 情報工学英語 | | | 2 | | |

授 業 科 目

工学部

専門科目群【情報工学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|-------------------------------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | Exercise on Operating Systems | | 1 | | 「職業指導」以下に列記してある科目は、 教職課程における必修科目とする。 ただし、代数学特論、幾何学特論のみ 選択科目とする。 |
| | Interaction Design | | 2 | | |
| | 卒 研 プ レ ゼ ミ ナ ー ル | | 2 | | |
| | 卒 業 研 究 1 | 2 | | | |
| | 卒 業 研 究 2 | 2 | | | |
| | △ 職 業 指 導 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 A | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 B | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 特 論 | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 学 A | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 学 B | | | 2 | |
| | ○ 幾 何 学 特 論 | | | 2 | |
| | ○ 解 析 学 | | | 2 | |
| ○ 確 率 論 | | | 2 | | |
| ○ 数 理 統 計 学 | | | 2 | | |
| □ 情 報 工 業 | | | 2 | | |

(備 考)

授業科目中の○印は教職に関する教科専門科目「数学」を、□印は「情報」を、△印は「工業」を示す。

授 業 科 目

工学部

【教職課程】

工学部 機械工学科 機械機能工学科 材料工学科 応用化学科 電気工学科 通信工学科
電子工学科 土木工学科 建築学科 建築工学科 情報工学科

| 授 業 科 目 | 単位数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-----------------|----|----|-----------------|
| | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 教職に関する科目 | 教 職 論 | | 2 | |
| | 教 育 原 論 | | 2 | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 教 育 の 近 現 代 史 | | 2 | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 生 徒 文 化 論 | | 2 | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 人 間 関 係 論 | | 2 | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | 共通・教養科目群 総合分野科目 |
| | 教 育 課 程 論 | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 1 | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 2 | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 3 | | 2 | |
| | 数 学 科 指 導 法 4 | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 1 | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 2 | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 3 | | 2 | |
| | 理 科 指 導 法 4 | | 2 | |
| | 情 報 科 指 導 法 1 | | 2 | |
| | 情 報 科 指 導 法 2 | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 1 | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 2 | | 2 | |
| | 道 徳 教 育 の 研 究 | | 2 | |
| | 特 別 活 動 の 研 究 | | 2 | |
| | 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | | 2 | |
| | 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | | 2 | |
| | 教 育 相 談 論 | | 2 | |
| | 事 前 ・ 事 後 指 導 | | 1 | |
| 教 育 実 習 1 | | 2 | | |
| 教 育 実 習 2 | | 2 | | |
| 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | | 2 | | |
| 道 徳 教 育 の 研 究 | | | 2 | 高等学校免許状の課程のみ適用 |
| 教科又は教職に関する科目 | | | | |

教育職員免許状の種類・専門科目及び単位数

1. 教育職員免許状の種類・教科

| 学 部 | 学 科 名 | 免 許 状 の 種 類 | 教 科 名 |
|-------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|
| 工 学 部 | 機 械 工 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 工 業 |
| | 機 械 機 能 工 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 工 業 |
| | 材 料 工 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 工 業 |
| | 応 用 化 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 理 科 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 理 科 ・ 工 業 |
| | 電 気 工 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 工 業 |
| | 通 信 工 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 情 報 ・ 工 業 |
| | 電 子 工 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 工 業 |
| | 土 木 工 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 工 業 |
| | 建 築 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 工 業 |
| | 建 築 工 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 |
| | | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 工 業 |
| 情 報 工 学 科 | 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 | |
| | 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 数 学 ・ 情 報 ・ 工 業 | |

2. 教員免許状取得に要する教科別単位数

| 所 要 免 許 状 の 種 類 | 基 礎 資 格 | 専 門 教 育 科 目 の 最 低 単 位 数 | | | | |
|--------------------------|---|-------------------------|-------|-------------------|--------------------------------|---------|
| | | 教 科 に 関 する 科 目 | | 教 職 に 関 する 科 目 | 教 科 ま た は 教 職 に 関 する 科 目 | |
| | | 教 科 名 | 単 位 数 | | | |
| 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 | } それぞれ 2 単位 取得を要する | 数 学 | 2 0 単 位 以 上 | 3 5 単 位 | 8 単 位 |
| | | | 理 科 | 2 0 単 位 以 上 | | |
| 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | 学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 | } それぞれ 2 単位 取得を要する | 数 学 | 2 0 単 位 以 上 | 2 7 単 位 | 1 2 単 位 |
| | | | 理 科 | 2 0 単 位 以 上 | | |
| | | | 情 報 | 2 0 単 位 以 上 | | |
| | | | 工 業 | 2 0 単 位 以 上 | | |

3. 教職に関する専門教育科目及び単位数

| 授業科目名 | 資格・教科 | | 中学校教諭1種免許状 | | | | 高等学校教諭1種免許状 | | | |
|-------------|-------|-----|------------|-----|-----|-----|-------------|----|-----|----|
| | 数学 | 理科 | 数学 | 理科 | 情報 | 工業 | 数学 | 理科 | 情報 | 工業 |
| 教職論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 教育原論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 教育の近現代史 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 教育心理学 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 教育社会学 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 教育課程論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 数学科指導法1 | 2単位 | | 2単位 | | | | | | | |
| 数学科指導法2 | 2単位 | | 2単位 | | | | | | | |
| 数学科指導法3 | 2単位 | | 2単位 | | | | | | | |
| 数学科指導法4 | 2単位 | | 2単位 | | | | | | | |
| 理科指導法1 | | 2単位 | | 2単位 | | | | | | |
| 理科指導法2 | | 2単位 | | 2単位 | | | | | | |
| 理科指導法3 | | 2単位 | | 2単位 | | | | | | |
| 理科指導法4 | | 2単位 | | 2単位 | | | | | | |
| 情報科指導法1 | | | | | 2単位 | | | | | |
| 情報科指導法2 | | | | | 2単位 | | | | | |
| 工業科指導法1 | | | | | | | | | 2単位 | |
| 工業科指導法2 | | | | | | | | | 2単位 | |
| 道徳教育の研究 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 特別活動の研究 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 教育方法・技術論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 生徒・進路指導論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 生徒文化論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 教育相談論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 人間関係論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 事前・事後指導 | 1単位 | 1単位 | 1単位 | 1単位 | 1単位 | 1単位 | | | | |
| 教育実習1 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 教育実習2 | 2単位 | 2単位 | | | | | | | | |
| 教職実践演習(中・高) | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | | | | |

4. 免許教科並びに教科に関する専門教育科目及び単位数

| 教科名 | 教科専門科目名 | 修得単位数 | |
|--------|--------------------------------------|------------|-------------|
| | | 中学校教諭1種免許状 | 高等学校教諭1種免許状 |
| 数 学 | 代数学 | 計20単位以上 | 計20単位以上 |
| | 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ | | |
| 理 科 | 物理学 | 計20単位以上 | 計20単位以上 |
| | 化学 | | |
| | 生物学 | | |
| | 物理学実験 | | |
| | 化学実験 生物学実験 地学実験 | | |
| 情 報 | 情報社会及び情報倫理 | 計20単位以上 | 計20単位以上 |
| | コンピュータ及び情報処理 | | |
| | 情報システム | | |
| | 情報通信ネットワーク マルチメディア表現及び技術 情報と職業 | | |
| 工 業 | 職業指導 | 2単位 | 20単位以上 |
| | 関係科目 計 | 18単位 | |

別表 4

授 業 科 目

システム理工学部

【全学科共通】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|----------------------------|-----------------------|-----|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 全 学 共 通 科 目 | ダイバーシティ入門 | | 2 | | |
| | 芝浦工業大学通論 | | 2 | | |
| | Japanese Language I | | | 2 | |
| | Japanese Language II | | | 2 | |
| | Japanese Language III | | | 2 | |

別表 4

授 業 科 目

システム理工学部

【各学科共通】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|------------------|--------------|---------------|----|----|---|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 総 合 科 目 | エンジニアリテラシー科目 | 社会ニーズ調査概論 | 2 | | 総合科目より外国語科目を除き、 エンジニアリテラシー科目より4単位以上、 社会科学系科目より4単位以上、 人文科学系科目より4単位以上、 保健・体育系科目より2単位以上を含む 18単位以上を取得する。 □…教科に関する科目(情報) |
| | | 社会ニーズ調査技法 | 2 | | |
| | | 社会ニーズ分析 | 2 | | |
| | | システムとは | 2 | | |
| | | 論理的問題解決法 | 2 | | |
| | | ソーシャル・イノベーション | 2 | | |
| | | プレゼンテーション論 | 2 | | |
| | | 文章論 | 2 | | |
| | | 科学技術史 | 2 | | |
| | | 科学技術と社会 | 2 | | |
| | | SIT Buddy | | 1 | |
| | | 行政学 | 2 | | |
| | | 政治学 | 2 | | |
| | | 社会福祉論 | 2 | | |
| | | □情報社会と法 | 2 | | |
| | | 日本国憲法 | 2 | | |
| | | 経済学Ⅰ | 2 | | |
| | | 経済学Ⅱ | 2 | | |
| | | 経営行動科学 | 2 | | |
| | | 経営戦略論 | 2 | | |
| | | マーケティング論 | 2 | | |
| | | 先端技術とビジネス | 2 | | |
| | | 社会学概論 | 2 | | |
| | | 生徒文化論 | 2 | | |
| | | 教育社会学 | 2 | | |
| | | 人間と環境Ⅰ | 2 | | |
| | | 人間と環境Ⅱ | 2 | | |
| | | 哲学Ⅰ | 2 | | |
| | | 哲学Ⅱ | 2 | | |
| | | 倫理学 | 2 | | |
| | 生命倫理概論 | 2 | | | |
| | □技術者と倫理 | 2 | | | |
| | 日本史A | 2 | | | |
| | 日本史B | 2 | | | |
| | 世界史A | 2 | | | |
| | 世界史B | 2 | | | |
| | 国際デザイン史 | 2 | | | |
| | 認知心理学 | 2 | | | |
| | 組織心理学 | 2 | | | |
| | 教育原論 | 2 | | | |
| | 教育心理学 | 2 | | | |
| | 教育の近代史 | 2 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【各学科共通】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 | | | | |
|--|-------------|-----------------|-----------|---------------------------|-----|--|---|--|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | | | | | |
| 総 | 保健・体育系科目 | 体育実技(フライングディスク) | | 1 | | *外国語の科目は、2カ国語以上を修得し、 そのうち英語は8単位以上、 計10単位以上を取得する。 | | | |
| | | 体育実技(テニス) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(卓球) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(バドミントン) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(ソフトボール) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(バレーボール) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(バスケットボール) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(ゴルフⅠ) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(ゴルフⅡ) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(スキー) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(フットサル) | | 1 | | | | | |
| | | 体育実技(軟式野球) | | 1 | | | | | |
| | | ライフサイエンス | | 2 | | | | | |
| | | からだの仕組みと運動 | | 2 | | | | | |
| | | 身体運動のメカニズム | | 2 | | | | | |
| | | 健康科学論 A | | 2 | | | | | |
| | | 健康科学論 B | | 2 | | | | | |
| | | 合 | 外国語科目(英語) | English Basic Skills I * | | | 2 | | |
| | | | | English Basic Skills II * | | | 2 | | |
| English Advanced Skills I * | | | | 2 | | | | | |
| English Advanced Skills II * | | | | 2 | | | | | |
| English Remedial Course I | | | | | 2 | | | | |
| English Remedial Course II | | | | | 2 | | | | |
| English for Science and Technology I * | | | | 2 | | | | | |
| English for Science and Technology II * | | | | 2 | | | | | |
| 理工系英語プレゼンテーション * | | | | 2 | | | | | |
| 語学検定対策講座 * | | | | 2 | | | | | |
| 海外英語研修Ⅰ * | | | | 2 | | | | | |
| 海外英語研修Ⅱ * | | | | 2 | | | | | |
| 学外英語検定Ⅰ * | | | | 2 | | | | | |
| 学外英語検定Ⅱ * | | | | 2 | | | | | |
| 海外短期理工学英語研修Ⅰ * | | | | 1 | | | | | |
| 海外短期理工学英語研修Ⅱ * | | | | 1 | | | | | |
| 目 | 外国語科目(英語以外) | | | ドイツ語Ⅰ * | | 2 | | | |
| | | ドイツ語Ⅱ * | | 2 | | | | | |
| | | 中国語Ⅰ * | | 2 | | | | | |
| | | 中国語Ⅱ * | | 2 | | | | | |
| | | 韓国語(朝鮮語)Ⅰ * | | 2 | | | | | |
| | | 韓国語(朝鮮語)Ⅱ * | | 2 | | | | | |
| | | フランス語Ⅰ * | | 2 | | | | | |
| | | フランス語Ⅱ * | | 2 | | | | | |
| | | スペイン語Ⅰ * | | 2 | | | | | |
| | | スペイン語Ⅱ * | | 2 | | | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【電子情報システム学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|---|-------------------------------|-----|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎 | ○ 数 学 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) |
| | ○ 数 学 I 演 習 | | 1 | | |
| | ○ 数 学 II | | 2 | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | | 2 | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | 2 | | | |
| | ○ 数 値 解 析 | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 I | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 | | 2 | | |
| | ○ 一 般 力 学 I | 2 | | | |
| | ○ 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 I | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 II | | 2 | | |
| | ○ 生 物 学 I | | 2 | | |
| | ○ 生 物 学 II | | 2 | | |
| | ○ 化 学 I | | 2 | | |
| | ○ 化 学 II | | 2 | | |
| ○ 現 代 物 理 学 概 論 | | 2 | | | |
| ○ Introduction to Electromagnetism | | 2 | | | |
| シ ス テ ム ・ 情 報 科 目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) □…教科に関する科目(情報) |
| | □ 情 報 処 理 II | 2 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 I | 1 | | | |
| | □ 情 報 処 理 演 習 II | 1 | | | |
| | △ システム工学A(システム計画方法論) | 2 | | | |
| | △ システム工学B(数理計画法) | 2 | | | |
| | △ システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | 2 | | |
| | △ システム工学演習 A | 1 | | | |
| | △ システム工学演習 B | 1 | | | |
| | △ システム工学演習 C | | 2 | | |
| | ○ 創 造 的 機 械 シ ス テ ム 概 論 | | 2 | | |
| | ○ 環 境 シ ス テ ム 概 論 | | 2 | | |
| | ○ 生 命 科 学 概 論 | | 2 | | |
| | ○ 社 会 と 数 理 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マ ネ ジ ム ン ト シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マ ネ ジ ム ン ト シ ス テ ム 演 習 | | 2 | | |
| | △ マ ネ ジ ム ン ト 技 術 | | 2 | | |
| | △ エ コ ラ イ フ と 社 会 シ ス テ ム | | 2 | | |
| | △ 信 頼 性 工 学 | | 2 | | |
| | △ 人 間 工 学 | | 2 | | |
| ○ 関 係 の 数 理 | | 2 | | | |
| ○ 社 会 統 計 解 析 | | 2 | | | |
| ○ 社 会 シ ス テ ム 科 学 概 論 | | 2 | | | |
| ○ 社 会 と 自 然 の モ デ ル 分 析 | | 2 | | | |
| ○ リ ス ク マ ネ ジ ム ン ト | | 2 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【電子情報システム学科】

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 適 用 |
|---|-----|----|--|
| | 必修 | 選択 | |
| Introduction to Embedded Programming (International Training) | | 2 | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) □…教科に関する科目(情報) |
| ○ 計算機アーキテクチャ | | 2 | |
| ○ 離散数学 | 2 | | |
| □ データ構造とアルゴリズム I | 2 | | |
| データ構造とアルゴリズム II | | 2 | |
| □ フロク・ラミング・演習 I | | 1 | |
| □ オブジェクト指向プログラミング I | | 2 | |
| □ オブジェクト指向プログラミング II | | 2 | |
| □ フロク・ラミング・演習 II | | 1 | |
| Embedded Systems | | 2 | |
| □ データベース | | 2 | |
| □ ソフトウェア設計論 | | 2 | |
| □ オペレーティングシステム | | 2 | |
| □ 言語処理系 | | 2 | |
| □ 人工知能基礎 | | 2 | |
| Computer Simulation | | 2 | |
| □ 自然言語処理 | | 2 | |
| □ パターン認識 | | 2 | |
| Programming Language Processor | | 2 | |
| □ CG・画像処理基礎 | | 2 | |
| □ 情報通信基礎 | 2 | | |
| □ 通信網工学 | | 2 | |
| △ 計測工学 | | 2 | |
| □ 情報理論 | 2 | | |
| △ コミュニケーションシステム | | 2 | |
| □ インターネット基礎 | | 2 | |
| △ 電子計測 | | 2 | |
| ○ 信号解析 | | 2 | |
| □ 画像情報処理 | | 2 | |
| □ ワイヤレス通信工学 | | 2 | |
| ○ グラフ理論とネットワーク | | 2 | |
| □ 情報ネットワーク | | 2 | |
| ○ デジタル信号処理 | | 2 | |
| 宇宙観測技術 | | 2 | |
| □ 符号理論 | | 2 | |
| Information Communication Technology | | 2 | |
| △ 電気回路 I | 2 | | |
| △ 電気回路 II | | 2 | |
| △ 電気磁気学 I | | 2 | |
| △ 電気磁気学 II | | 2 | |
| □ 論理回路 | 2 | | |
| □ 論理回路演習 | | 1 | |
| △ 電子回路 I | | 2 | |
| △ 電子回路 II | | 2 | |
| △ 回路工学演習 | | 1 | |
| ○ 回路理論 | | 2 | |
| システム制御 | | 2 | |
| △ LSI 設計基礎 | | 2 | |
| △ 半導体基礎 | | 2 | |
| △ 半導体工学 | | 2 | |
| △ 電子デバイス | | 2 | |
| △ LSI 設計 CAD | | 2 | |
| △ LSI 設計演習 | | 1 | |
| △ 電子情報基礎実験 | | 2 | |
| Modern Control Theory | | 2 | |
| 電子情報システム総論 | 2 | | |
| △ 情報実験 I | | 2 | |
| △ 情報実験 II | | 2 | |
| △ 電子情報実験 I | | 2 | |
| △ 電子情報実験 II | | 2 | |
| テクニカルセミナー | | 1 | |
| 海外技術実習 | | 2 | |
| 国際電子情報システム実験 I | | 2 | |
| 国際電子情報システム実験 II | | 2 | |
| Recent Trends on Electronic Systems | | 2 | |
| Recent Trends on Information Systems | | 2 | |
| 総合研究 I | 4 | | |
| 総合研究 II | 4 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【機械制御システム学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|-----------------------|------------------------------------|-----|----|----|----------------------------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎 | ○ 数 学 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) |
| | ○ 数 学 I 演 習 | | 1 | | |
| | ○ 数 学 II | | 2 | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | | 2 | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | 2 | | | |
| | ○ 数 値 解 析 | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 I | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 | | 2 | | |
| | ○ 一 般 力 学 I | 2 | | | |
| | ○ 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 I | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 II | | 2 | | |
| | ○ 生 物 学 I | | 2 | | |
| | ○ 生 物 学 II | | 2 | | |
| | ○ 化 学 I | | 2 | | |
| | ○ 化 学 II | | 2 | | |
| | ○ 現 代 物 理 学 概 論 | | 2 | | |
| | ○ Introduction to Electromagnetism | | 2 | | |
| システム・情報科目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) |
| | ○ 情 報 処 理 II | 2 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 I | 1 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 II | 1 | | | |
| | △ システム工学A(システム計画方法論) | 2 | | | |
| | △ システム工学B(数理計画法) | 2 | | | |
| | △ システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | 2 | | |
| | △ システム工学演習A | 1 | | | |
| | △ システム工学演習B | 1 | | | |
| | △ システム工学演習C | | 2 | | |
| | △ 創 意 的 電 子 ・ 情 報 システム 概 論 | | 2 | | |
| | △ 環 境 システム 概 論 | | 2 | | |
| | △ 生 命 科 学 概 論 | | 2 | | |
| | △ 社 会 と 数 理 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マネジメントシステム 論 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マネジメントシステム 演 習 | | 2 | | |
| | △ マネジメント 技 術 | | 2 | | |
| | △ エコライフと社会システム | | 2 | | |
| | △ 信 頼 性 工 学 | | 2 | | |
| | △ 人 間 工 学 | | 2 | | |
| △ 関 係 の 数 理 | | 2 | | | |
| △ 社 会 統 計 解 析 | | 2 | | | |
| △ 社 会 システム 科 学 概 論 | | 2 | | | |
| △ 社 会 と 自 然 の モデル 分 析 | | 2 | | | |
| △ リスク マネジメント | | 2 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【機械制御システム学科】

| | 授 業 科 目 | 単位数 | | 適 用 |
|-------------------------------|--|-----|----|----------------------------------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専 門 科 目 | △ 機 械 力 学 | 2 | | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) |
| | ○ 振 動 工 学 | 2 | | |
| | 材 料 力 学 I | 2 | | |
| | △ 材 料 力 学 II | | 2 | |
| | △ 流 れ 学 I | 2 | | |
| | △ 流 れ 学 II | | 2 | |
| | △ 熱 力 学 I | 2 | | |
| | △ 熱 力 学 II | | 2 | |
| | △ 機 械 工 学 実 験 I | | 2 | |
| | △ 機 械 工 学 実 験 II | | 2 | |
| | 数 値 流 体 力 学 概 論 | | 2 | |
| | ○ 機 械 シ ス テ ム 基 礎 数 学 | | 2 | |
| | △ 計 測 工 学 | | 2 | |
| | △ 基 礎 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス Introduction to Control Engineering | | 2 | |
| | ○ 制 御 工 学 I Basic Control Engineering | 2 | | |
| | ○ 制 御 工 学 II | | 2 | |
| | △ 制 御 工 学 III | | 2 | |
| | ○ 計 測 制 御 演 習 | | 1 | |
| | △ 機 構 学 | 2 | | |
| | △ 機 械 要 素 | 2 | | |
| | 機 械 材 料 学 | | 2 | |
| | △ 加 工 工 学 | | 2 | |
| | △ 機 械 製 図 法 | 2 | | |
| | 基 礎 製 図 | 2 | | |
| | 設 計 製 図 | 2 | | |
| | △ 応 用 設 計 | | 2 | |
| | △ 応 用 設 計 演 習 | | 1 | |
| | △ 機 械 工 学 実 習 Robotics Overview -Current and Future | 2 | | |
| | △ ロ ボ ッ ト 工 学 概 論 Introduction to Embedded Programming (International Training) | | 2 | |
| | メ カ ト ロ ニ ッ ク ス I | 2 | | |
| | メ カ ト ロ ニ ッ ク ス II | 2 | | |
| | △ 自 動 車 工 学 | 2 | | |
| | △ ロ ボ テ ィ ク ス 感 覚 と 運 動 シ ス テ ム Introduction of Bioengineering | 2 | | |
| | Assistive Technology | 2 | | |
| | Biomedical Measurements | 2 | | |
| | 工 業 デ ザ イン 概 論 | 2 | | |
| | デ ザ イン エ ル ゴ ノ ミ ク ス | 2 | | |
| | 工 業 デ ザ イン 演 習 | 2 | | |
| | △ 創 生 設 計 | 2 | | |
| | △ 創 生 設 計 演 習 | 1 | | |
| | デ ジ タ ル エ ン ジ ニ ア リ ン グ | 2 | | |
| | △ 伝 熱 工 学 | 2 | | |
| △ エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 工 学 | 2 | | | |
| 機 械 機 能 材 料 | 2 | | | |
| △ も の づ く り 工 学 | 2 | | | |
| エ ン ジ ニ ア リ ン グ ・ フ ラ ク テ イ ス | 1 | | | |
| 機 械 シ ス テ ム セ ミ ナ ー | 2 | | | |
| 総 合 研 究 I | 4 | | | |
| 総 合 研 究 II | 4 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【環境システム学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|-------------------------------|--|-------------|----|----|----------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎 | ○ 数 学 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) |
| | ○ 数 学 I 演 習 | | 1 | | |
| | ○ 数 学 II | | 2 | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | | 2 | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ○ 数 値 解 析 | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 I | | 2 | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 | | 2 | | |
| | ○ 一 般 力 学 I | | 2 | | |
| | ○ 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 I | | 2 | | |
| | ○ 物 理 学 II | | 2 | | |
| | ○ 生 物 学 I | | 2 | | |
| | ○ 生 物 学 II | | 2 | | |
| | ○ 化 学 I | | 2 | | |
| | ○ 化 学 II | | 2 | | |
| | ○ 現 代 物 理 学 概 論 Introduction to Electromagnetism | | 2 | | |
| | シ ス テ ム ・ 情 報 科 目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | |
| ○ 情 報 処 理 II | | 2 | | | |
| ○ 情 報 処 理 演 習 I | | 1 | | | |
| ○ 情 報 処 理 演 習 II | | 1 | | | |
| △ システム工学A(システム計画方法論) | | 2 | | | |
| △ システム工学B(数理計画法) | | 2 | | | |
| △ システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | | 2 | | |
| △ システム工学演習A | | 1 | | | |
| △ システム工学演習B | | 1 | | | |
| △ システム工学演習C | | | 2 | | |
| ○ 創 意 的 学 習 | | | 2 | | |
| ○ 電 子 ・ 情 報 シ ス テ ム 概 論 | | | 2 | | |
| ○ 機 械 シ ス テ ム 概 論 | | | 2 | | |
| ○ 生 命 科 学 概 論 | | | 2 | | |
| ○ 社 会 と 数 理 | | | 2 | | |
| △ 環 境 マ ネ ジ ム ン ト シ ス テ ム 論 | | | 2 | | |
| △ 環 境 マ ネ ジ ム ン ト シ ス テ ム 演 習 | | | 2 | | |
| △ マ ネ ジ ム ン ト 技 術 | | | 2 | | |
| △ エ コ ラ イ フ と 社 会 シ ス テ ム | | | 2 | | |
| △ 信 頼 性 工 学 | | | 2 | | |
| △ 人 間 工 学 | | | 2 | | |
| ○ 関 係 の 数 理 | | | 2 | | |
| ○ 社 会 統 計 解 析 | | 2 | | | |
| ○ 社 会 シ ス テ ム 科 学 概 論 | | 2 | | | |
| ○ 社 会 と 自 然 の モ デ ル 分 析 | | 2 | | | |
| ○ リ ス ク マ ネ ジ ム ン ト | | 2 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【環境システム学科】

| | 授 業 科 目 | 単位数 | | 適 用 |
|---|---|-----|----|---|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専 門 科 目 | △ 環 境 シ ス テ ム 入 門 | | 2 | *専門科目のうち、3年次の演習・実験科目から、 前期1科目以上、後期1科目以上、計2科目以上を 履修し、単位を取得しなければならない。 ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) |
| | ○ 基 礎 実 技 * | 1 | | |
| | 海 外 環 境 フ ィ ー ル ド 実 習 | | 2 | |
| | Basic Environmental Studies 1 | | 2 | |
| | Basic Environmental Studies 2 | | 2 | |
| | △ 環 境 工 学 実 験 * | | 2 | |
| | 建 設 事 業 制 度 | | 2 | |
| | △ 環 境 シ ス テ ム 応 用 演 習 A | | 2 | |
| | △ 環 境 シ ス テ ム 応 用 演 習 B | | 2 | |
| | △ 環 境 シ ス テ ム 総 論 | 2 | | |
| | 建 設 プ ロ ジ ェ ク ト マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | |
| | International Workshop on Environmental Planning and Design | | 2 | |
| | 社 会 実 習 I | | 1 | |
| | 社 会 実 習 II | | 2 | |
| | 総 合 研 究 I | 4 | | |
| | 総 合 研 究 II | 4 | | |
| | Environmental Research Seminar 1 | | 2 | |
| | Environmental Research Seminar 2 | | 2 | |
| | △ 建 築 史 | | 2 | |
| | △ 建 築 計 画 基 礎 | 2 | | |
| | ○ 建 築 設 計 情 報 演 習 | | 2 | |
| | 建 築 デ ジ タ ル デ ザ イン | | 2 | |
| | △ 居 住 環 境 デ ザ イン | | 2 | |
| | △ 居 住 環 境 デ ザ イン 演 習 * | | 2 | |
| | △ 近 ・ 現 代 建 築 論 | | 2 | |
| | △ 建 築 構 造 基 礎 | 2 | | |
| | 建 築 構 造 解 析 | | 2 | |
| | 不 静 定 構 造 の 解 析 | | 2 | |
| | △ 建 築 構 造 設 計 | | 2 | |
| | △ 建 築 構 造 シ ス テ ム 演 習 * | | 1 | |
| | 建 築 材 | | 2 | |
| | 建 築 生 産 ・ 施 工 | | 2 | |
| | △ 都 市 及 び 都 市 計 画 史 | | 2 | |
| | 都 市 計 画 基 礎 | 2 | | |
| | 都 市 計 画 演 習 | | 1 | |
| | △ 開 発 計 画 論 | | 2 | |
| | △ 土 地 利 用 計 画 演 習 | | 2 | |
| | △ 都 市 ・ 地 域 シ ス テ ム 計 画 | | 2 | |
| | △ 交 通 シ ス テ ム 計 画 | | 2 | |
| | Planning for Community resilience | | 2 | |
| ○ 環 境 シ ス テ ム 解 析 演 習 | | 1 | | |
| 環 境 政 策 論 | | 2 | | |
| 環 境 教 育 ・ 市 民 活 動 論 | | 2 | | |
| △ 都 市 環 境 管 理 | | 2 | | |
| △ 資 源 ・ エ ネ ル キ ー シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| 都 市 住 宅 論 | | 2 | | |
| △ 都 市 環 境 デ ザ イン | 2 | | | |
| △ 都 市 環 境 デ ザ イン 演 習 * | | 2 | | |
| 建 築 ・ 都 市 法 規 | | 2 | | |
| 建 築 ・ 環 境 デ ザ イン | | 2 | | |
| 建 築 ・ 環 境 デ ザ イン 演 習 | | 2 | | |
| △ 環 境 フ ィ ー ル ド 実 習 | | 2 | | |
| 都 市 基 盤 工 学 基 礎 | | 2 | | |
| △ 景 観 ・ 環 境 デ ザ イン | | 2 | | |
| △ 都 市 環 境 基 盤 計 画 | 2 | | | |
| Environmentally Sustainable Engineering | | 2 | | |
| Environmentally Sustainable Analysis | | 2 | | |
| Environmental Land Use Planning | | 2 | | |
| Environmental Field Survey 1 | | 1 | | |
| Environmental Field Survey 2 | | 1 | | |
| △ 建 築 環 境 工 学 | 2 | | | |
| 建 築 設 備 学 | | 2 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【生命科学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|--|-------------------------|-----|----|----|----------------------------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎 | ○ 数 学 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) ☆…教科に関する科目(理科) |
| | ○ 数 学 I 演 習 | | 1 | | |
| | ○ 数 学 II | | 2 | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | | 2 | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | | 2 | | |
| | ○ 数 値 解 析 | | 2 | | |
| | ○ 解 析 学 I | | 2 | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 | | 2 | | |
| | 一 般 力 学 I | | 2 | | |
| | ☆ 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | ☆ 物 理 学 I | | 2 | | |
| | ☆ 物 理 学 II | | 2 | | |
| | ☆ 生 物 学 I | | 2 | | |
| | ☆ 生 物 学 II | | 2 | | |
| | ☆ 化 学 I | | 2 | | |
| | ☆ 化 学 II | | 2 | | |
| 現 代 物 理 学 概 論 Introduction to Electromagnetism | | 2 | | | |
| シ ス テ ム ・ 情 報 科 目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) △…教科に関する科目(工業) |
| | ○ 情 報 処 理 II | 2 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 I | 1 | | | |
| | ○ 情 報 処 理 演 習 II | 1 | | | |
| | △ システム工学A(システム計画方法論) | 2 | | | |
| | △ システム工学B(数理計画法) | 2 | | | |
| | △ システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | 2 | | |
| | △ システム工学演習A | 1 | | | |
| | △ システム工学演習B | 1 | | | |
| | △ システム工学演習C | | 2 | | |
| | 創 意 的 情 報 システム概論 | | 2 | | |
| | 電 子 ・ 情 報 システム概論 | | 2 | | |
| | 機 械 システム概論 | | 2 | | |
| | 環 境 システム概論 | | 2 | | |
| | 社 会 と 数 理 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マネジメントシステム論 | | 2 | | |
| | △ 環 境 マネジメントシステム演習 | | 2 | | |
| | △ マネジメント技術 | | 2 | | |
| | △ エコライフと社会システム | | 2 | | |
| | △ 信 頼 性 工 学 | | 2 | | |
| | △ 人 間 工 学 | | 2 | | |
| | 関 係 の 数 理 | | 2 | | |
| 社 会 統 計 解 析 | | 2 | | | |
| 社 会 システム科学概論 | | 2 | | | |
| 社 会 と 自 然 の モデル分析 | | 2 | | | |
| リ スク マネジメント | | 2 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【生命科学科】

| | 授 業 科 目 | 単位数 | | | 適 用 |
|--|---|-----|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| | 生命科学概論学 | | 2 | | ○…教科に関する科目(数学) ☆…教科に関する科目(理科) △…教科に関する科目(工業) |
| | ☆解剖学 I | | 2 | | |
| | ☆生理学 II | | 2 | | |
| | ☆分子生物学 | | 2 | | |
| | △医学概論学 | | 2 | | |
| | ☆微生物学概論学 | | 2 | | |
| | △食品工学概論学 | | 2 | | |
| | △医用機器概論学 | | 2 | | |
| | ☆免疫内分沁学 | | 2 | | |
| | ☆環境化学学 | | 2 | | |
| | 公衆衛生学 | | 2 | | |
| | 生命倫理学 | | 2 | | |
| | △薬理計学 | | 2 | | |
| | ○生命統計学 | | 2 | | |
| | △再生医学工 | | 2 | | |
| | ☆生化学 I | | 2 | | |
| | △生体計測学 | | 2 | | |
| | Advanced Bioscience | | | 2 | |
| | Assistive Technology | | 2 | | |
| | Applied Bioscience | | | 1 | |
| | Basic Biological Experiments | | 1 | | |
| | グローバル課題解決実習 | | 1 | | |
| | インターンシップ | | 1 | | |
| | 総合研究 I | 4 | | | |
| | 総合研究 II | 4 | | | |
| | ☆無機化学学 | | 2 | | |
| | ☆分析化学学 | | 2 | | |
| | ☆有機化学 I | | 2 | | |
| | ☆有機化学 II | | 2 | | |
| | ☆有機化学実験 | | 2 | | |
| | ☆植物生理学 | | 2 | | |
| | ☆生化学 II | | 2 | | |
| | ☆生体高分子工 | | 2 | | |
| | ☆食品栄養学 I | | 2 | | |
| | ☆食品栄養学 II | | 2 | | |
| | ☆細胞生物学 | | 2 | | |
| | △環境生物化学 | | 2 | | |
| | △環境管理化学 | | 2 | | |
| | ☆医薬品合成化学 | | 2 | | |
| | ☆生命科学実験 I | | 2 | | |
| | ☆生命科学実験 II | | 2 | | |
| | ☆生命科学実験 III | | 2 | | |
| | ☆生命科学実験講義 | | 2 | | |
| | ☆生命科学基礎実験 | | 1 | | |
| | ☆機械力学学 | | 2 | | |
| | △機構学 | | 2 | | |
| | △材料力学学 | | 2 | | |
| | △流れ学 | | 2 | | |
| | △機械要素学 | | 2 | | |
| | ☆電気回路学 | | 2 | | |
| | △生体力学 | | 2 | | |
| | ☆機械設計演習 | | 2 | | |
| | ○制御工学 | | 2 | | |
| | ☆電磁気学 | | 2 | | |
| | ☆医療福祉基礎実験 | | 2 | | |
| | △電子回路 | | 2 | | |
| | ○メカトロニクス | | 2 | | |
| | ○シミュレーション工学演習 | | 2 | | |
| | △医療福祉設計演習 | | 2 | | |
| | △医療福祉設計演習 | | 2 | | |
| | △生体材料学 | | 2 | | |
| | ○CAD/CAM演習 | | 2 | | |
| | △バイオ流れ学 | | 2 | | |
| | △リハビリテーション工学 | | 2 | | |
| | △バイロボティクス | | 2 | | |
| | ☆医用画像工学 | | 2 | | |
| | △福祉支援工学 | | 2 | | |
| | △人工臓器 | | 2 | | |
| | △生命医工学セミナー | | 1 | | |
| | △医療福祉応用実験 I | | 2 | | |
| | △医療福祉応用実験 II | | 2 | | |
| | Introduction to Embedded Programming (International Training) | | 2 | | |
| | Introduction of Bioengineering | | 2 | | |
| | Basic Control Engineering | | 2 | | |
| | Introduction to Control Engineering | | 2 | | |
| | Robotics Overview-Current and Future | | 2 | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【数理科学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|-----------------------------|--|-------------|----|----|----------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 基礎 | ○ 数 学 I | 2 | | | ○…教科に関する科目(数学) |
| | ○ 数 学 I 演 習 | 1 | | | |
| | ○ 数 学 II | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 I | 2 | | | |
| | ○ 線 形 代 数 II | 2 | | | |
| | ○ 微 分 方 程 式 | 2 | | | |
| | ○ 数 値 解 析 | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 I | 2 | | | |
| | ○ 解 析 学 II | | 2 | | |
| | ○ 確 率 統 計 | | 2 | | |
| | 一 般 力 学 I | 2 | | | |
| | 一 般 力 学 II | | 2 | | |
| | 物 理 学 I | | 2 | | |
| | 物 理 学 II | | 2 | | |
| | 生 物 学 I | | 2 | | |
| | 生 物 学 II | | 2 | | |
| | 化 学 I | | 2 | | |
| | 化 学 II | | 2 | | |
| | 現 代 物 理 学 概 論 Introduction to Electromagnetism | | | 2 | |
| | シ ス テ ム ・ 情 報 科 目 | ○ 情 報 処 理 I | 2 | | |
| □ 情 報 処 理 II | | 2 | | | |
| ○ 情 報 処 理 演 習 I | | 1 | | | |
| □ 情 報 処 理 演 習 II | | 1 | | | |
| システム工学A(システム計画方法論) | | 2 | | | |
| システム工学B(数理計画法) | | 2 | | | |
| システム工学C(プロジェクトマネジメント) | | | 2 | | |
| シ ス テ ム 工 学 演 習 A | | 1 | | | |
| シ ス テ ム 工 学 演 習 B | | 1 | | | |
| シ ス テ ム 工 学 演 習 C | | | 2 | | |
| 創 意 的 学 習 | | | 2 | | |
| 電 子 ・ 情 報 シ ス テ ム 概 論 | | | 2 | | |
| 機 械 シ ス テ ム 概 論 | | | 2 | | |
| 環 境 シ ス テ ム 概 論 | | | 2 | | |
| 生 命 科 学 概 論 | | | 2 | | |
| 社 会 と 数 理 | | | 2 | | |
| 環 境 マ ネ ジ ム ン ト シ ス テ ム 論 | | | 2 | | |
| 環 境 マ ネ ジ ム ン ト シ ス テ ム 演 習 | | | 2 | | |
| マ ネ ジ ム ン ト 技 術 | | | 2 | | |
| エ コ ラ イ フ と 社 会 シ ス テ ム | | | 2 | | |
| 信 頼 性 工 学 | | | 2 | | |
| 人 間 工 学 | | | 2 | | |
| 関 係 の 数 理 | | | 2 | | |
| 社 会 統 計 解 析 | | | 2 | | |
| 社 会 シ ス テ ム 科 学 概 論 | | | 2 | | |
| 社 会 と 自 然 の モ デ ル 分 析 | | 2 | | | |
| リ ス ク マ ネ ジ ム ン ト | | 2 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【数理科学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|------------------|--|-----|----|----|----------------------------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | 基礎数理セミナー Foundations of Pure Mathematics | 2 | | 2 | ○…教科に関する科目(数学) □…教科に関する科目(情報) |
| | ○ 数 学 基 礎 | 2 | | | |
| | ○ 数 学 II 演 習 | 1 | | | |
| | 数理科学演習 I | 2 | | | |
| | 数理科学演習 II | 2 | | | |
| | 数学特別講義 A | | 2 | | |
| | 数学特別講義 B | | 2 | | |
| | 数理科学セミナー | 2 | | | |
| | 総合研究 I | 4 | | | |
| | 総合研究 II | 4 | | | |
| | ○ 線 形 空 間 | | 2 | | |
| | ○ 代 数 基 礎 | 2 | | | |
| | ○ 代 数 学 I | | 2 | | |
| | ○ 代 数 学 II | | 2 | | |
| | ○ 代 数 学 III | | 2 | | |
| | ○ 集 合 と 位 相 | | 2 | | |
| | ○ 幾 何 学 I | 2 | | | |
| | ○ 幾 何 学 II | | 2 | | |
| | ○ 幾 何 学 III | | 2 | | |
| | ○ 解 析 基 礎 | | 2 | | |
| | Introduction to Differential Equations | | | 2 | |
| | ○ 関 数 方 程 式 論 I | | 2 | | |
| | ○ 関 数 方 程 式 論 II | | 2 | | |
| | ○ 測 度 論 | | 2 | | |
| | Complex Analysis | | | 2 | |
| | ○ 関 数 解 析 | | 2 | | |
| | ○ 解 析 学 III | | 2 | | |
| | Introduction to Numerical Analysis | | | 2 | |
| | ○ 応 用 解 析 | | 2 | | |
| | □ 応 用 数 値 解 析 I | | 2 | | |
| | □ 応 用 数 値 解 析 II | | 2 | | |
| | □ 制 御 理 論 基 礎 | | 2 | | |
| | ○ 数 理 計 画 法 | | 2 | | |
| | ○ 現 象 の 数 理 | | 2 | | |
| | Linear Dynamical Systems | | | 2 | |
| | □ シミュレーション | | 2 | | |
| □ 現 代 制 御 理 論 | | 2 | | | |
| ○ 数 理 生 物 学 | | 2 | | | |
| □ データ構造とアルゴリズム | | 2 | | | |
| □ プログラミング演習 | | 2 | | | |
| □ 行 列 解 析 | | 2 | | | |
| □ オートマトン | | 2 | | | |
| □ 計 算 理 論 | | 2 | | | |
| □ 記 号 処 理 演 習 | | 2 | | | |
| ○ 計 算 機 代 数 | | 2 | | | |
| ○ 多 変 量 解 析 | | 2 | | | |
| ○ 確 率 統 計 学 特 論 | | 2 | | | |
| ○ 確 率 解 析 学 | | 2 | | | |
| ○ 保 険 数 学 | | 2 | | | |
| ○ 金 融 工 学 | | 2 | | | |

授 業 科 目

システム理工学部

【教職課程】

システム理工学部 電子情報システム学科 機械制御システム学科 環境システム学科
生命科学科 数理科学科

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 摘 要 |
|---------------|-----------------------|-----|----|----|----------------|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 教職に関する科目 | 教 育 原 論 | | 2 | | 総合科目 |
| | 教 育 の 近 現 代 史 | | 2 | | 総合科目 |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | 総合科目 |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | 総合科目 |
| | 生 徒 文 化 論 | | 2 | | 総合科目 |
| | 教 職 論 | | | 2 | |
| | 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | | | 2 | |
| | 道 徳 教 育 の 研 究 | | | 2 | ○…教科に関する科目(数学) |
| | 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | | | 2 | △…教科に関する科目(工業) |
| | 教 育 相 談 論 | | | 2 | ☆…教科に関する科目(理科) |
| | 人 間 関 係 論 | | | 2 | □…教科に関する科目(情報) |
| | 特 別 活 動 の 研 究 | | | 2 | |
| | 教 育 課 程 論 | | | 2 | |
| | 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | | | 2 | |
| | ○ 数 学 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | ○ 数 学 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | ○ 数 学 科 指 導 法 3 | | | 2 | |
| | ○ 数 学 科 指 導 法 4 | | | 2 | |
| | ☆ 理 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | ☆ 理 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | ☆ 理 科 指 導 法 3 | | | 2 | |
| | ☆ 理 科 指 導 法 4 | | | 2 | |
| | △ 工 業 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | △ 工 業 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | □ 情 報 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | □ 情 報 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| 事 前 ・ 事 後 指 導 | | | 1 | | |
| 教 育 実 習 1 | | | 2 | | |
| 教 育 実 習 2 | | | 2 | | |
| 教科又は教職に関する科目 | ☆ 物 理 学 実 験 | | | 1 | ○…教科に関する科目(数学) |
| | ☆ 化 学 実 験 | | | 1 | △…教科に関する科目(工業) |
| | ☆ 生 物 学 実 験 | | | 1 | ☆…教科に関する科目(理科) |
| | ☆ 地 学 実 験 | | | 1 | □…教科に関する科目(情報) |
| | △ 職 業 指 導 論 | | | 2 | |
| | △ 工 学 基 礎 概 論 | | | 2 | |
| | □ コ ン ピ ュ ー タ ー 基 礎 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 基 礎 | | | 2 | |
| | ○ 代 数 学 I | | | 2 | |

教育職員免許状の種類・専門科目及び単位数

1. 教育職員免許状の種類・教科

| 学部 | 学科名 | 免許状の種類 | 教科名 |
|------------------------------------|----------------|-------------|----------|
| システム テ ム 理 工 学 部 | 電子情報 システム学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・情報・工業 |
| | 機械制御 システム学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 |
| | 環境 システム学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・工業 |
| | 生命科学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学・理科 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・理科・工業 |
| | 数理科学科 | 中学校教諭1種免許状 | 数学 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 数学・情報 |

2. 教員免許状取得に要する教科別単位数

| 所要 資格等 免許状 の種類 | 基礎資格 | 専門教育科目の最低単位数 | | | |
|-------------------------|--|--------------|--------|--------------|-----------------------|
| | | 教科に関する科目 | | 教職に関する 科目 | 教科または 教職に関する 科目 |
| | | 教科名 | 単位数 | | |
| 中学校教諭 1種免許状 | 学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 } それぞれ2単位 取得を要する | 数 学 | 20単位以上 | 35単位 | 8単位 |
| | | 理 科 | 20単位以上 | | |
| 高等学校教諭 1種免許状 | 学士の学位を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 } それぞれ2単位 取得を要する | 数 学 | 20単位以上 | 27単位 | 12単位 |
| | | 理 科 | 20単位以上 | | |
| | | 情 報 | 20単位以上 | | |
| | | 工 業 | 20単位以上 | | |

3. 教職に関する専門教育科目及び単位数

| 授業科目名 | 資格・教科 | | 高等学校教諭1種免許状 | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|-----|-----|-----|
| | 中学校教諭1種免許状 | 高等学校教諭1種免許状 | 数学 | 理科 | 情報 | 工業 |
| 教職論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 教育原論※ | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 教育の近現代史※ | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 教育心理学※ | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 教育社会学※ | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 教育課程論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 数学科指導法1 | 2単位 | | 2単位 | | | |
| 数学科指導法2 | 2単位 | | 2単位 | | | |
| 数学科指導法3 | 2単位 | | 2単位 | | | |
| 数学科指導法4 | 2単位 | | 2単位 | | | |
| 理科指導法1 | | 2単位 | | 2単位 | | |
| 理科指導法2 | | 2単位 | | 2単位 | | |
| 理科指導法3 | | 2単位 | | 2単位 | | |
| 理科指導法4 | | 2単位 | | 2単位 | | |
| 情報科指導法1 | | | | | 2単位 | |
| 情報科指導法2 | | | | | 2単位 | |
| 工業科指導法1 | | | | | | 2単位 |
| 工業科指導法2 | | | | | | 2単位 |
| 道徳教育の研究 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 特別活動の研究 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 教育方法・技術論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 生徒・進路指導論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 生徒文化論※ | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 教育相談論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 人間関係論 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 事前・事後指導 | 1単位 | 1単位 | 1単位 | 1単位 | 1単位 | 1単位 |
| 教育実習1 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |
| 教育実習2 | 2単位 | 2単位 | | | | |
| 教職実践演習(中・高) | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 | 2単位 |

※【各学科共通】総合科目

4. 免許教科並びに教科に関する専門教育科目及び単位数

| 教科名 | 教科専門科目名 | 修得単位数 | |
|-------|--|------------|-------------------------|
| | | 中学校教諭1種免許状 | 高等学校教諭1種免許状 |
| 数学 | 代数学 幾何学 解析学 確率論、統計学 コンピュータ | 計20単位以上 | 計20単位以上 |
| | | | |
| 理科 | 物理学 | 計20単位以上 | 計20単位以上 |
| | 化学 | | |
| | 生物学 | | |
| | 物理学実験 | | |
| | 化学実験 | | |
| 生物学実験 | | | |
| 情報 | 情報社会及び情報倫理 | 計20単位以上 | 計20単位以上 |
| | コンピュータ及び情報処理 | | |
| | 情報システム | | |
| | 情報通信ネットワーク マルチメディア表現及び技術 | | |
| 工業 | 職業指導 | 計20単位以上 | 2単位 1.8単位 2.0単位以上 |
| | 関係科目 | | |

別表 5

授 業 科 目

デザイン工学部

【デザイン工学科】

| 授 業 科 目 | 単位数 | | | 適 用 | |
|----------------|-----------------------|----|----|-----|----------------|
| | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 全学 共通 科目 | 芝浦工業大学通論 | | 2 | | △…教科に関する科目(工業) |
| | ダイバーシティ入門 | | 2 | | |
| | Japanese Language I | | | 2 | |
| | Japanese Language II | | | 2 | |
| | Japanese Language III | | | 2 | |

| 授 業 科 目 | 単位数 | | | 適 用 | |
|--------------------|---------------|-------------|----|--------|----------------|
| | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 人文系 | 哲学(存在と心) | | 2 | | △…教科に関する科目(工業) |
| | 工学倫理 | | 2 | | |
| | 企業倫理 | | 2 | | |
| | 民俗学 | | 2 | | |
| | 比較文化論 | | 2 | | |
| | 認知心理学 | | 2 | | |
| | 組織心理学 | | 2 | | |
| | 科学技術と哲学 | | 2 | | |
| | 自然と人間 | | 2 | | |
| | 哲学(知識と言語) | | 2 | | |
| | △環境学 | | 2 | | |
| | △エコーシステム | | 2 | | |
| | プレゼンテーション | | 2 | | |
| | 体育講義 | | 2 | | |
| | 体育実技 | | 1 | | |
| | 美学・美術史 | | 2 | | |
| | 現代文芸論 | | 2 | | |
| | 共通 社会科学系 | 社会学/社会情報学 | | 2 | |
| 行動科学 | | | 2 | | |
| 経済社会学 | | | 2 | | |
| 計量経営学 | | | 2 | | |
| 経法 | | | 2 | | |
| 日本国憲法 | | | 2 | | |
| 行政政治と国際関係 | | | 2 | | |
| 養 科 目 外国語 | | 英語プレゼンテーション | | 2 | 英語科目 |
| | | ビジネス英語 | | 2 | |
| | | ライティング | | 2 | |
| | 総合英語 | | 2 | | |
| | 英語講義1 | | 2 | 英語科目以外 | |
| | 英語講義2 | | 2 | | |
| | 英語圏の言語と文化 | | 2 | | |
| | テクニカルイングリッシュ | | 2 | | |
| | 基礎中国語 | | 2 | | |
| | 中国語表現 | | 2 | | |
| キャリア系 | △キャリアプラン | | 1 | | |
| | △キャリア・デザイン | | 1 | | |
| | 海外工学英語研修 | | 1 | | |
| | 産学・地域連携プロジェクト | | 1 | | |
| | 論文作成法 | | 2 | | |
| | グローバルPBL1 | | 1 | | |
| | グローバルPBL2 | | 1 | | |
| | グローバルPBL3 | | 1 | | |
| | 教育系 | 教育の現代論 | | 2 | |
| | | 生徒文化史論 | | 2 | |
| 人間関係論 | | | 2 | | |
| 教育心理学 | | | 2 | | |
| 教育社会学 | | | 2 | | |
| △工学基礎概論 | | | 2 | | |
| △職業指導 | | | 2 | | |

授 業 科 目

デザイン工学部

【デザイン工学科】

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 適 用 |
|--------------------|----------------|-----|------|----|-----------------|
| | | 必修 | 選択必修 | 選択 | |
| サイエンス科目 | 微積分学 1 | 1 | | | △…教科に関する科目 (工業) |
| | 微積分学 2 | | | 2 | |
| | 線形代数 1 | 1 | | | |
| | 線形代数 2 | | | 2 | |
| | ベクトル解析 | | | 2 | |
| | 複素解析 | | | 2 | |
| | 微分方程式 | 2 | | 2 | |
| | 確率統計 | | | 2 | |
| | 物理学 (波動・熱) | | | 2 | |
| | △物理学 (電磁気) | | | 2 | |
| | 基礎力学 | | | 2 | |
| | 力学概論 | | | 2 | |
| | 化学 | | | 2 | |
| | 集合と論理 | | | 2 | |
| フーリエ解析 | | | 2 | | |
| エンジニアリング科目 | △情報処理演習 | | 2 | | △…教科に関する科目 (工業) |
| | 電気回路 | | | 2 | |
| | △電気機器基礎 | | | 2 | |
| | 数理計画法 | | | 2 | |
| | △機械力学 | | | 2 | |
| | △材料力学 | | | 2 | |
| | △基礎エレクトロニクス | | | 2 | |
| | △シミュレーション工学 | | | 2 | |
| | 統計学演習 | | | 2 | |
| | エコプロセス・エコデザイン | | | 2 | |
| | △熱流体基礎 | | | 2 | |
| | △ものづくり概論 | 2 | | | |
| | 総合導入演習 (学術・情報) | 2 | | | |
| | 経営管理論 | | | | |
| 財務会計 | | | | | |
| ゲーム理論 | | | | | |
| 形状創製基礎実習 | | | | | |
| Engineering Ethics | | | 2 | | |
| デザイン科目 | △デザイン工学入門 | 2 | | | △…教科に関する科目 (工業) |
| | デザイン史 | 2 | | | |
| | △デザイン工学演習 | 2 | | | |
| | △造形論 | 2 | | | |
| | △色彩論 | 2 | | | |
| | 図学・製図 | | | 2 | |
| | デザイン基礎表現演習 | 2 | | | |
| | 造形基礎演習 | | 2 | | |
| | △人間工学 | | | 2 | |
| | マーケティング | | | 2 | |
| | マーケティング・リサーチ | | | 2 | |
| | 社会調査法 | | | 2 | |
| | 社会統計解析 | | | 2 | |
| | 知的財産権論 | | | 2 | |
| ビジネスモデル論 | | | 2 | | |
| 基礎表現演習 1 | | | 2 | | |
| 基礎表現演習 2 | | | 2 | | |
| 情報表現基礎演習 | | 2 | | | |
| データと情報 | | | 2 | | |
| 情報デザイン論 | | | 2 | | |

授 業 科 目

デザイン工学部

【デザイン工学科】

| | 授 業 科 目 | 単位数 | | 適 用 |
|-------------------------------|-----------------------------------|-----|----|------------------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専 門 科 目 | △ プロダクトデザイン | | 2 | △・・・教科に関する科目（工業） |
| | △ パブリックデザイン | | 2 | |
| | 3 D モデリング | | 2 | |
| | 機 構 デ ザ イ ン | | 2 | |
| | 計 測 制 御 工 学 | | 2 | |
| | デ ィ ジ タ ル 回 路 | | 2 | |
| | コ ン ピ ュ ー タ ア ー キ テ ク チ ャ | | 2 | |
| | △ プ ロ グ ラ ミ ン グ | | 2 | |
| | △ プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 | | 2 | |
| | △ イ ン ダ ス ト リ ア ル エ ン ジ ニ ア リ ン グ | | 2 | |
| | △ 金 型 デ ザ イ ン | | 2 | |
| | △ C A D / C A M 演 習 | | 2 | |
| | △ 生 産 加 工 学 | | 2 | |
| | △ ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イ ン | | 2 | |
| | △ エ モ ー シ ョ ナ ル デ ザ イ ン | | 2 | |
| | △ イ ン タ ー フ ェ ー ス デ ザ イ ン | | 2 | |
| | △ デ ザ イ ン マ ネ ー ジ メ ン ト | | 2 | |
| | △ サ ー ビ ス デ ザ イ ン | | 2 | |
| | △ プ ロ ダ ク ト デ ザ イ ン 演 習 1 | | 2 | |
| | △ プ ロ ダ ク ト デ ザ イ ン 演 習 2 | | 2 | |
| | △ メ カ ト ロ ニ ク ス | | 2 | |
| | △ ロ ボ テ イ ク ス | | 2 | |
| | モ ー シ ョ ン コ ン ト ロ ー ル | | 2 | |
| | 信 号 処 理 | | 2 | |
| | ソ フ ト ウ ェ ア 設 計 論 | | 2 | |
| | ソ フ ト ウ ェ ア 設 計 論 演 習 | | 1 | |
| | オ ブ ジ ェ ク ト 指 向 プ ロ グ ラ ミ ン グ | | 2 | |
| | オ ブ ジ ェ ク ト 指 向 プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 | | 1 | |
| | 情 報 ネ ッ ト ワ ー ク | | 2 | |
| | △ デ ー タ 構 造 と ア ル ゴ リ ズ ム | | 2 | |
| | △ 品 質 マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | |
| | △ 生 産 シ ス テ ム マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | |
| | △ 形 状 創 製 実 習 | | 2 | |
| | △ 成 形 加 工 実 習 | | 2 | |
| | 高 度 C A D / C A M 演 習 | | 2 | |
| | △ C A E 演 習 | | 2 | |
| | 材 料 工 学 | | 2 | |
| | △ 材 料 科 学 | | 2 | |
| | 総 合 プ ロ ジ ェ ク ト | 4 | | |
| | △ U X デ ザ イ ン | | 2 | |
| | △ U X デ ザ イ ン 演 習 | | 2 | |
| | △ コ ン テ ン ツ デ ザ イ ン | | 2 | |
| | △ コ ン テ ン ツ デ ザ イ ン 演 習 | | 2 | |
| △ ロ ボ ッ ト 製 作 演 習 | | 2 | | |
| △ 行 動 分 析 ユ ー ザ モ デ ル | | 2 | | |
| △ イ ン テ リ ア ア ー キ テ ク チ ャ 概 論 | | 2 | | |
| △ 情 報 ア ー キ テ ク チ ャ 概 論 | | 2 | | |
| △ 情 報 メ デ ィ ア デ ザ イ ン 論 | | 2 | | |
| △ 人 工 知 能 | | 2 | | |
| デ ザ イ ン 特 別 演 習 1 | | 2 | | |
| △ プ ロ モ ー シ ョ ン 計 画 論 | | 2 | | |
| メ タ マ テ リ ア ル ズ | | 2 | | |
| △ 要 求 工 学 | | 2 | | |
| △ デ ー タ マ イ ニ ン グ | | 2 | | |
| △ サ ー ビ ス 工 学 | | 2 | | |
| デ ザ イ ン 特 別 演 習 2 | | 2 | | |
| プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 1 | | 4 | | |
| プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 2 | | 4 | | |
| プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 3 | | 4 | | |
| プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 4 | | 4 | | |

授 業 科 目

デザイン工学部

【教職課程】

デザイン工学部 デザイン工学科

| 授 業 科 目 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-----------------|-------|----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 教職に関する科目 | 教 職 論 | | | 2 | 共通教養科目 共通教養科目 共通教養科目 共通教養科目 共通教養科目 共通教養科目 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 |
| | 教 育 原 論 | | 2 | | |
| | 教 育 の 近 現 代 史 | | 2 | | |
| | 生 徒 文 化 論 | | 2 | | |
| | 人 間 関 係 論 | | 2 | | |
| | 教 育 心 理 学 | | 2 | | |
| | 教 育 社 会 学 | | 2 | | |
| | 教 育 課 程 論 | | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 1 | | | 2 | |
| | 工 業 科 指 導 法 2 | | | 2 | |
| | 特 別 活 動 の 研 究 | | | 2 | |
| | 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | | | 2 | |
| | 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | | | 2 | |
| | 教 育 相 談 論 | | | 2 | |
| 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | | | 2 | | |
| 事 前 ・ 事 後 指 導 | | | 1 | | |
| 教 育 実 習 1 | | | 2 | | |
| 教科又は教職に関する科目 | 道 徳 教 育 の 研 究 | | | 2 | 高等学校免許状の課程のみ適用 |

教育職員免許状の種類・専門科目及び単位数

1. 教育職員免許状の種類・教科

| 学 部 | 学 科 名 | 免 許 状 の 種 類 | 教 科 名 |
|---------|---------|-------------|-------|
| デザイン工学部 | デザイン工学科 | 高等学校教諭1種免許状 | 工業 |

2. 教員免許状取得に要する教科別単位数

| 免許状 の種類 | 所 要 資格等 | 基 礎 資 格 | 専 門 教 育 科 目 の 最 低 単 位 数 | | | |
|--------------------------|------------|---|-------------------------|--------|----------|---------------|
| | | | 教科に関する科目 | | 教職に関する科目 | 教科または教職に関する科目 |
| | | | 教科名 | 単位数 | | |
| 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 | | 学士の称号を有すること 日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作 | 工 業 | 20単位以上 | 27単位 | 12単位 |

3. 教職に関する専門教育科目及び単位数

| 授業科目名 | 資格・教科 | 高等学校教諭1種免許状 |
|-----------------------|-------|-------------|
| | | 工業 |
| 教 職 論 | | 2 単位 |
| 教 育 原 論 ※ | | 2 単位 |
| 教 育 の 近 現 代 史 ※ | | 2 単位 |
| 生 徒 文 化 論 ※ | | 2 単位 |
| 人 間 関 係 論 ※ | | 2 単位 |
| 教 育 心 理 学 ※ | | 2 単位 |
| 教 育 社 会 学 ※ | | 2 単位 |
| 教 育 課 程 論 | | 2 単位 |
| 工 業 科 指 導 法 1 | | 2 単位 |
| 工 業 科 指 導 法 2 | | 2 単位 |
| 特 別 活 動 の 研 究 | | 2 単位 |
| 教 育 方 法 ・ 技 術 論 | | 2 単位 |
| 生 徒 ・ 進 路 指 導 論 | | 2 単位 |
| 教 育 相 談 論 | | 2 単位 |
| 事 前 ・ 事 後 指 導 | | 1 単位 |
| 教 育 実 習 1 | | 2 単位 |
| 教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高) | | 2 単位 |

※共通教養科目

4. 免許教科並びに教科に関する専門教育科目及び単位数

| 教科名 | 教科専門科目名 | 修得単位数 |
|-----|-------------------------|-------------|
| | | 高等学校教諭1種免許状 |
| 工 業 | 関 係 科 目 職 業 指 導 計 | 1 8 単位 |
| | | 2 単位 |
| | | 2 0 単位以上 |

別表6

授 業 科 目

建築学部

共通・教養科目群：数理専門科目／外国語科目【建築学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|--------------------------------------|------------------|--------------------------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 数 理 専 門 基 礎 科 目 | 数 学 科 目 | 微 積 分 学 1 | | 2 | |
| | | 微 積 分 学 1 演 習 | | 1 | |
| | | 線 形 代 数 1 | | 2 | |
| | | 線 形 代 数 1 演 習 | | 1 | |
| | | 微 積 分 学 2 | | 2 | |
| | | 微 積 分 学 2 演 習 | | 1 | |
| | | 線 形 代 数 2 | | 2 | |
| | | 線 形 代 数 2 演 習 | | 1 | |
| | | 確 率 と 統 計 1 | | 2 | |
| | | 微 分 方 程 式 | | 2 | |
| | | ベ ク ト ル 解 析 | | 2 | |
| | | フ ー リ エ 解 析 | | 2 | |
| | | 確 率 と 統 計 2 | | 2 | |
| | | ラ プ ラ ス 変 換 関 数 論 | | 2 | |
| 理 学 科 目 | 理 学 科 目 | 一 般 力 学 お よ び 演 習 | | 3 | |
| | | 化 学 | | 2 | |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 | | 2 | |
| | | 基 礎 電 磁 気 学 演 習 | | 2 | |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 | | 2 | |
| | | 基 礎 熱 統 計 力 学 演 習 | | 2 | |
| 外 国 語 科 目 | 英 語 科 目 | Listening and Speaking I | | 2 | |
| | | Reading and Writing I | | 2 | |
| | | English Communication I | | 2 | |
| | | TOEIC IA | | 2 | |
| | | Reading IA | | 2 | |
| | | Writing IA | | 2 | |
| | | Presentation I | | 2 | |
| | | TOEIC IB | | 2 | |
| | | Reading IB | | 2 | |
| | | Writing IB | | 2 | |
| Presentation II | | 2 | | | |
| TOEIC II | | 2 | | | |

授 業 科 目

建築学部

共通・教養科目群：人文社会・情報系教養科目【建築学科】

| 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|
| | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 応 用 経 済 学 | | 2 | | |
| 情 報 ア ク セ シ ビ リ テ ィ 論 | | 2 | | |
| 映 像 メ デ ィ ア 論 | | 2 | | |
| 情 報 時 代 の 地 域 ・ 都 市 | | 2 | | |
| 生 産 と 消 費 の 環 境 論 | | 2 | | |
| 地 域 環 境 マ ネ ジ メ ン ト | | 2 | | |
| 環 境 学 入 門 学 | | 2 | | |
| 環 境 経 済 学 | | 2 | | |
| 人 間 社 会 と 環 境 問 題 | | 2 | | |
| 地 域 と 環 境 | | 2 | | |
| 福 祉 と 技 術 | | 2 | | |
| ア ジ ア 文 化 論 | | 2 | | |
| ア ジ ェ ン ダ ー 論 | | 2 | | |
| 哲 学 | | 2 | | |
| 倫 理 学 | | 2 | | |
| 技 術 者 の 倫 理 | | 2 | | |
| 科 学 技 術 倫 理 学 | | 2 | | |
| 生 命 倫 理 学 | | 2 | | |
| 現 代 史 学 | | 2 | | |
| 芸 術 史 学 | | 2 | | |
| 文 化 人 類 学 | | 2 | | |
| 比 較 文 学 論 | | 2 | | |
| 文 学 論 | | 2 | | |
| 日 本 国 憲 法 | | 2 | | |
| 知 的 財 産 法 | | 2 | | |
| 法 学 入 門 法 | | 2 | | |
| 民 法 | | 2 | | |
| 現 代 日 本 の 地 方 自 治 | | 2 | | |
| 経 済 学 入 門 学 | | 2 | | |
| ミ ク ロ 経 済 学 | | 2 | | |
| マ ク ロ 経 済 学 | | 2 | | |
| 企 業 シ ス テ ム 論 | | 2 | | |
| 社 会 学 | | 2 | | |
| 地 域 社 会 学 | | 2 | | |
| 文 学 表 現 法 | | 2 | | |
| プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 入 門 | | 2 | | |
| レ ポ ー ト ラ イ テ ィ ン グ | | 2 | | |
| 情 報 リ テ ラ シ | | 2 | | |

授 業 科 目

建築学部

共通・教養科目群：体育・健康科目【建築学科】

| 授業科目名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|---------------------------------|----------------------------|-------|-----|-----|-----|
| | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | |
| 体 育 ・ 健 康 科 目 | ウェルネス・スポーツ（テクニカル） | | 1 | | |
| | ウェルネス・スポーツ（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バスケットボール（テクニカル） | | 1 | | |
| | バスケットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 軟式野球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 軟式野球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 卓球（テクニカル） | | 1 | | |
| | 卓球（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | サッカー（テクニカル） | | 1 | | |
| | サッカー（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | テニス（テクニカル） | | 1 | | |
| | テニス（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フットサル（テクニカル） | | 1 | | |
| | フットサル（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | フライングフットボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | ソフトボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バドミントン（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | バレーボール（スポーツコミュニケーション） | | 1 | | |
| | 身体運動のバイオメカニクス | | 2 | | |
| | スポーツ生理学 | | 2 | | |
| | スポーツ健康学 | | 2 | | |
| ヘルスリテラシー&スポーツコミュニケーション | | 2 | | | |
| エクササイズ演習（基礎） | | 2 | | | |
| エクササイズ演習（応用） | | 2 | | | |

授 業 科 目

建築学部

専門科目群【建築学科】

| | 授 業 科 目 名 | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|---------------|-------|----|----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専 門 科 目 | 建築デザイン基礎 1 | 2 | | | |
| | 建築デザイン入門 2 | | 2 | | |
| | 居住空間の基礎史 2 | | 2 | | |
| | デザイン基礎史 2 | | 2 | | |
| | 建築デザインの基礎 2 | 2 | | | |
| | 建築の形態と空間 2 | | 2 | | |
| | 建築環境工学 1 | 2 | | | |
| | 構造力学・演習 3 | | | | |
| | 空間建築デザイン演習 1 | | | 2 | |
| | 都市建築デザイン演習 1 | | | 2 | |
| | 建築ものづくり 2 | | | 2 | |
| | 建築スタジオ演習 1 | | | 2 | |
| | 住生活論 2 | | | 2 | |
| | CAD・CG演習 2 | | | 2 | |
| | 都市地域計画 2 | | | 2 | |
| | 建築環境工学 2 | | | 2 | |
| | 材料力学・演習 3 | | | 2 | |
| | 建築構造計画 2 | | | 2 | |
| | 構造材料 2 | | | 2 | |
| | 空間建築デザイン演習 2 | | | 2 | |
| | 建築設計計画画論 2 | | | 2 | |
| | 都市建築デザイン演習 2 | | | 2 | |
| | 建築設計計画画 1 | | | 2 | |
| | 西洋建築史 2 | | | 2 | |
| | 建築スタジオ演習 2 | | | 2 | |
| | プロジェクト研究 1 | | | 2 | |
| | 色彩・素材論 2 | | | 2 | |
| | 建築環境心理学 2 | | | 2 | |
| | 日本建築史 2 | | | 2 | |
| | BIM演習 1 | | | 2 | |
| | 建築設計備習 2 | | | 2 | |
| | 建築構造解析・演習 3 | | | 2 | |
| | 仕上材料 2 | | | 2 | |
| | 空間建築デザイン演習 3 | | | 2 | |
| | 建築設計計画論 2 | | | 2 | |
| | 地域設計計画論 2 | | | 2 | |
| | 建築史法 2 | | | 2 | |
| | 都市建築デザイン演習 3 | | | 2 | |
| | 都市建築論 2 | | | 2 | |
| | 地域マネジメント 2 | | | 2 | |
| | 木造建築 2 | | | 2 | |
| | 建築スタジオ演習 3 | | | 2 | |
| | プロジェクト研究 2 | | | 2 | |
| | BIM演習 2 | | | 2 | |
| | 空調システム計画 2 | | | 2 | |
| | 都市環境設備計画 2 | | | 2 | |
| | 建築振動解析 2 | | | 2 | |
| | 鉄筋コンクリートの設計 1 | | | 2 | |
| | 鋼構造の設計 2 | | | 2 | |
| | 建築環境実験 2 | | | 2 | |
| 空間建築デザイン演習 4 | | | 2 | | |
| 近代建築と技術論 2 | | | 2 | | |
| 建築構法計画論 2 | | | 2 | | |
| 建築法規論 2 | | | 2 | | |
| 都市住宅論 2 | | | 2 | | |
| 建築生産論 2 | | | 2 | | |
| 建築材料施工実験 2 | | | 2 | | |
| 建築構造実験 2 | | | 2 | | |
| 都市建築デザイン演習 4 | | | 2 | | |

授 業 科 目

建築学部

専門科目群【建築学科】

| 授 業 科 目 名 | | 単 位 数 | | | 摘 要 |
|------------------|----------------|-------|----|-----|-----|
| | | 必修 | 選択 | 自 由 | |
| 専 門 科 目 | 都市地域デザイン演習 | | 2 | | |
| | 近代建築作家論 | | 2 | | |
| | 都市デザイン論 | | 2 | | |
| | 建築プロジェクトマネジメント | | 2 | | |
| | 建築構工法1 | | 2 | | |
| | 建築材料構造実験 | | 2 | | |
| | 建築スタジオ演習4 | | 2 | | |
| | 空間情報デザイン演習 | | 2 | | |
| | プロジェクト研究3 | | 2 | | |
| | 建築英語 | | 2 | | |
| | G I S 演習 | | 2 | | |
| | プロジェクトゼミ | | 2 | | |
| | 建築音響計画 | | 2 | | |
| | 給排水システム計画 | | 2 | | |
| | 光環境計画 | | 2 | | |
| | 基礎構造 | | 2 | | |
| | 鉄筋コンクリート造の設計 | | 2 | | |
| | マトリックス構造解析 | | 2 | | |
| | 建築防災 | | 2 | | |
| | 空間地域デザイン演習 | | 2 | | |
| | ランドスケープ論 | | 2 | | |
| | 建築文化史 | | 2 | | |
| | 施工計画・管設計 | | 2 | | |
| | 木造建築の画設計 | | 2 | | |
| | 建築・都市法規 | | 2 | | |
| | 都市開発マネジメント | | 2 | | |
| | 近代建築史 | | 2 | | |
| | 建築経済 | | 2 | | |
| | 建築構工法2 | | 2 | | |
| | 空間保全再生計画 | | 2 | | |
| | 卒業研究 | 4 | | | |
| | 維持保全・改修 | | 2 | | |
| | 建築家職能論 | | 2 | | |
| | 都市防災計画 | | 2 | | |
| | 海外建築研究 | | 1 | | |
| | 国内プロジェクト1 | | 1 | | |
| | 国内プロジェクト2 | | 1 | | |
| | 国内プロジェクト3 | | 1 | | |
| | 国内プロジェクト4 | | 1 | | |
| | 国内プロジェクト5 | | 1 | | |
| 海外プロジェクト(韓国)A | | 1 | | | |
| 海外プロジェクト(韓国)B | | 1 | | | |
| 海外プロジェクト(フランス)A | | 1 | | | |
| 海外プロジェクト(フランス)B | | 1 | | | |
| 海外プロジェクト(イタリア)A | | 1 | | | |
| 海外プロジェクト(イタリア)B | | 1 | | | |
| 海外プロジェクト(ロシア)A | | 1 | | | |
| 海外プロジェクト(ロシア)B | | 1 | | | |

別表7

学部・学科別卒業要件（取得単位数）

工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

GPAは、2.0以上であること。

【機械工学科】

| | | | |
|---|------------------------------|----------|---------|
| 全学共通科目群 | | | |
| 共通・教養科目群 | | | |
| 共通・教養科目群から50単位以上 | | | |
| 1. 共通数理科目 必修科目12単位を含み24単位以上を取得すること。 | | | |
| 2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修4単位以上を含み10単位以上を取得すること。 「情報科目」から2単位以上を取得すること。 | | | |
| 3. 人文社会系教養科目 必修科目2単位を含み12単位以上を取得すること。 | | | |
| 4. 共通健康科目 | | | |
| 5. 共通工学系教養科目 必修科目2単位を取得すること。 | | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 20単位 選択26単位以上を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【機械機能工学科】

| | | | |
|--|-------------------------------|----------|---------|
| 全学共通科目群 | | | |
| 共通・教養科目群 | | | |
| 共通・教養科目群から46単位以上 | | | |
| 1. 共通数理科目 必修科目19単位を含み23単位以上を取得すること。 | | | |
| 2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修科目4単位を含み10単位以上を取得すること。※ 「情報科目」から必修科目1単位を取得すること。 | | | |
| 3. 人文社会系教養科目 必修科目4単位を含み12単位以上を取得すること。※ | | | |
| 4. 共通健康科目 | | | |
| 5. 共通工学系教養科目 | | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 38単位 選択18単位以上 を含み 68単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

※別途学科の定める条件を満たすこと。

【材料工学科】

| | | | |
|--|--------------------------------|------------------|---------|
| 全学共通科目群 | | | |
| 共通・教養科目群 | | | |
| <p>共通・教養科目群から32単位以上</p> <p>1. 共通数理科目 必修科目7単位を含み16単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 3. 人文社会系教養科目 4. 共通健康科目 5. 共通工学系教養科目</p> | | | |
| <p>必修科目4単位を含み、「人文社会系教養科目」の 選択指定科目2単位を含み16単位以上を取得すること。</p> | | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 28単位、選択科目26単位以上を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【応用化学科】

| | | | |
|---|---------------------------------|------------------|---------|
| 全学共通科目群 | | | |
| 共通・教養科目群 | | | |
| <p>共通・教養科目群から41単位以上</p> <p>1. 共通数理科目 必修科目4単位を含み16単位以上を取得すること。(ただし、学科の指定する科目を含むこと。)</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修科目4単位を含み10単位以上を取得すること。 「情報科目」から3単位以上を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 必修科目2単位を含み12単位以上取得すること。</p> <p>4. 共通健康科目 5. 共通工学系教養科目</p> | | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 24単位、選択科目20単位を を含み 64単位以上※ | 位総 数単 | 124単位以上 |

※選択科目については、別途学科の定める条件を満たすこと。

【電気工学科】

| | | | |
|---|--------------------------------|------------------|---------|
| 全学共通科目群 | | | |
| 共通・教養科目群 | | | |
| <p>共通・教養科目群から56単位以上</p> <p>1. 共通数理科目 必修科目18単位を含み24単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修科目4単位を含み10単位以上を取得すること。 「情報科目」から必修科目3単位を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 4. 共通健康科目 「理論科目」から2単位以上、「身体的コミュニケーションスキル科目」から1単位以上を取得すること。</p> <p>5. 共通工学系教養科目</p> <p>「全学共通科目」、「人文社会系教養科目」、「共通工学系教養科目」から必修4単位を含み16単位以上、および別途、学科の指定する条件を満たすこと。</p> | | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目38単位、選択科目10単位以上を含み 68単位以上※ | 位総 数単 | 124単位以上 |

※別途学科の指定する条件を満たすこと。

【通信工学科】

| | | | |
|---|------------------------------|----------|---------|
| 全学共通科目群 | | | |
| 共通・教養科目群 | | | |
| <p>共通・教養科目群から32単位以上</p> <p>1. 共通数理科目 必修科目13単位を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修科目4単位を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 必修科目4単位を含み6単位以上を取得すること。</p> <p>4. 共通健康科目 「身体的コミュニケーションスキル科目」から2単位以上を取得すること。</p> <p>5. 共通工学系教養科目</p> | | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 17単位、選択科目41単位を含み 64単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【電子工学科】

| | | | |
|--|-------------------------------|----------|---------|
| 全学共通科目群 | | | |
| 共通・教養科目群 | | | |
| <p>共通・教養科目群から48単位以上</p> <p>1. 共通数理科目 必修科目12単位を含み16単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修科目4単位を含み12単位以上を取得すること。 「情報科目」から3単位以上を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 必修4単位を含み10単位以上を取得すること。</p> <p>4. 共通健康科目 「理論科目」から2単位以上、「身体的コミュニケーションスキル科目」から1単位以上を取得すること。</p> <p>5. 共通工学系教養科目</p> | | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 34単位、選択科目32単位 を含み 70単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

【土木工学科】

| | | | |
|--|------------------------|----------|---------|
| 全学共通科目群 | | | |
| 共通・教養科目群 | | | |
| <p>共通・教養科目群から40単位以上</p> <p>1. 共通数理科目 必修科目6単位を含み14単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修4単位を含み10単位以上を取得すること。 「情報科目」から3単位以上を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 必修科目2単位を含み10単位以上を取得すること。</p> <p>4. 共通健康科目 3単位以上を取得すること。</p> <p>5. 共通工学系教養科目</p> | | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 28単位 を含み 80単位以上 ※ | 位総 数単 | 124単位以上 |

※選択科目については、別途学科の定める条件を満たすこと。

【情報工学科】

| | | | |
|--|-----------------------------|------------------|---------|
| 全学共通科目群 | | | |
| 共通・教養科目群 | | | |
| <p>共通・教養科目群から40単位以上</p> <p>1. 共通数理科目 必修10単位以上を取得すること。</p> <p>2. 言語・情報系科目 「英語上達科目Ⅰ」・「英語上達科目Ⅱ」から必修4単位を含み6単位以上を取得すること。</p> <p>3. 人文社会系教養科目 6単位以上を取得すること。</p> <p>4. 共通健康科目 2単位以上を取得すること。</p> <p>5. 共通工学系教養科目</p> | | | |
| 科 専 目 門 群 | 必修科目 25単位 選択科目6単位を含み 64単位以上 | 位 総 数 単 | 124単位以上 |

別表 7

システム理工学部卒業要件

卒業要件の総取得単位数は130単位以上

| 全学共通科目 | | 電子情報システム学科 機械制御システム学科 環境システム学科 生命科学科 数理学科 | 全学共通科目、総合科目、18単位以上を修得し、そのうちエンジニアリテラシー科目、社会科学系科目、人文科学系科目より4単位以上、保健・体育系科目より2単位以上を修得する。 | |
|------------|---------------------|---|--|----------------------|
| 総合科目 | 外国語以外 | | 外国語の科目は、2カ国語以上を修得し、そのうち英語は8単位以上、計10単位以上を取得する。 | |
| | 共通科目 | 基礎科目 | 電子情報システム学科 | 必修 12単位 選択 10単位以上 |
| 機械制御システム学科 | | | 必修 12単位 選択 8単位以上 | } 計20単位以上 |
| 環境システム学科 | 必修 6単位 選択 8単位以上 | | } 計14単位以上 | |
| 生命科学科 | 必修 4単位 選択 14単位以上 | | | } 計18単位以上 |
| 数理学科 | 必修 17単位 選択 8単位以上 | | } 計25単位以上 | |
| 共通科目 | システム・情報科目 | 電子情報システム学科 | | 必修 12単位 選択 8単位以上 |
| | | 機械制御システム学科 | 必修 12単位 選択 8単位以上 | } 計20単位以上 |
| | | 環境システム学科 | 必修 12単位 選択 8単位以上 | |
| | | 生命科学科 | 必修 12単位 選択 8単位以上 | } 計20単位以上 |
| | | 数理学科 | 必修 12単位 選択 6単位以上 | |
| 専門科目 | 電子情報システム学科 | 必修 22単位 選択 38単位以上 | } 計60単位以上 | |
| | 機械制御システム学科 | 必修 32単位 選択 30単位以上 | | } 計62単位以上 |
| | 環境システム学科 | 必修 23単位 選択 45単位以上 | } 計62単位以上 | |
| | 生命科学科 | 必修 8単位 選択 56単位以上 | | } 計64単位以上 |
| | 数理学科 | 必修 23単位 選択 36単位以上 | } 計59単位以上 | |

・環境システム学科は、専門科目のうち、3年次の演習・実験科目から、前期1科目以上、後期1科目以上、計2科目以上を履修し、単位を取得しなければならない。
 なお、これらの単位は、環境システム学科の専門科目（選択）に関連する卒業要件（42単位以上）に含まれるものとする。

別表 7

デザイン工学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。
 但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

卒業要件の総取得単位数は124単位以上、GPAは2.0以上

| | | |
|--------|--------------|--------------------|
| 全学共通科目 | | 16単位以上 |
| 共通教養科目 | 英語を除いた共通教養科目 | 16単位以上 |
| | 英語科目 | 8単位以上 |
| | 共通教養科目総計 | 28単位以上 |
| 共通基礎科目 | サイエンス科目 | 必修4単位 選択6単位以上 |
| | 共通基礎科目総計 | 必修20単位 選択32単位以上 |
| 専門科目 | | 必修4単位 選択40単位以上 |

別表 7

建築学部卒業要件

卒業要件は原則として入学年度の学則に従う。

但し、学士・編入及び再入学者は、原則として入学する学年の卒業要件を適用する。

卒業要件の総取得単位数は124単位以上

【建築学科】

| | | | |
|---------------|---|----------|---------|
| 共通・ 教養科目群 | 共通・教養科目群から32単位以上 1. 数理専門基礎科目 「数学科目」・「理科科目」から8単位以上を取得すること。 2. 外国語科目 「英語科目」から8単位以上を取得すること。 3. 人文社会・情報系教養科目 「人文社会・情報系教養科目」から12単位以上を取得すること。 4. 体育・健康科目 | | |
| 科専 目門 群 | 必修科目 13単位 を含み 72単位以上 | 位総 数単 | 124単位以上 |

納 入 金

1. 学 費 等

【工学部・システム理工学部・デザイン工学部・建築学部】

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 入学金（一時金） | 280,000 円 | | | |
| 維持料（年額） | 283,000 円 | 283,000 円 | 283,000 円 | 283,000 円 |
| 授業料（年額） | 1,099,000 円 | 1,099,000 円 | 1,199,000 円 | 1,199,000 円 |

※再入学の入学金は免除する。

※委託生については、上記のとおりとする。

2. 科目等履修生の学費等

- | | | |
|-----------------|----------|--------------------|
| (1) 審査料 | 10,000 円 | (ただし、本学卒業生は不要) |
| (2) 入学金（一時金） | 30,000 円 | (ただし、本学卒業生は2分の1額) |
| (3) 履修料（1単位につき） | 12,000 円 | (ただし、本学大学院生は2分の1額) |

3. 研究生の学費等

- | | | |
|---------------|-----------|-------------------|
| (1) 検定料 | 35,000 円 | |
| (2) 登録料 | 59,000 円 | (ただし、本学卒業生は2分の1額) |
| (3) 研究指導料（年額） | 265,000 円 | (半期 132,500円) |
| (4) 実験実習料 | 実費 | |

学位の種類

工学部

| 学科名 | 学位の種類 |
|---------|------------|
| 機械工学科 | 学士（工学） |
| 機械機能工学科 | 学士（機械機能工学） |
| 材料工学科 | 学士（工学） |
| 応用化学科 | 学士（工学） |
| 電気工学科 | 学士（工学） |
| 通信工学科 | 学士（工学） |
| 電子工学科 | 学士（工学） |
| 土木工学科 | 学士（工学） |
| 情報工学科 | 学士（工学） |

システム理工学部

| 学科名 | 学位の種類 |
|------------|----------|
| 電子情報システム学科 | 学士（工学） |
| 機械制御システム学科 | 学士（工学） |
| 環境システム学科 | 学士（工学） |
| 生命科学科 | 学士（生命科学） |
| 数理科学科 | 学士（数理科学） |

デザイン工学部

| 学科名 | 学位の種類 |
|---------|------------|
| デザイン工学科 | 学士（デザイン工学） |

建築学部

| 学科名 | 学位の種類 |
|------|---------|
| 建築学科 | 学士（建築学） |